

令和5年度共同研究：報告書

オーバーツーリズムを防ぐために

～東京・台東区での検証を踏まえて～

2024年2月27日 発表

公益財団法人 東京観光財団
株式会社リクルート ジャらんりサーチセンター
台東区

はじめに

2019年、日本は過去最高の訪日外客数である3,188万人を記録し、東京へも1,500万人を超える訪都外国人旅行客が訪れました。コロナ禍を経て、2023年の訪日外客数も2,500万人と急速な回復を見せています。

そんな中、「オーバーツーリズム」がいま改めて注目を集めています。地域により抱える問題は様々ですが、これらの現象は、コロナ禍前にすでに国内の複数の箇所で見られていました。

東京観光財団は、2019年当時オリンピック・パラリンピック開催後の東京を見据えた観光振興の在り方について議論を重ねていく中で、東京においても今後このような問題が顕在化してくる可能性を懸念し、オーバーツーリズムのメカニズムと地域に合わせた未然防止の対策等について、より具体的に検証する必要性を感じていました。

東京でオーバーツーリズムは起きているのか。起きているとしたら、何を根拠にそう断言できるのか。それは単純に観光客の多さや目に見える問題だけで測ることは出来ないのではないのでしょうか。また、オーバーツーリズムに関する報道等は、困惑する地域・住民の様子を、急増しているインバウンド客の様子とセットで伝えることも多く見受けられ、それが感情的な議論に繋がり易く、まずは表面化している問題に必要な対処療法的対策が求められる傾向にあります。その結果、その地域で問題が発生してしまう、そもそもの構造や地域特性、旅行者の行動意識等についてはあまり議論が進んでおらず、より具体的な検証が必要です。

このような問題意識のもと、私たちは、じゃらんリサーチセンター・台東区と協業し、本研究でオーバーツーリズムを取り巻く様々な項目について改めて整理し、今後、都内や国内の他の地域において、この問題を防ぐために何を「ウォッチ」すればよいのか、検証・考察しました。また、オーバーツーリズムの定義や国内外の事例、既存の統計調査等を用いた各都市の問題発生懸念度等を踏まえたうえで、東京を代表する観光エリアの一つである浅草を中心に、台東区の状況を検証しました。

本研究が、持続可能な観光地としての発展・成長を目指す多くの地域の皆様の一助となれば幸いです。

はじめに	・・・ P.2
1. 共同研究実施体制	・・・ P.4
2. 研究の視点・エグゼクティブサマリー	・・・ P.6
3. オーバーツーリズムとは？海外／日本国内事例	・・・ P.9
4. オーバーツーリズムの定義と対策、及び本研究のポイント	・・・ P.15
5. 観光客の増加がもたらす課題の分類・整理	・・・ P.25
6. 住民感情のトリガー検証（定量分析）	・・・ P.37
7. 人流及び生活導線と住民感情の検証（定性分析①）	・・・ P.53
8. 旅行者の混雑やマナーに対する意識調査（定性分析②）	・・・ P.67
9. 結論／オーバーツーリズムを未然に防ぐために	・・・ P.77
さいごに	・・・ P.81
出典一覧	・・・ P.82

1. 共同研究実施体制

1. 共同研究実施体制

- ・東京観光財団の研究構想に基づき、3者で研究の全体設計を行った
- ・じゃらんリサーチセンターにて各検証項目についてのリサーチ、既存データや人流モニタリングデータに基づいた詳細解析を行った
- ・台東区にて浅草を含む地域の実態に照らした検証項目の考察・助言、活用できる統計・区民調査資料の提供等を行った

研究主体

TCVB

Tokyo Convention & Visitors Bureau

東京観光財団

- ・研究の全体設計・ディレクション
- ・リサーチ、現地調査、研究成果作成



じゃらんリサーチセンター

- ・研究の全体設計
- ・リサーチ、各種データ解析、研究成果作成



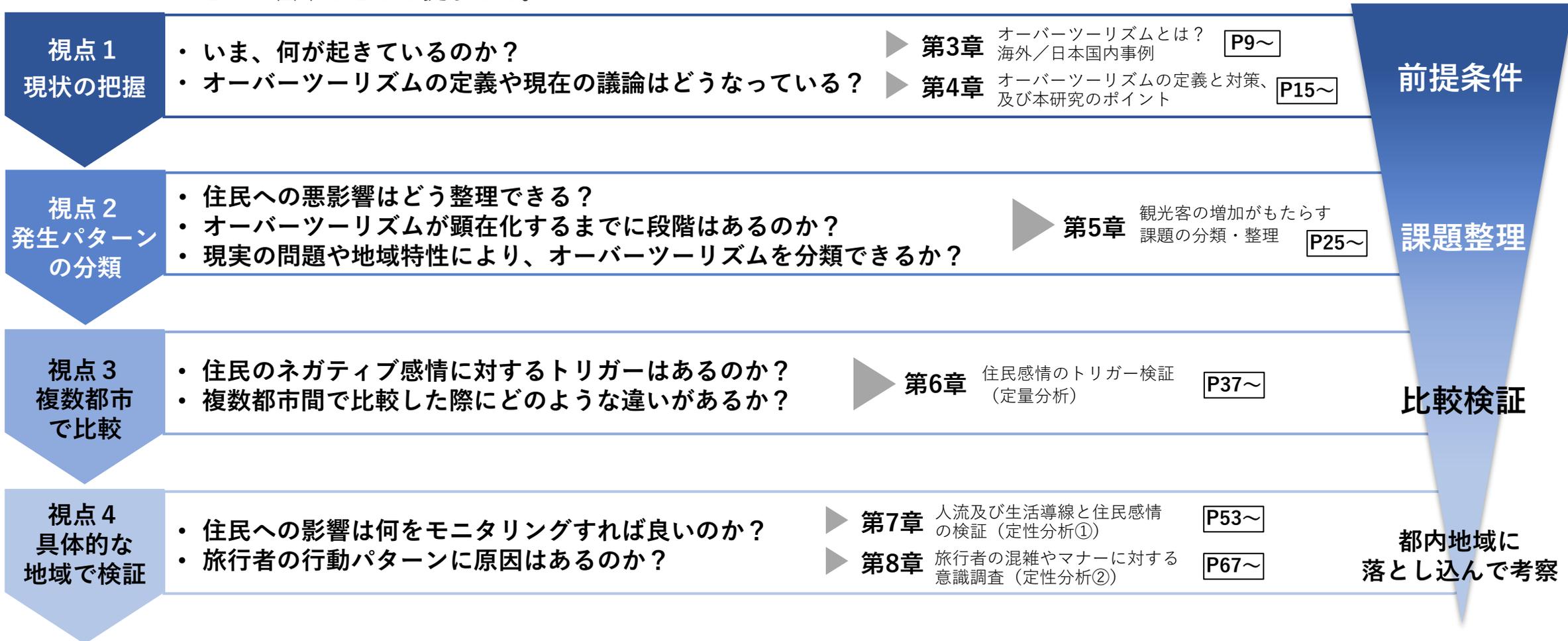
台東区

- ・研究の全体設計
- ・観光統計／区民調査等の提供

2. 研究の視点・エグゼクティブサマリー

研究の視点

本研究ではオーバーツーリズムについて、マクロ→ミクロで考えられるような視点で整理し、検証・考察した。研究を受け、結論ではオーバーツーリズムを未然に防ぐために、①台東区への提言、②観光庁の提示する対応策の優先度、③観光に関わるステークホルダーごとに出来ることを提示した。



結論：オーバーツーリズムを未然に防ぐために
(①台東区への提言、②観光庁による各対応策の優先度、③各ステークホルダーが出来ること)

エグゼクティブサマリー

視点1 現状の把握

- 海外では欧州を中心に2000年代初頭頃から問題が顕在化しているが、地域によりケースは多様。各種規制、観光税の徴収、都市計画の見直し等により短期・長期的視点で対策をしている
- オーバーツーリズムの言葉は2016年に旅行メディアが使用、以後多用されるが、**具体的に観光地におけるオーバーツーリズムの状態や程度を決定しうる明確な定義や指標は存在しない**。2018年UN tourismは11の戦略を記載した報告書を発表。住民の観光に対する考え方を理解し、地域社会を巻き込む視点を強調。国内ではコロナ禍による水際対策が終わり、インバウンド客の増加が見られた2023年に対応策の検討が開始

視点2 発生パターンの分類

- 地域特性から、オーバーツーリズムを「都市型」「リゾート型」「アイランド型」「自然型」の4つに分類。分類ごとに起こりうる問題が異なる傾向にある。「都市型」は観光の目的別にさらに4つに分類される。**各地域は、これらのどの分類に当てはまるかを想定し、懸念される地域への影響を事前に予想・把握する必要がある**
- 住民への影響は、不安・不快・不利益の大きく分けて「3つの不」に分類され、それらを起こさないような対策や仕組みを整える。**影響は、主に住環境に及ぶことから、自治体で特に重要なのが部局を横断して住民の声を把握すること**。問題が顕在化するには4ステップあると仮定し、地域は現在地を把握すること

視点3 複数都市で比較

- 住民の観光に対するネガティブ感情を生み出すトリガーになり得る指標を検証。**9つの仮説に基づき、既存の統計データ等で台東区を国内外の都市と比較したところ、単純な「観光客の増加」が必ずしもオーバーツーリズム状態を引き起こしているとは言えない結果に**
- 都市内交通の脆弱性、都市の清潔さと人々の認識度合い、ナイトライフ需要に対する宿泊施設の供給不足、都市における特定の観光スポットへの依存度等が関連性が高いことが分かった

視点4 具体的な地域で検証

- **【住民】**・・・区民の観光に関する意識調査の回答を居住地域別、居住年数別に分析し、加えてヒートマップで人流分布も把握。全体的に観光への許容度は高い結果となったが、一部のエリアで許容度が低く、当該エリアの公共交通網と併せると**観光客と住民の生活導線がぶつかっている可能性が高い結果となった**
- **【旅行者】**・・・行動傾向・意識を把握するため、浅草を訪れるインバウンド客73名への聞き取り調査を実施したところ、回答者の約6割が「浅草は（ややorとても）混雑している」と回答したが、そのうち約8割が「混雑が観光を阻害してはいない」と回答し、**浅草の混雑は旅行者の体験の質を下げているとは言えない**

結論

- オーバーツーリズムは幅広い問題を内包しているため、都市の特徴や住民のネガティブな意見等から一つひとつ根本的な要因を紐解いていく
- オーバーツーリズムは観光セクターのみで解決できる問題ではないため、分野や業種を超えた幅広いステークホルダーとの連携が必要
- 旅行者だけでなく住民の行動分析を行い、住民からの意見を収集できるようにする。住民の生活導線を保ち、旅行者とすみ分ける工夫が重要
- 旅行者の行動やマインドを変えることも必要だが、地域側が観光客を受け入れるスタンスを変えていくことも必要

3. オーバーツーリズムとは？海外／日本国内事例

オーバーツーリズムの海外事例；バルセロナ（スペイン）



人口密度(人口／面積)	16,330.9人／km ² （人口：1,655,956人／面積：約101.4km ² ）※2023年時点
観光客数(増減率)	<旅行者数> 2012： 6,648,147人 → 2022： 7,375,274人（+10.9%） <宿泊回数> 2012： 16,215,628回 → 2022： 19,695,931回（+21.5%）
主要な観光スポット	サグラダ・ファミリア、キャンプ・ノウ（FCバルセロナミュージアム）、カサ・ミラ、カサ・バトリョ、グエル公園、ランブラス通り、グラシア通り、ピカソ美術館、カタルーニャ音楽堂、カタルーニャ国立美術館、サンパウ病院、ボケリア市場（サンジョセップ市場）等
オーバーツーリズムとなる要因	1992年のオリンピックをきっかけとして観光としての開発が進み、LCCやクルーズ船の発達によって観光客が急増 住宅地が旧市街やサグラダ・ファミリア等の観光地と近く、民泊の急増により住民の生活圏に観光客が流れ込み、混雑や騒音問題が発生している
オーバーツーリズム対策内容	観光客向け宿泊施設の新規認可を取りやめ、違法民泊の取り締まり、宿泊目的のマンション建設を許可しない、固定資産税の引き上げ(2016年～) 人気観光スポットの事前予約制、人数制限等の導入(2017年～) 投資用不動産の短期賃貸の認可制、年間90日まで（2019年～） クルーズ船及び宿泊施設の形態に応じた観光税の徴収(2021年～段階的に引き上げ) 同市は市内の全てビーチでの喫煙を禁止し、違反した者には30ユーロ（約4,760円）の罰金(2022年)
対策に至った背景・経緯	1992年 バルセロナオリンピックを契機に観光振興に注力、重要施策化 1994年 バルセロナ市観光局(DMO)設立 2007年 観光客数が1,400万人を突破、1992年の約3.5倍 2013年 観光による弊害に関するマスコミ報道とともに住民による反対デモ等が過熱 2015年 「新たなホテルの建設凍結」を公約に掲げたコラウ市長が当選

オーバーツーリズムの海外事例；アムステルダム（オランダ）



人口密度(人口/面積)	4,186.6人/㎢ (人口：918,117人/面積：約219.3㎢) ※2023年時点
観光客数(増減率)	<宿泊回数> 2012：5,738,000回 → 2019：9,209,000回 (+60.5%) <日帰り> 2016：9,564,000人 → 2019：11,297,000人 (+18.1%)
主要な観光スポット	アムステルダム国立美術館、ゴッホ美術館、アムステルダム中央駅、レンブラントの家、ザンセ・スカンスの風車、アンネ・フランクの家、ダム広場、ライツェ広場、運河クルーズ、ハイネケン・エクスペリエンス 等
オーバーツーリズムとなる要因	アムステルダム市は2000年代初期より、経済的危機からの脱却のため観光業の振興に注力、経済への貢献から好意的に受け入れられていたが、観光客が増加するにつれ、またスタッグパーティーやヘンパーティー、あるいはドラッグの使用のために訪れる人も多いこともあり、観光客の迷惑行為が問題視されるようになった
オーバーツーリズム対策内容	セントラム地区でホテル新增設不許可、民泊営業の報告義務化、民泊貸出日数60日/年の制限（2017年）、民泊貸出日数30日/年の制限、宿泊料に対する観光税を7%に引き上げ、クルーズ客から観光税8ユーロ徴収、公共駐車場料金の値上げ（2019年）、B&Bに許可制導入、ホテル（7%+3ユーロ）、民泊、B&B(10%)の観光税を値上げ、ガイドツアー参加者への人数制限及び娯楽税1.5ユーロ徴収、セントラム地区での民泊禁止、他地区では許可制の導入（2020年）、ステイアウェイキャンペーンの実施（2023年）、2024年より市中心部へのクルーズ船寄港禁止、観光税を12.5%に引き上げ
対策に至った背景・経緯	2005年 アムステルダム市への訪問者が著しく増加し始める 2012年 Airbnb等の登場により民泊が急激に増加 2015年 アムステルダム市が『バランスの取れた都市』計画を策定 2016年 街区の混雑状況について市が懸念を表明、調査を開始 2019年 ウォーレン地区の生活環境再生を目指す住民団体「Stop de Gekte」発足 2020年 「Stop de Gekte」が市議会に要望書を提出

オーバーツーリズムの海外事例；その他近年対策を行っている都市

都市（国）	人口・面積・人口密度	観光客数(増減率)	経緯・背景	近年の主な対策内容
ドゥブロブニク (クロアチア)	人口：26,922人 ※2021年 面積：12.1km ² 人口密度：2,225.0人/km ²	※宿泊者数 2012：1,122,420人 2019：2,237,036人 (+99.3%)	2011年に城壁内が米ケーブルテレビ局HBOの人気ドラマシリーズ『ゲーム・オブ・スローンズ』の撮影場所となったことから、観光客が急増	2019年クルーズ船の来航を1日2隻まで、乗客は1隻につき4,000人までに制限、2023年からキャストを転がして歩く行為を禁止
ヴェネツィア (イタリア)	人口：253,174人 ※2022年 面積：414.6km ² 人口密度：610.6人/km ²	※来訪者数(arrivals) 2009：3,405,115人 2019：5,523,283人 (+62.2%)	2019年、クルーズ客船が埠頭に衝突した事故を受け、中心地へのクルーズ船の出入りを禁止 その際、ヴェネツィア市長はユネスコのブラックリストに同市を加えるよう提言	2024年より日帰り観光客に対して5ユーロの入場料を徴収
アテネ (ギリシャ)	人口：643,452人 ※2021年 面積：39.0km ² 人口密度：16,498.8人/km ²	※非居住者到着数 2010：15,007,000人 2019：31,348,000人 (+108.9%)	クルーズ船観光客の増加により、アクロポリス周辺に1時間も滞在しない観光客が半数以上となる。 この混雑緩和や文化財の保護を目的とした規制を求める声が挙がっている	2023年からアクロポリスへの入場者を1日あたり2万人に制限、時間ごとの上限変動導入
ハルシュタット (オーストリア)	人口：734人 ※2023年 面積：59.8km ² 人口密度：12.3人/km ²	※観光バス台数 2010：3,440台 2018：19,344台 (+462.3%)	映画『アナと雪の女王』に登場する街のモデルとも言われ、観光客が激増。2023年8月には国や自治体に対して対応を求めるデモが発生	観光バスに対する事前登録制を導入。2023年自撮り写真の背景を遮る木の柵を設置したもののSNS上で大量の抗議を受け撤去。日帰り観光客の削減を検討中
バリ ※デンパサール (インドネシア)	人口：725,314人 ※2020年 面積：127.8km ² 人口密度：5675.4人/km ²	※外国人訪問者数 2010：2,576,142人 2019：6,275,210人 (+143.6%)	旅行者のマナー問題や、ヒンドゥー教からなる島の独自文化を軽視するような問題行動が相次ぎ、環境、文化の保護とインフラ改善の機運が高まっている	2024年からバリ島を訪れる外国人観光客に対し15万ルピアの観光税を導入
ハワイ (アメリカ)	人口：1,016,508人 ※2020年 面積：1,545km ² 人口密度：657.9人/km ² ※オアフ島	※宿泊者数 2010：6,916,894人 2019：10,243,165人 (+48.1%)	コロナ禍で閉鎖していた観光地の海水透明度やサンゴ礁の生態系が回復したことから、観光客が増えると再び環境が悪化するのではないかと懸念が住民間で広がっている	国立公園の予約制導入、自然環境保護のためのルール導入。自然保護重視の政策を進めるため、州観光局の解体・再編を議論中
フランス全土	人口：62,814,233人 ※2023年 面積：551,500km ² 人口密度：113.9人/km ²	※国際宿泊観光客数 2010：77,600,000 2019：90,900,000 (+17.1%)	観光地が時間も金もあまり使わない客であふれかえっていることが問題になっている。その結果、地域社会が観光業からの恩恵を十分受けられず、経済力を失っていることも課題に	地方の海岸部や山間部、国立公園を中心に訪問者数の上限設定等の対策実施。2023年、観光大臣が観光客数を減らす政策をとることを発表

オーバーツーリズムの国内事例；京都（京都府）



人口密度(人口／面積)	1,748.1人／km ² （人口：1,447,051人／面積：約827.8km ² ）※2023年時点
観光客数(増減率)	<宿泊者数> 2009：3,925,727人 → 2019：6,088,306人（+55.1%） <内、外国人> 2009：333,202人 → 2019：1,815,246人（+444.8%）
主要な観光スポット	清水寺、三十三間堂、二条城、東寺、伏見稲荷大社、金閣寺、銀閣寺、東本願寺、嵐山・嵯峨、祇園、錦市場 等
オーバーツーリズムとなる要因	周囲が山に囲まれた比較的コンパクトな土地に、古くから日本の政治・文化の中心として発展してきた歴史が積み重なっていることで、観光地や市街の中心地に観光客が殺到。また幅の狭い道路が多く地下鉄・鉄道も充実しているとは言えないため、一部の交通機関に乗客が殺到し地元の住民が利用できない状況となっている
オーバーツーリズム対策内容	宿泊税の導入、民泊営業の大幅な制限、訪問時間帯の分散（朝、夜時間帯の観光推奨）、穴場スポットの紹介による訪問先の分散、公共交通機関の利用者の分散、バスの一日乗車券廃止（地下鉄+バスセットの一日乗車券は継続）、観光快適度の可視化、マナー啓発ツールの作成・配布（リーフレット、ステッカー）
対策に至った背景・経緯	従来より修学旅行を始めとした国内旅行で人気の観光地だった 2014年以降、米国の旅行誌『トラベル+レジャー』誌（Travel + Leisure）が発表している読者投票による評価で順位づけをした「世界のベスト都市トップ25」で高順位を獲得し続け、外国人観光客からも人気の観光地となっている 京都市が実施している「京都観光に関する市民意識調査」により地元住民の主に観光地周辺における公共交通機関混雑状況に関する不満が顕在化、2023年9月には京都市長名で観光庁長官に向け要望書を手交する等、対策強化に動いている



オーバーツーリズムの国内事例；鎌倉（神奈川県）

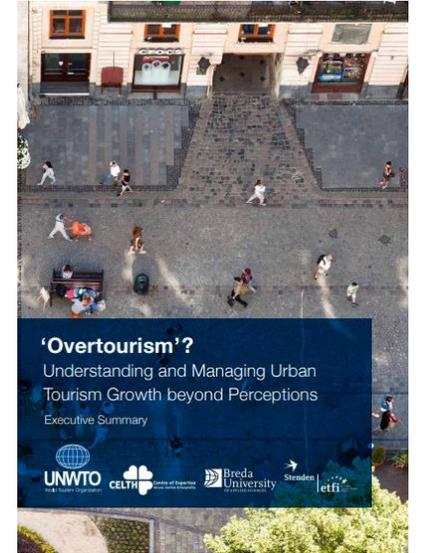


人口密度(人口/面積)	4,339.6人/㎓ ² (人口：172,107人/面積：約39.66㎓ ²) ※2023年時点
観光客数(増減率)	<宿泊者数> 2009：327,892人 → 2019：318,647人 (-2.8%) <日帰り> 2009：18,508,944人 → 2019：18,703,148人 (+1.0%)
主要な観光スポット	鶴岡八幡宮、高德院 鎌倉大仏、明月院、銭洗弁財天宇賀福神社、江ノ島電鉄 鎌倉高校前駅、材木座テラス、由比ガ浜、建長寺 等
オーバーツーリズムとなる要因	主要道路が限られているうえ道幅も狭く、生活利用と観光利用が一体となっているために慢性的に渋滞が発生。また、江ノ島等周辺の観光地にアクセス可能な江ノ島電鉄が居住地と隣接して走っており、その光景自体が観光スポット化していることや、有名コミックの聖地として観光客が押し寄せることで居住エリアに観光客が押し寄せている
オーバーツーリズム対策内容	パークアンドライドの推進、公共交通機関の利用促進（鎌倉フリー環境手形）、混雑期における江ノ島電鉄への沿線住民の優先入場（社会実験として実施）、公共の場所におけるマナー向上に関する条例の施行
対策に至った背景・経緯	人気観光地であり、「食べ歩き」が楽しめるスポットとして人気だった小町通りでは、食べ物が衣類についたり、周辺店舗の商品や床が汚れる等のトラブルが発生していた 2014年頃、鎌倉市内の踏切が描かれたシーンが登場するアニメが国内外で人気となり、聖地化し観光客が殺到。住民居住地为近く、踏切内に入ってしまう観光客もいたことから、オーバーツーリズムの懸念が顕在化し、住民からの苦情も多く寄せられた 2019年にはマナー向上を求める条例が施行され、混雑する観光地での食べ歩きや危険な場所での写真撮影を「迷惑行為」と定めた

4. オーバーツーリズムの定義と対策、及び本研究のポイント

オーバーツーリズムの由来

- 「オーバーツーリズム(overtourism)」という言葉は、2016年にSkift社の記事に初出したと言われており、比較的新しい呼称
- 2017年に「観光客嫌悪症(tourismphobia)」という言葉とともに使われ始めたバズワード(buzzword)
- 2018年、国連世界観光機関(UN Tourism)が「‘Overtourism’? Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions」(訳：オーバーツーリズム？都市観光の予測を超える成長に対する認識と対応)という報告書でこの呼称を用いたことでさらに一般化



▲UN Tourismによる報告書



ある時期からオーバーツーリズムという状態が発生し、様々な問題を引き起こしているのではなく、**観光産業の成長とともに発生した、すでに顕在化している諸問題**を総称してオーバーツーリズムと呼称している

そのため、オーバーツーリズムという言葉自体の定義は存在するものの、**具体的に観光地におけるオーバーツーリズムの状態や程度を決定しうる明確な定義や指標は存在しない**

オーバーツーリズムの定義

オーバーツーリズムという言葉の定義は、影響を及ぼす範囲に応じて広義的なものと狭義的なものに分類できる

—広義のオーバーツーリズム—

「観光客の急激な増加や過剰な増加等を契機として、クローズアップされる観光の持続可能性に関わる全ての現象と問題」

—狭義のオーバーツーリズム—

「住民の生活環境の維持と、観光の質や観光客の満足度の低下に関わるネガティブな現象等に焦点をあてた」もの

→現在はこちらがより一般的

関西外語大学研究論集第112号(2020年9月)『ヴェネツィアにおけるオーバーツーリズムとその概念に関する一考察-日本・京都への示唆-』（谷本由紀子・谷本義高）より引用

広義的

「観光が発展する中で特定の観光地において、**自然環境、社会文化、経済、政治、市民生活、観光資源、観光客の満足等様々な要因と、観光客や住民、地域、産業等の関係者の利害**が複雑に絡み合って生じた現象であり、各要因と利害関係者（ステイクホルダー）が許容できる範囲を超えたもの」

関西外語大学研究論集第112号(2020年9月)『ヴェネツィアにおけるオーバーツーリズムとその概念に関する一考察-日本・京都への示唆-』（谷本由紀子・谷本義高）より引用

「特定の観光地において、訪問客の著しい増加等が、**市民生活や自然環境、景観に対する負の影響**を受忍できない程度にもたらしたり、**旅行者にとっても満足度を大幅に低下**させたりするような観光の状況」

国土交通省、平成30年版『観光白書』P111より引用

観光地やその観光地に暮らす**住民の生活の質、及び／或いは訪れる旅行者の体験の質**に対して、観光が過度に与えるネガティブな影響
2018年UN Tourism報告書より、Skift社のプロジェクトに協力している大学によるもの引用
→国のオーバーツーリズム対策会議でこの定義を引用

ホストやゲスト、**地元の人々や観光客**が、観光客が多すぎて、その地域の**生活の質や体験の質**が受け入れがたいほど悪化していると感じている観光地

<https://responsibletourismpartnership.org/overtourism/>より引用

狭義的

オーバーツーリズム状態を判定する定量指標について

- イギリスのバケーションレンタル検索サイト「Holidu」がヨーロッパの諸都市への旅行者の数を集計し住民の人口と比較 (①)、同様にイギリスの海外送金サービス「MoneyTransfers.com」が世界の観光都市について比較 (②)
- ①の調査では一番旅行者で混雑しているのはクロアチアのドゥブロブニクであり、人口の36倍の観光客、続いてイタリアのヴェネツィア、ベルギーのブルージュ、ギリシャのロードス島がランクインしており、人口の21倍の観光客が訪問している
- 一方、②の調査ではタイのプーケットが1位で人口の118.5倍、上位3位が全てタイの都市となっている
- ①は宿泊者数、②は海外からの入国者数を旅行者の数として集計している。ヨーロッパの都市のみで比較した場合でも順位が異なる

①Holiduによる調査

Rank	Flag	City	Country	Tourists per inhabitant
1		Dubrovnik	Croatia	36
2		Venice	Italy	21
3		Bruges	Belgium	21
4		Rhodes	Greece	21
5		Reykjavik	Iceland	16
6		Florence	Italy	13
7		Heraklion	Greece	13
8		Amsterdam	Netherlands	12
9		Dublin	Ireland	11
10		Tallinn	Estonia	10
11		Paris	France	9
12		Porto	Portugal	9
13		Prague	Czech Republic	8
14		Athens	Greece	8
15		Nice	France	8
16		Edinburgh	Scotland	7
17		Lisbon	Portugal	6
18		Copenhagen	Denmark	6
19		Antalya	Turkey	5
20		Barcelona	Spain	5

Source: [holidu.co.uk](https://www.holidu.co.uk) Created with [Datawrapper](https://www.datawrapper.com/)

<https://www.holidu.co.uk/magazine/european-cities-overtourism-index>

②MoneyTransfers.comによる調査

City	Country	Tourists per Inhabitant (City)
Phuket	Thailand	118.5
Pattaya	Thailand	98.7
Krabi	Thailand	72.2
Mugla	Turkey	40.2
Hurghada	Egypt	28.6
Macau	China	26.9
Heraklion	Greece	22.0
Venice	Italy	21.3
Rhodes	Greece	20.3
Miami	United States	18.6
Orlando	United States	17.8
Las Vegas	United States	10.2
Cancún	Mexico	9.6
Antalya	Turkey	9.2
Honolulu	United States	8.1
Florence	Italy	7.1
Amsterdam	Netherlands	7.1
Denpasar	Indonesia	6.8
Prague	Czech Republic	6.8
Johor Bahru	Malaysia	5.9

<https://moneytransfers.com/news/2023/09/06/the-most-and-least-over-touristed-destinations-around-the-world>

➡城壁や島のように仕切られた区画であることや、日帰り・クルーズ観光による影響等、その土地や都市の環境により問題となり得る点や解決すべき課題は異なるのではないかと?

オーバーツーリズムの対応策；Skift社の記事より（2017年）

Skift社が2017年に発表した記事で、人気観光地でのオーバーツーリズム問題に対する解決策が提案されている「Skiftフレームワーク」を紹介し、その中で以下の5つのポイントが強調されている

① 交通手段の制限：

訪問が困難になれば観光客の来訪も抑制される
※記事中では主にクルーズ船の渡航制限について言及

② 高価格化：

LCCや民泊の普及により、旅行が贅沢消費から儉しい消費に変わってきている
ダイナミックプライシングや高需要エリアの価格引き上げ等、価格を通じた需要のコントロール

③ マーケティングと旅行者への教育：

より郊外地域のマーケティング活動の重要性と旅行者に対する期待値調整
旅行関係者は自社の商品をより現実的に提示し、許容される行動方法について顧客に教育する

④ ステークホルダー間の連携：

観光業が与える影響を決定的に測定し、定量化するための成文化された方法が存在しない
地域が協力し、解決策を見つけるための枠組みについて合意できれば、解決方法を開発しテストすることができる

⑤ 過密エリアの保護：

過剰な観光による地域社会への打撃を防ぐために目的地が十分な措置を講じていない
観光による経済効果を望んでいるが、望ましくない変化が生じた場合に迅速かつ即応的に規制を行うための仕組みを整えるべきだ

記事リンク：<https://skift.com/2017/10/23/proposing-solutions-to-overtourism-in-popular-destinations-a-skift-framework/>

オーバーツーリズムの対応策；UN Tourism 2018報告書より

Rebuffing myths

1. Tourism congestion is not only about the number of visitors but about the capacity to manage them.
2. Tourism congestion is commonly a localised rather than a citywide issue.
3. Tourism congestion is not a tourism-only problem.
4. Technological or smart solutions alone are important but will not solve the issue of tourism congestion.

According to the research carried out among residents of eight* European cities:

26%

of residents believe “there is room for future growth”

30%

of residents feel that “there should be no limitations to the growth of visitor numbers”

* Amsterdam, Barcelona, Berlin, Copenhagen, Lisbon, Munich, Salzburg and Tallinn



Key conclusions

- **11 strategies** and **68 measures** to help understand and manage visitors’ growth in cities.
- Tourism development and management in cities needs to be part of the wider urban agenda.
- There is no one-size-fits-all solution. It is essential a common strategic vision among all stakeholders involved, bringing residents and visitors together and adopting careful planning which respects the limits of capacity and the specificities of each destination.
- **12 policy recommendations** to better manage tourism flows and advance inclusive and sustainable urban tourism that contributes to the New Urban Agenda and the Sustainable Development Goals.

11 Strategies to manage visitor flows in urban destinations

- Strategy 1: Promote the dispersal of visitors within the city and beyond
- Strategy 2: Promote time-based dispersal of visitors
- Strategy 3: Stimulate new itineraries and attractions
- Strategy 4: Review and adapt regulation
- Strategy 5: Enhance visitors’ segmentation
- Strategy 6: Ensure local communities benefit from tourism
- Strategy 7: Create city experiences for both residents and visitors
- Strategy 8: Improve city infrastructure and facilities
- Strategy 9: Communicate with and engage local stakeholders
- Strategy 10: Communicate with and engage visitors
- Strategy 11: Set monitoring and response measures

“Understanding residents’ attitude towards tourism and engaging local communities is central.”

Citation: World Tourism Organization (UNWTO); Centre of Expertise Leisure, Tourism & Hospitality; NHTV Breda University of Applied Sciences; and NHL Stenden University of Applied Sciences (eds., 2018), ‘Overtourism’? – Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions, UNWTO, Madrid, DOI: <https://doi.org/10.18111/9789284419999>.

オーバーツーリズムの対応策；UN Tourism 2018報告書より（日本語訳）

俗説の否定

1. 観光地における混雑は、観光客の数のみに左右されるのではない。**観光客を管理し受け入れる能力も重要**である。
2. 観光地における混雑は、一般的に都市全体の問題というより**地域的な問題**である。
3. 観光地における混雑は、**観光業のみに**おける問題ではない。
4. 技術的、あるいはスマートな解決策は重要だが、それ単体では観光地における混雑の問題を解消することはできない。

* Amsterdam, Barcelona, Berlin, Copenhagen, Lisbon, Munich, Salzburg and Tallinn

主な結論

- 右の11戦略とそれに紐づく68施策が、都市における観光客の増加を把握・管理するための手助けとなる
- There is no one-size-fits-all solution. It is essential to develop a tailored urban agenda.
- 観光の発展とそのマネジメントは、より広範な都市政策課題の一つとして掲げる必要がある
- 万能な解決策はない。全てのステークホルダーが共通の戦略的ビジョンを持つことが不可欠である。住民と観光客をつなぎ、観光地のキャパシティと特殊性を尊重した慎重な計画を立てる
- 観光の流れをよりよく管理し、新しい都市政策とSDGsに貢献するため、12の政策提言を行う

都市観光地で観光客の流れを管理する11戦略

- Strategy 1: Promote the dispersal of visitors within destinations
戦略①：域内外へ観光客を分散させる
- Strategy 2: Promote time-based dispersal of visitors
戦略②：来訪時間の分散を促進する
- Strategy 3: Stimulate new itineraries and attractions
戦略③：新しい旅程と魅力を提案する
- Strategy 4: Enhance visitors' segmentation
戦略④：ルール・規制の見直しと適用
- Strategy 5: Ensure local communities benefit from tourism
戦略⑤：訪問者ターゲティングを強化
- Strategy 6: Create city experiences for both residents and visitors
戦略⑥：地域が観光で稼げるようにする
- Strategy 7: Communicate with and engage local communities
戦略⑦：住民と観光客双方の都市体験を創造
- Strategy 8: Communicate with and engage visitors
戦略⑧：都市インフラと施設の改善
- Strategy 9: Set monitoring and response measures
戦略⑨：地域に働きかけ、巻き込む
- Strategy 10: Communicate with and engage visitors
戦略⑩：観光客に働きかけ、巻き込む
- Strategy 11: Set monitoring and response measures
戦略⑪：モニタリングと対応策の設定

住民の観光に対する考え方を理解し、地域社会を巻き込むことが重要である

Citation: World Tourism Organization (UNWTO); Centre of Expertise Leisure, Tourism & Hospitality; NHTV Breda University of Applied Sciences; and NHL Stenden University of Applied Sciences (eds., 2018), 'Overtourism'? – Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions, UNWTO, Madrid, DOI: <https://doi.org/10.18111/9789284419999>.

施策の類型及び具体例

観光地の実情に応じて地域の関係者が行う取組を促進

マナー違反行為の防止

1 旅行者に対するマナー啓発

- 啓発設備の設置
(ピクトグラムによる周知、看板・デジタルサイネージ等の整備)
 - 違反行為（文化財の破損、立入禁止区域への侵入、ごみのポイ捨て・放置等）への対処
 - 条例に基づく罰則等による対処
- 等

混雑の抑制・緩和

2 受入環境の整備・増強

- 交通等の対応力増強
 - 車両の長大化・施設の改良・拡張
 - 運転手の確保・デジタル技術の活用
 - 観光客集中地域での道路・歩道整備、無電柱化、ごみ箱設置促進
 - 道路・歩行空間の容量拡大
 - スマートごみ箱の設置促進
 - 観光・交通事業者の担い手確保対策
 - 複数交通モードを組み合わせた円滑な移動手段の提供
 - 手ぶら観光の促進
 - 観光客向け乗合タクシーなど新たな輸送サービスの検討
 - 受入環境充実のための入域料の導入
- 等

3 需要の適切な管理

- バス・鉄道の運賃・料金の柔軟な設定による地域住民と観光客の需要のすみ分け等
 - イベント開催時等の多客期・多客エリアの混雑抑制
 - 混雑度やサービスレベルに応じた料金設定
 - 特定エリアへの入域等の管理・規制
 - 入域制限の導入
 - 同伴ガイドの義務化
 - 車両の乗入規制等の交通規制の実施
- 等

4 需要の分散・平準化

- 地方誘客促進、分散化
 - 11モデル地域における高付加価値なインバウンド観光地づくり等の促進
 - 空いている交通モードや場所・時間帯・時期への誘導
 - 観光客が集中する交通モードからの分散
 - 混雑状況の可視化、リアルタイム配信
 - デジタル技術を活用した空いている観光ルートの提案
 - デジタルクーポン等のインセンティブ付与による空いている場所・時間帯への誘導
 - 夜間・早朝・平日等、空いている時間帯・時期の商品造成
- 等

地域住民と協働した観光振興

5 住民との協働や理解醸成の推進

- 地域の関係者による協議の場における計画策定、取組実施
 - 観光関係主体・事業者が地域住民と協働する取組
 - 地域住民向け説明資料や学生向け教材の作成、周知
- 等

出典：
オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議第二回（令和5年9月29日）資料より

https://www.mlit.go.jp/kankocho/over_tourism_yobou_yokusei.html

オーバーツーリズムをめぐる現在の議論

- 2023年3月、グラスゴー・カレドニアン大学で観光学の講師を勤めるO'Regan, M.氏が「オーバーツーリズムという言葉の使用を止めるべき」として学術論文を寄稿、理由は以下の通り：
 - ✓ オーバーツーリズムは比喩的表現であり、災害や脅威を連想させる過剰な強調表現であり、観光客の反社会的行動を関連付け、観光客と現地住民の対立構造を生んでいる
 - ✓ 観光客を「正しい」「間違っている」に選別しようとする解決策が支持され、地域を破壊しに来る旅行者から住民を守ろうとする一方で、政治や法制度の構造的な問題はあまり注目されない
 - ✓ 公的な文書にも使われているのに、きわめて曖昧で抽象的、文脈によって意味が変わる
 - ✓ 現実を歪曲したり作り出したりするのではなく、観光管理にはより多くの冷静で、合理的で、賢明で、包括的なアプローチを議論し、開発する必要がある
- これに対しSkift社は2023年4月の記事で、当初の目的は「観光地が目を覚まし、本格的に観光地管理を考えるきっかけ」とするために分かりやすい言葉を造ったとしつつも、「その目的は果たされたため、次に進む時です」とし、オーバーツーリズムという言葉を使わないことに同意
- 記事後半でまとめられているO'Regan氏とSkift社のディスカッションの中で、観光客に問題があると考えられるのではなく、政策立案者や観光ライセンスの提供者等、現地のファシリテーター側にも問題があると考えべきだという意見を紹介している

記事リンク：

<https://blog.geographydirections.com/2023/03/13/the-metaphoric-rise-of-overtourism-and-why-we-should-stop-using-the-phrase/>
<https://skift.com/2023/04/08/it-is-time-to-ditch-the-phrase-overtourism/>

オーバーツーリズムの概念まとめと本研究のポイント

- ① オーバーツーリズムは**状態を表す言葉**であり、問題の原因ではない。同じような状態の地域があったとしても、根本的な原因は全く別のものである可能性がある
- ② オーバーツーリズムは**主観的な表現**であり、その程度を定量的に定義することは難しい
- ③ オーバーツーリズムは**比喩的表現**で、住民の観光に対するネガティブ感情を過剰に表した言葉であり、必ずしも混雑が観光地のキャパシティを超過しているわけではない

**「オーバーツーリズム」という言葉は使用するべきではないかもしれない
但し、観光客の増加により問題が発生していて、住民運動に発展しているケースがあるのも事実**

本研究のポイント

(1) 課題の整理と分類により、重点ポイントや優先順位の考え方を明らかにする

→第5章：観光客の増加がもたらす課題の分類・整理

(2) 観光に対する（主に住民の）ネガティブ感情のトリガーを明らかにする

→第6章：住民感情のトリガー検証（定量分析）

+

台東区をモデルにした住民観点、旅行者観点の詳細分析

→第7章：人流及び生活導線と住民感情の検証（定性分析①）

第8章：旅行者の混雑やマナーに対する意識調査（定性分析②）

5. 観光客の増加がもたらす課題の分類・整理

課題を整理・分類するための4つの観点

オーバーツーリズムで取り上げられる問題を以下4つの観点で分類、整理した。

(1) 影響の顕在化レベル …地域にとって旅行者の増加が及ぼす影響がどの程度深刻か

- ✓観光客が増加したらいきなり住民による反対運動が起きるわけではないので、うまく住民の理解を得ている地域もあるはず
- ✓また、それぞれの局面において注目すべき指標は変わってくるのではないか

(2) 課題の範囲と解決難易度 …どの範囲の課題に焦点を当て、ステークホルダーをどこまで巻き込むか

- ✓紹介した定義でも狭義～広義まで様々ある中で、対応を検討する際どの範囲までを考えるべきか
- ✓局所的な課題から、自治体もしくはより広域に亘る課題もあるのでは

(3) 地域特性 …地域の地理的条件や性格を踏まえて、どのような課題に着目するか

- ✓地域の地理的条件や性格等により、観光客の増加によって懸念される問題及び対策の方向性が異なるのではないか
- ✓これらのある程度分類できれば、観光地ごとに対策の方向性が見えてくる

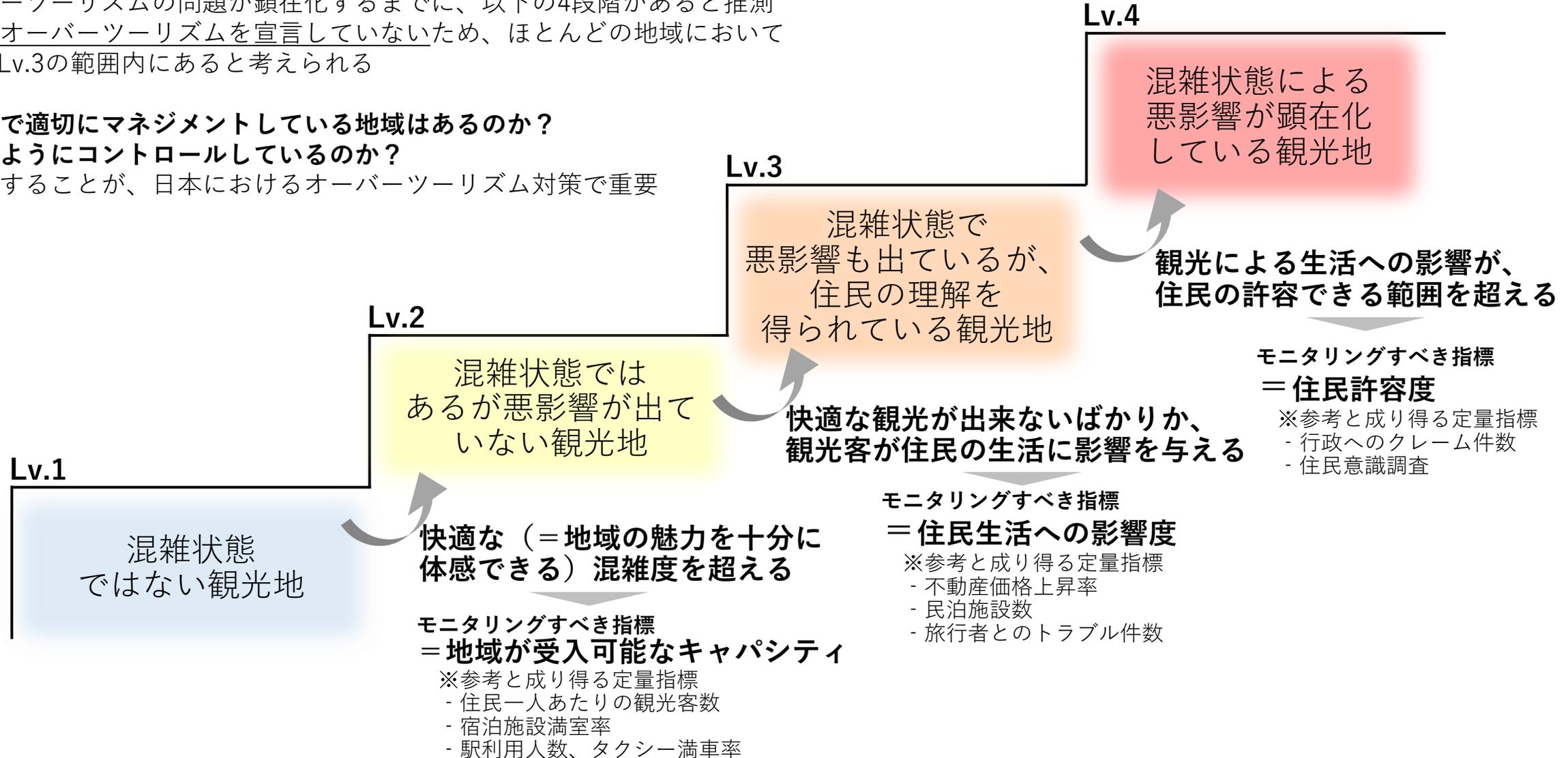
(4) ネガティブ感情の主体者 …地域の現状を良く思っていないのは誰で、何に対してネガティブな感情を抱いているか

- ✓UN Tourismの定義における「住民」と「旅行者」は対等なものとして扱うべきなのか
- ✓そもそも、「過剰な」混雑を感じる程度には差があるのではないか

(1) 影響の顕在化レベル

オーバーツーリズムの問題が顕在化するまでに、以下の4段階があると推測
日本はオーバーツーリズムを宣言していないため、ほとんどの地域において
Lv.1～Lv.3の範囲内にあると考えられる

- ・Lv.3で適切にマネジメントしている地域はあるのか？
 - ・どのようにコントロールしているのか？
- を解明することが、日本におけるオーバーツーリズム対策で重要



(2) 課題の範囲と解決難易度

狭義的／広義的という意味の範囲を分類する観点に加え、観光客の増加による問題が都市レベル（広域的）なのか、あるスポットのみ（狭義的）で起きているのか、地域的な範囲で分類

→一般的に問題視されるものはきわめて狭義的、かつ狭域的なもの

	狭義的課題	広義的課題
狭域的課題	<ul style="list-style-type: none"> 観光地内での混雑 市街地のトイレ・ゴミ処理の問題 騒音・マナー問題、旅行者と住民のトラブル 観光客の疲労、満足度低下 	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の質の維持や向上と歴史文化遺産の保持 充実した観光体験や観光の質の向上 伝統文化や風習の商業化 景観の変化、地域独自のアイデンティティ喪失 自然公園の来訪客急増によるゴミ問題、自然環境の破壊
広域的課題	<ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞や公共交通機関の過剰負荷 地域住民の生活の質低下 住民生活圏における騒音問題 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体による事態の把握とその対応政策 廃棄物の増加や資源の過剰消費、生態系への影響 地価・住宅コストや生活コストの上昇、住宅不足 観光産業への特化による産業構造の変化 繁閑による雇用の不安定化、生活水準の変動、商品価格の高騰

関わるステークホルダーとの密なコミュニケーションが必要

自治体を越えた広域での連携が必要

発生する要因を細かく分析し、具体的で明確な対策が必要

分野を横断した解決策の検討が必要
(=観光のみでは解決できない)

(3) 地域特性

各地の事例が示すオーバーツーリズムの背景や懸念されている悪影響から、オーバーツーリズムで問題に上げられる地域のパターンを大きく以下の4分類と仮定した
本レポートでは、都市型に焦点を当てつつ、リゾート型・アイランド型・自然型と比較しながら分析・考察を進める

- 観光地の4分類 -

都市型

バルセロナ、アムステルダム
京都、鎌倉等

住民が多く生活し、交通インフラが発達している都市部において発生するもの

訪問者のコントロールやマネジメントが難しいうえ、混雑の問題とマナーの問題が複合的に発生するため、対策難易度が高い

影響：公共交通機関の混雑や居住地域への観光客流入、民泊施設の増加による家賃上昇、文化財に対するいたずら等

リゾート型

アマルフィ、レイクタホ(アメリカ)、軽井沢、湯布院等

行楽や保養目的で開発された地域で発生するもの
住民の多くは観光関連産業に従事する

影響：観光産業に関係しない住民の生活、過度な開発行為による自然環境の悪化等

アイランド型

ヴェネツィア、サントリーニ島、ハルシュタット、西表島等

リゾート型に類するが、離島や山間の集落等、周辺都市からアクセス手段が限定される地域

影響：独自のかつ特徴的な観光資源（自然環境、文化財、住民の生活・文化・風習）の破壊等

自然型

マヤビーチ(タイ)、
富士山、屋久島、知床等

※屋久島は世界自然遺産のため自然型に分類

世界自然遺産や国立公園、自然保護地区等、住民が居住しない地域で発生するもの
物理的な混雑よりも訪問者のマナーによる影響が大きい

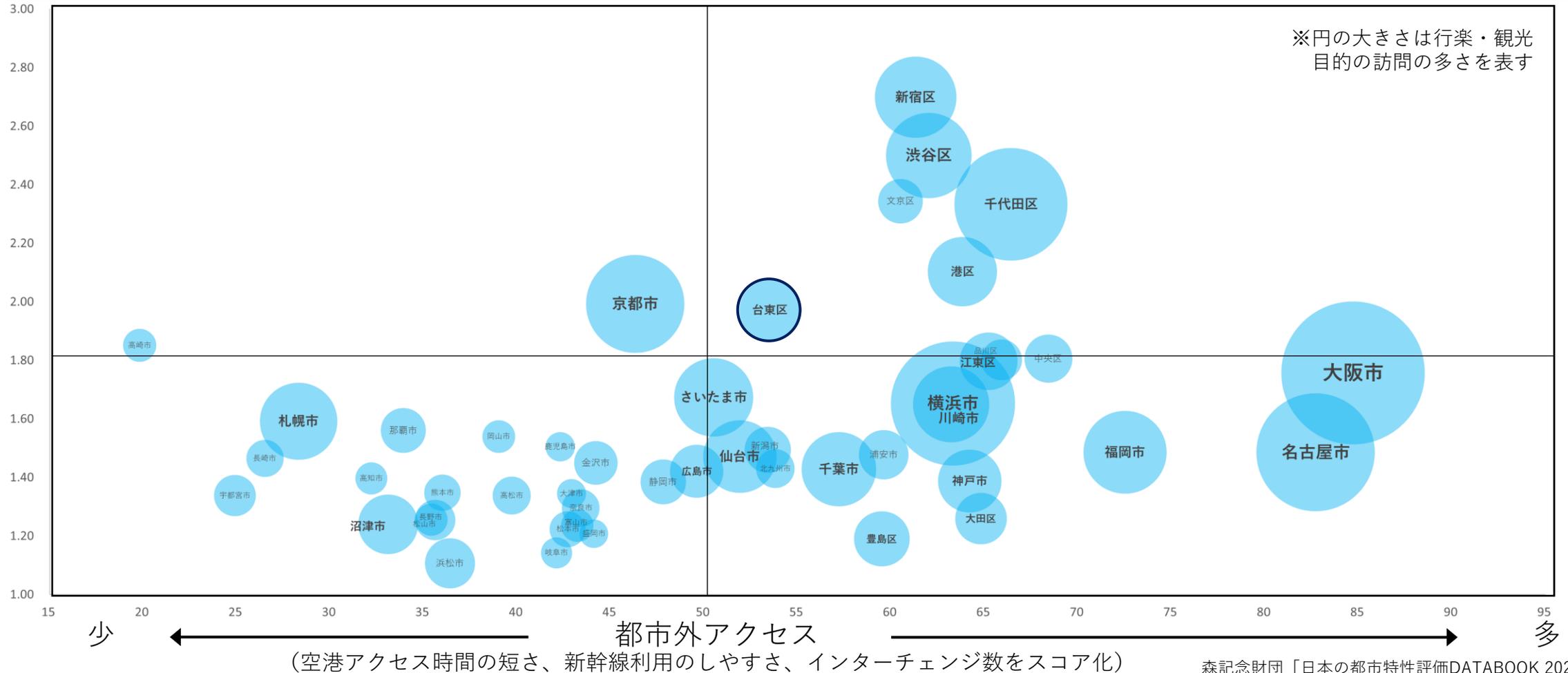
影響：ゴミやし尿による自然環境の破壊、野生動物をはじめとした周辺生物の生態系破壊等

(3) 地域特性

都市にも様々な特徴や性格があるため、さらに詳細に分類。人口17万人以上の都市、行楽・観光目的の訪問が多い都市を「滞在の長さ」と「都市外へのアクセス性」で分類した

- アクセス性×宿泊日数による都市タイプ4分類 -

(II 外国人延べ宿泊者人数/実宿泊者人数)
※23年1月～8月



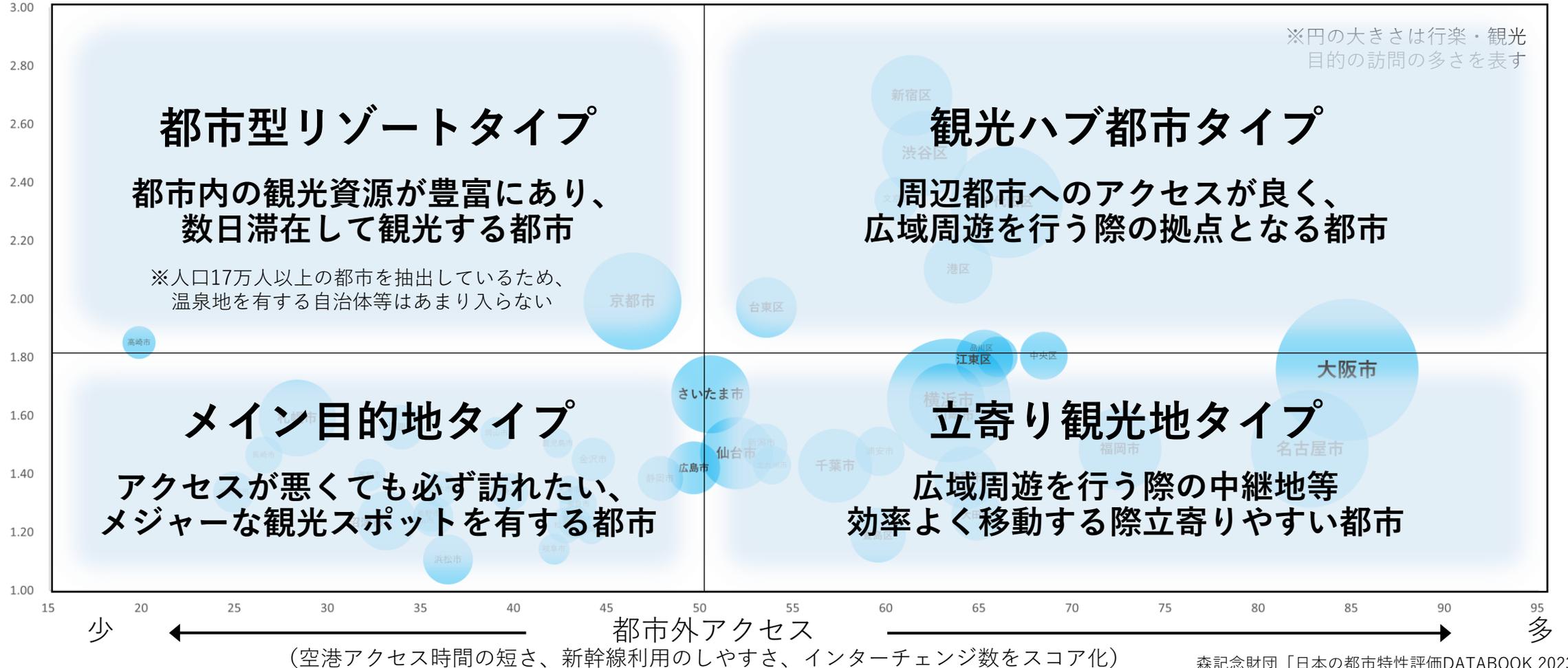
森記念財団「日本の都市特性評価DATABOOK 2023」及び観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

(3) 地域特性

滞在の長さでアクセスのしやすさから、都市のタイプを以下の4つに分類
 台東区は周辺の広域観光を含めた拠点となる「観光ハブ都市タイプ」に属する

- アクセス性×宿泊日数による都市タイプ4分類 -

(II 外国人延べ宿泊者人数/実宿泊者人数)
 ※23年1月～8月
 滞在の長さ

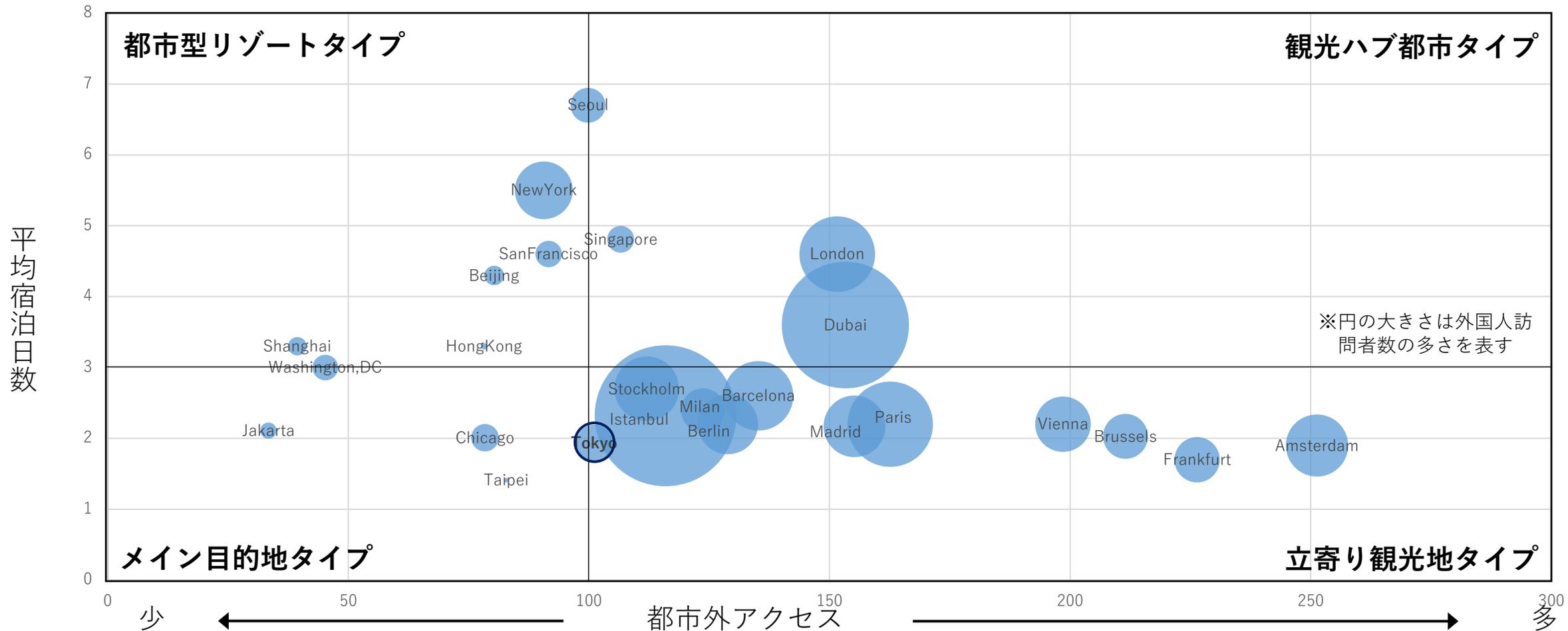


森記念財団「日本の都市特性評価DATABOOK 2023」及び観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

参考) 海外都市のタイプ分類

類似する指標で世界の都市についても分類した。ロンドンやドバイ、シンガポール等は複数の国や都市を周遊する際の拠点となっている可能性がある

- アクセス性×宿泊日数による都市タイプ4分類 -



森記念財団「Global Power City Index YEARBOOK 2022」より作成
 ※平均宿泊日数はインターネットによるリサーチ結果

(3) 地域特性による課題の分類

タイプ		特徴	観光客の増加で懸念すべき影響	補足
都市型	観光ハブ都市タイプ 新宿区、渋谷区、台東区等	空港や新幹線、高速道路の利便性が高く、滞在期間が長い。周辺都市へのアクセスが良いために、広域周遊を行う際の拠点となる都市	連泊者が多いため安価な民泊施設等が好まれ、住民の居住エリアに観光客が増えることで、夜間の騒音やゴミによる住民とのトラブルや不動産価格の高騰を引き起こす	観光客は日中の時間帯は周辺の都市にある程度分散する
	立寄り観光地タイプ 名古屋、大阪市等	空港や新幹線、高速道路の利便性は高いが滞在期間が短い。国際空港に近い都市や広域周遊を行う際の中継地等、効率・利便性が良く立寄りやすい都市	日帰り客、もしくは移動のみの目的で滞在する観光客が多く、混雑の割に観光による収入を得られない。また都市内の公共交通の利便性が悪化する	都市として発展しており公共交通の利便性も高いため、観光客という要素のみが都市の物理的な許容域を超えることは考えにくい
	都市型リゾートタイプ 京都市等	都市外へのアクセス性は高くないが、滞在期間が長い。都市内に観光資源が豊富にあり、数日滞在して観光するのに適した都市	観光資源の豊富さ故に観光客の行動パターンが一定の場合が多く、ある時期/時間帯/場所に観光客が過度に集中し、分散・平準化が難しい	宿泊比率が高く、ある程度の需要予測及びコントロールが可能
	メイン目的地タイプ 札幌市、金沢市等	アクセス性は高くなく、滞在期間も短い。数カ所のメジャーな観光スポットを有しており、旅行におけるメイン目的地の一つとして来訪される都市	メインの観光地に過度な観光客が流入し、溢れかえることで周辺居住エリアへの侵入、ゴミのポイ捨て等が発生する。観光スポットが民間施設の場合は調整が困難	問題が発生する区域が比較的局所的であり関わるステークホルダーが少ないため、コミュニケーションが取りやすい
リゾート型		行楽や保養目的で開発された地域であり、経済的な観光依存度は高く、住民の多くは観光関連産業に従事する	観光産業に関係しない住民の生活、過度な開発行為による自然環境の悪化等	
アイランド型		船や飛行機による訪問となる島しょ部や、公共交通機関でのアクセスが難しい山間部の集落等、交通手段が限定され、人流が断続的となる観光地	各地域が有する独自のかつ特徴的な観光資源（自然環境、文化財、地域住民の生活・文化・風習等）に悪影響を及ぼす	観光客の出入りの管理が可能な場合もあるため、入場料金・入場制限等を設定しやすい
自然型		世界自然遺産や国立公園等、自然が作り出す美しい景観や、多様な生態系等を有する地	ゴミやし尿による自然環境の破壊や、野生動物をはじめとした周辺生物の生態系に悪影響を及ぼす	

(4) ネガティブ感情の主体者

住民の生活の質と旅行者の体験の質

- 住民の声の例 -

- 風情ある観光地が観光客だらけになり、本来の良さを感じにくくなってしまふ
- 観光客向けに安価なホテルや商業施設や小売店が開業し、急激に町並みが変化してしまふ
- 飲食店の店頭で英語表記のメニュー表示や派手な看板が増え、落ち着いて入れるお店が減ってしまう

不安

地域資源が観光という形で消費されることで、このままでは自分たちの地域の良さやアイデンティティが損なわれてしまうのでは、という懸念

→観光計画・まちづくりにおける住民を巻き込んだ議論が重要、あるべき街の姿を共有する

- 朝の通勤時、スーツケースを引く旅行者で駅は混雑し、順番に並ばず電車に乗り込む旅行者も
- 観光客が駅前の商店街を大声で騒ぎながら歩いたり、路上でお酒を飲む、中には立ち小便をする人も
- 近くに民泊があるのか、夜中に騒ぐ声が聞こえる
- 近所に最近「聖地」でバズったスポットがあり、家の中を覗き込まれて写真を撮られたり、庭に入り込まれたりする
- 買い物をして戻ってきたら自転車のカゴの中にゴミが捨てられていた

不快

より日常的なシーンにおいて、（主に異文化圏との）マナーやモラル、習慣等の違いから、住民が観光客に対して嫌悪感を抱く

→リーフレットやピクトグラムだけだと限界あり
住民まで巻き込んだ面的なマナー啓発が重要

- バスや電車が観光客で混雑して乗車出来ないことがある
- 食べ歩きをしながら店に入ってきて、展示している商品が汚れてしまうことがある
- SNSで人気の写真スポット、立ち入り禁止の場所に無理やり侵入して写真撮影する人を見かける
- 観光スポットにもなっている歴史的な石碑の裏に落書きが…

不利益

観光客の行動により住民に対して損害を発生させることや、従来通りの生活が送れなくなる程の負担が生じる等、実害が発生している状態

→ルール違反には厳正な対応を、問題解決のためにはハードへの投資を

※上記分類はじゃらんリサーチセンターによる

(4) ネガティブ感情の主体者

住民の生活の質と旅行者の体験の質

- その観光地を来訪する「メイン目的」が達成されない程混雑する場合、著しく満足度が低下する可能性がある
- ギリシャのアクロポリスでは、クルーズ船の影響により、一日の来訪者数が2万4,000人まで増加
文化遺産を保護する観点から、予約制とし時間帯別の入場を行い、一日の入場者を最大2万人に制限
- 旅行者の体験の質低下に対する対策ではないものの、一定の区画された範囲に対する入場制限を行った事例として掲載
- 参考までに、国内の商業施設やテーマパークにおける、2019年の一日あたりの来訪者数と比較した結果は以下

出典：https://honkawa2.sakura.ne.jp/7223q.html等（詳細は巻末の出典一覧を参照）

施設名	一日あたり来訪者数	面積	人口密度
東京ディズニーリゾート（千葉県）	7.9 万人	100 ha	790 人/ha
ナガシマリゾート（三重県）	4.2 万人	63 ha	667 人/ha
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（大阪府） ※参考	4.0 万人	54 ha	741 人/ha
アクロポリス（アテネ）	2.0 万人	3.04ha	6,579 人/ha
刈谷ハイウェイオアシス（愛知県）	2.2 万人	17 ha	1,294 人/ha
おかげ横丁（三重県）	1.6 万人	0.9 ha	17,778 人/ha
清水寺（京都府） ※参考	1.4万人	13 ha	1,077 人/ha

※各施設が公表している2019年の来訪者数を365日で割った数値。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは2017年以降来園者数を公表していないため、2016年の数値を基に算出、清水寺は参拝者数を公表しておらず、出典の記載を基に算出した。

「旅行者の体験の質」よりも「住民の生活の質」を下げる混雑に注目すべきではないか？

オーバーツーリズムの問題に向き合う際に考えるべき観点は以下の4つ

① 影響の顕在化レベル：

自地域では観光客が増加しているだけなのか、それにより諸問題が発生しているのか、諸問題を住民はどう受け止めているのか？ 住民の声を拾う

② 課題の範囲と解決難易度：

どこまでの課題の範囲に対して検討を進めるか？

→より局所的な問題を自地域のみで解決するか、広範囲の問題を各所と連携しながら解決するのか？

③ 地域特性：

自地域はどのような特徴で、観光客の増加によって懸念すべき影響はどのようなものが考えられるか？

④ ネガティブ感情の主体者：

住民の声が「不安」「不快」「不利益」のどれに分類されるか、あてはめて考察

今回検証する台東区であてはめると…

① 台東区観光課に対して時折苦情が届くものの、第7章で取り上げる「台東区民調査」のアンケート結果から、「**混雑状態で悪影響も出ているが、住民の理解を得られている状態(=Lv.3)**」と判断

② 台東区内（主に浅草エリア）で起きている問題を考察するため、**狭義・狭域**について着目

③ 滞在が長く、他都市へのアクセスもいいため、都市型の「**観光ハブ都市タイプ**」に分類。民泊の増加による夜間の騒音やゴミ問題、不動産価格の上昇等が懸念される

④ 「不安」「不快」「不利益」それぞれに該当する苦情が入り混じっている状況（外資系の商店等が増加する、マンション等共有スペースに侵入して喫煙する、歩き食べをして汚れた手で商品が汚された、等）

6. 住民感情のトリガー検証（定量分析）

検証する仮説の一覧

多くの住民が観光に対してネガティブな感情を抱くとオーバーツーリズムに発展していくことが分かった
→では、何が住民感情の悪化を招くのか？

以下9つの仮説を提示、台東区と国内外の都市を定量比較しながら、検証を進める

1 観光客の増加度合い
観光客が急激に増加することで短期間で町の景観変化が進むなどして、住民のネガティブ感情が増大する

2 インバウンドのインパクト
外国人観光客が増えることで文化やモラル・マナーの違いを受け入れられない住民が出てくる

3 日帰り観光客による影響
日帰り観光客が多い観光地は日中の公共交通機関や街路が混雑し、住民の通勤時間にもバッティングする

4 交通インフラの脆弱性
都市内の交通インフラが弱いと観光客が滞留し、地域住民の生活行動に影響を及ぼす

5 都市の清潔度とのギャップ
日本の都市が清潔なために、ゴミが散らかっていると気になってしまう

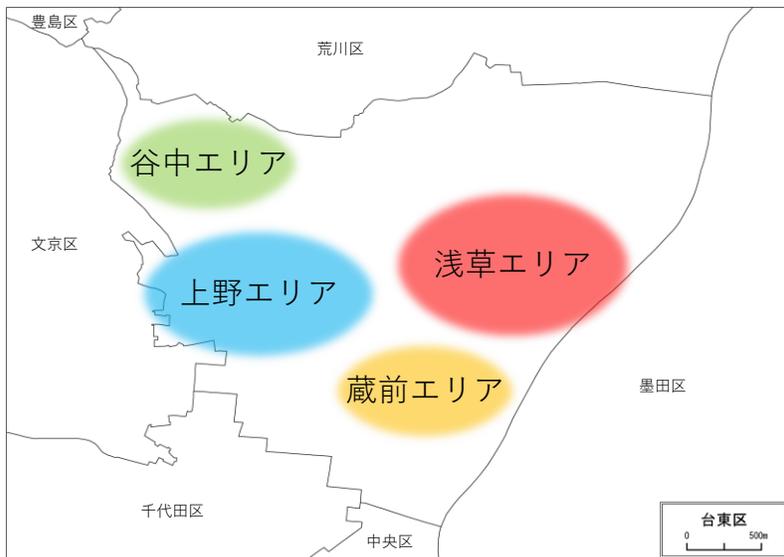
6 居住エリアにおける民泊増加
昼間人口が少ない地域（＝ベッドタウン）に民泊施設が増加すると近隣で生活する住民の感情を刺激する

7 ナイトライフの楽しみ方
夜間も楽しめる観光地では、ホテルのキャパシティが少ないと治安の悪化等、住民の感情を刺激する

8 居住歴による受入許容度の変化
居住年数が長いほど、昔ながらの景観が失われ、住み慣れた町が変わってしまうことに抵抗を感じる

9 都市における観光依存度
観光以外の文化的資源・施設の数が少ないと特定の観光スポットへの依存度が高くなり、住民感情が悪化する

台東区について



人口密度(人口/面積)	20,522.2人/㎢ (人口: 207,479人/面積: 約10.11㎢) ※2023年時点
観光客数(増減率) <small>※「台東区観光統計・マーケティング調査報告書」より</small>	<宿泊者数> 2008: 430,000人 → 2018: 8,240,000人 <内、外国人> 2008: 120,000人 → 2018: 2,060,000人 <日帰り> 2008: 38,914,000人 → 2018: 47,590,000人
台東区について	東京23区の一つで、北東部に位置する。23区の中で最も面積が小さい。東京の中では初期段階から市街地の形成が進み、特に江戸時代から商業が栄えた浅草は、江戸時代の文化が息づいた下町エリアであり、近年では外国人観光客にも人気の観光地となっている。
台東区の観光地	観光・行楽観点では以下4エリアが人気の観光スポットになっている。 ① 浅草エリア …江戸時代から浅草寺を中心に行楽地・繁華街として栄えてきた。明治期には浅草六区等の歓楽街が形成され、 娯楽・芸能の中心 として賑わったほか、西側には合羽橋道具街が形成された。現在でも江戸の面影が残る街として国内外から多くの観光客が訪れる。 ② 上野エリア …日本初の公園である上野恩賜公園を中心に、博物館・美術館・動物園・大学等 多彩な文化・芸術資源 が集積。2016年には国立西洋美術館が世界文化遺産に登録。上野駅～御徒町駅周辺には戦後アメヤ横丁が形成されたほか、娯楽施設等が集積している。 ③ 谷中エリア …寛永寺を中心に多くの寺社や寺町が形成されており、 数多くの歴史・文化資源 が残る。文京区の千駄木、根津と併せて「谷根千」と呼ばれるこのエリアには、過去の震災や戦災を免れた木造の住宅や狭い路地が残り、特徴のある町並みが広がっている。 ④ 蔵前エリア …御徒町と併せて「カチクラ」と呼ばれるこのエリアは、江戸時代浅草橋周辺に問屋街が形成され、人形、玩具の 製造や卸売業の集積地 として発展し、現在は古い建築物をリノベーションしたお店やクラフトショップ等が立ち並ぶ。

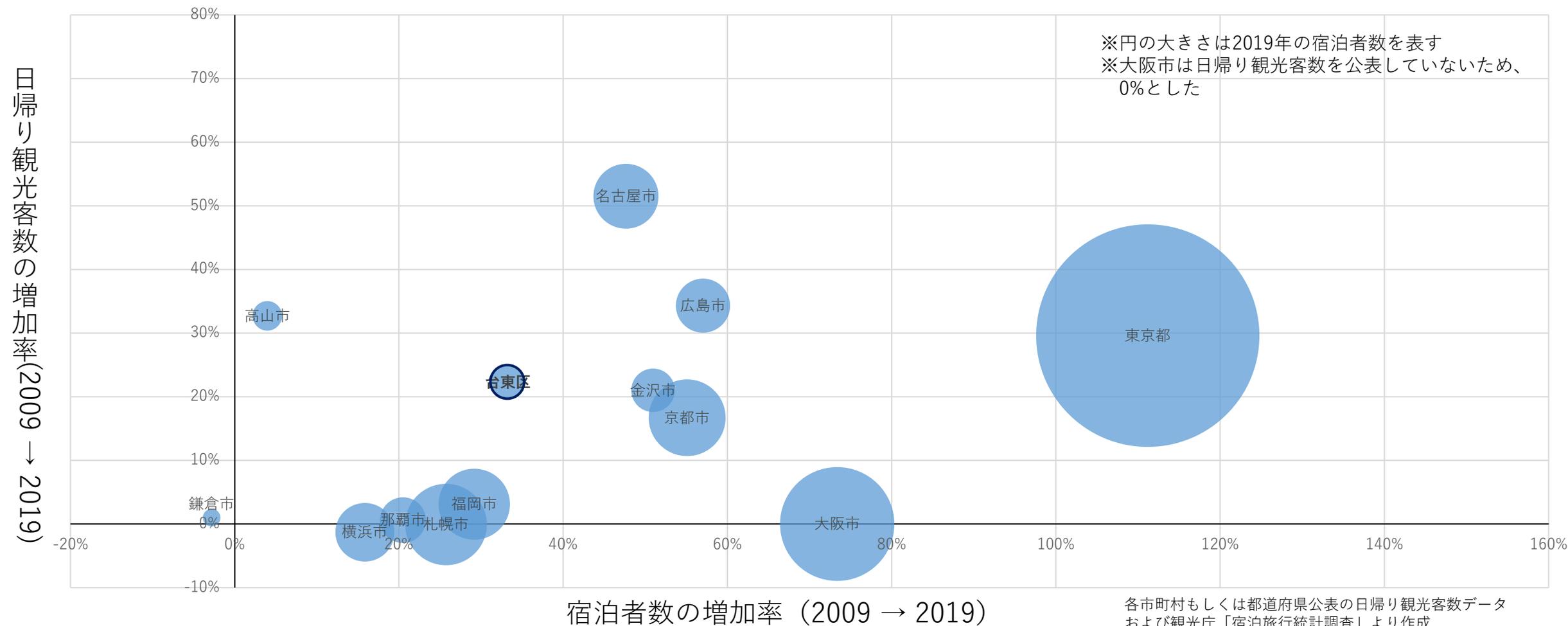


仮説1：観光客の増加度合い

観光客が急激に増加することで短期間で町の景観変化が進むなどして、住民のネガティブ感情が増大する

→縦軸に「日帰り観光客数」の増加率、横軸に「宿泊者数」の増加率を取りプロット

ここ10年間で宿泊者数が特に大きく増加しているのは東京都全体、大阪市で、日帰り観光客数が増加しているのは名古屋市
オーバーツーリズムとの関連性はあまり見られない



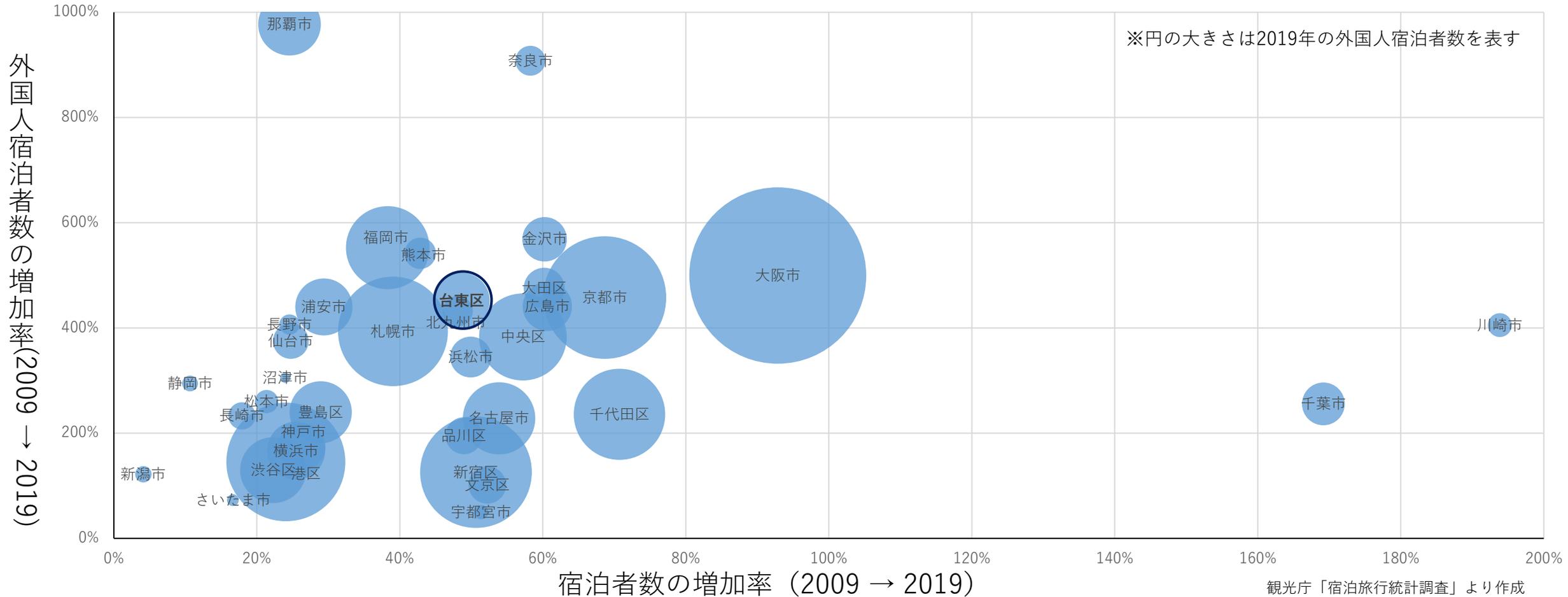
各市町村もしくは都道府県公表の日帰り観光客数データ
および観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

仮説2：インバウンドのインパクト

外国人観光客が増えることで文化やモラル・マナーの違いを受け入れられない住民が出てくる

→縦軸に「外国人宿泊者数」の増加率、横軸に「宿泊者数」の増加率を取りプロット

那覇市や奈良市は外国人宿泊者数の伸びが非常に大きく、京都市、大阪市、金沢市は宿泊者・外国人宿泊者共に増加している
外国人宿泊者が大きく伸びている、もしくは宿泊者・外国人宿泊者共に伸びている場合にオーバーツーリズムの懸念発生か

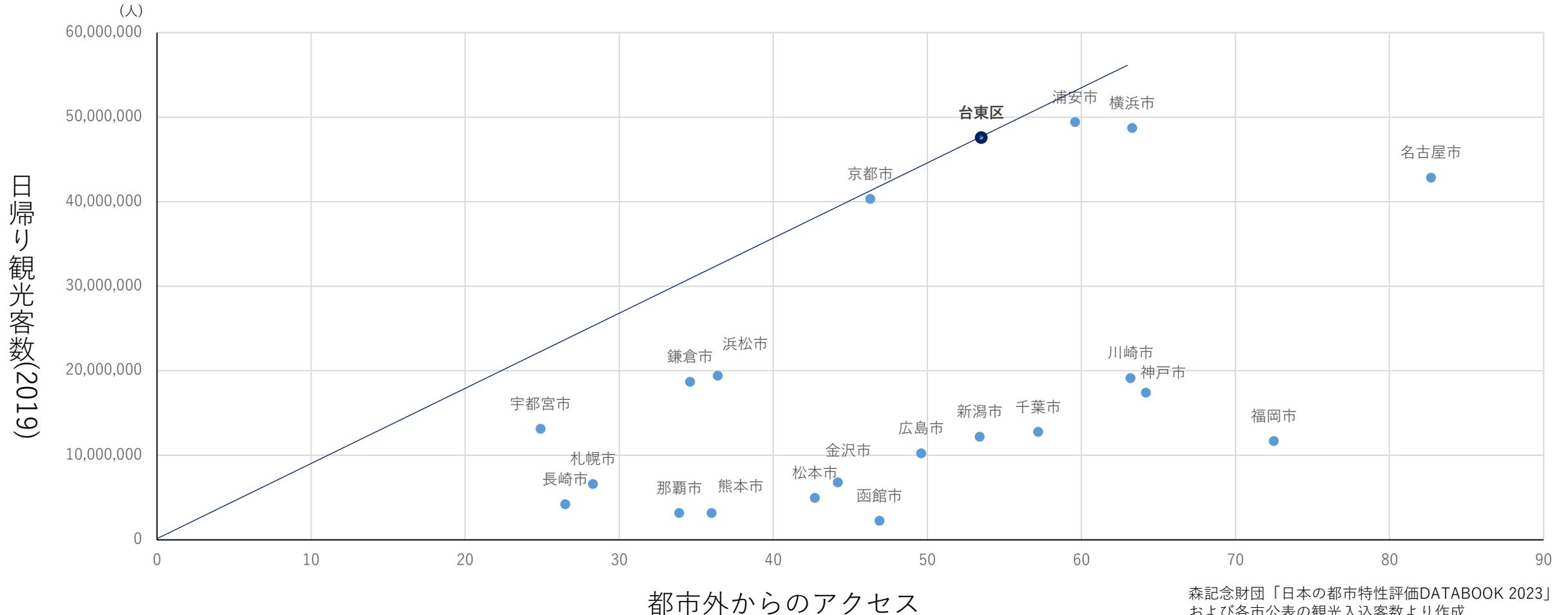


仮説3：日帰り観光客による影響

日帰り観光客が多い観光地は日中の公共交通機関や街路が混雑し、住民の通勤時間にもバッティングする

→日帰り観光客数と都市外からのアクセスの容易さを比較

全体的な相関は見られないものの、台東区をはじめ京都市、浦安市、横浜市、鎌倉市等、傾きが大きい（＝日帰り観光客数 ÷ 都市外からのアクセスの数値が大きい）地域は目的地に到達するまでに混雑に遭遇する可能性が高い



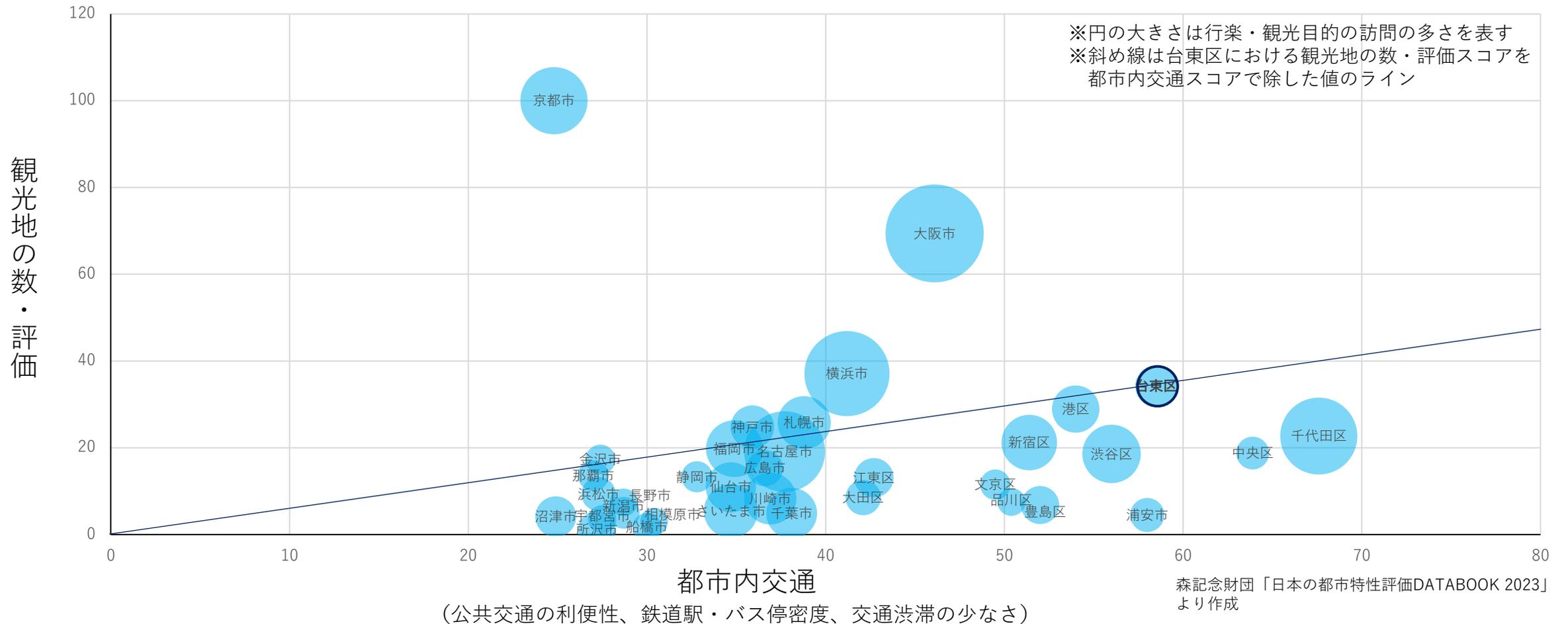
森記念財団「日本の都市特性評価DATABOOK 2023」
および各市公表の観光入込客数より作成

仮説4：交通インフラの脆弱性

都市内の交通インフラが弱いと観光客が滞留し、地域住民の生活行動に影響を及ぼす

→縦軸に「観光地の数・評価」、横軸に「都市内交通」のスコアを取りプロット

台東区と比較すると傾斜が大きい京都市、大阪市、横浜市、神戸市、札幌市等は、観光資源が多い割に周遊する手段が少なく、局所的な混雑が発生している可能性がある

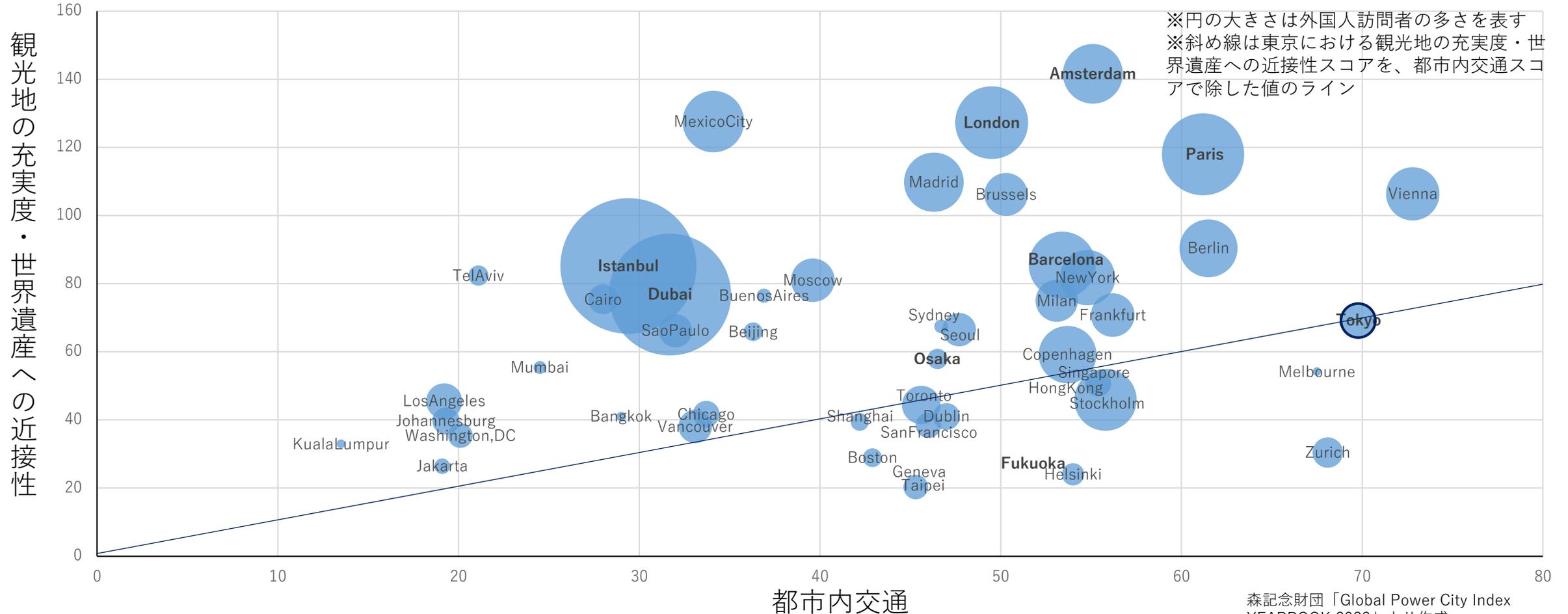


仮説4：交通インフラの脆弱性 - 海外都市比較 -

都市内の交通インフラが弱いと観光客が滞留し、地域住民の生活行動に影響を及ぼす

→前頁と似たような指標を用い、海外都市と比較（日本の都市は東京、大阪、福岡）

表の左上にある都市は域内の観光を行う際の交通手段が限られるため、混雑が発生しやすいと考えられる
特に、ドバイやイスタンブールでは上記の状態であることが推測できる

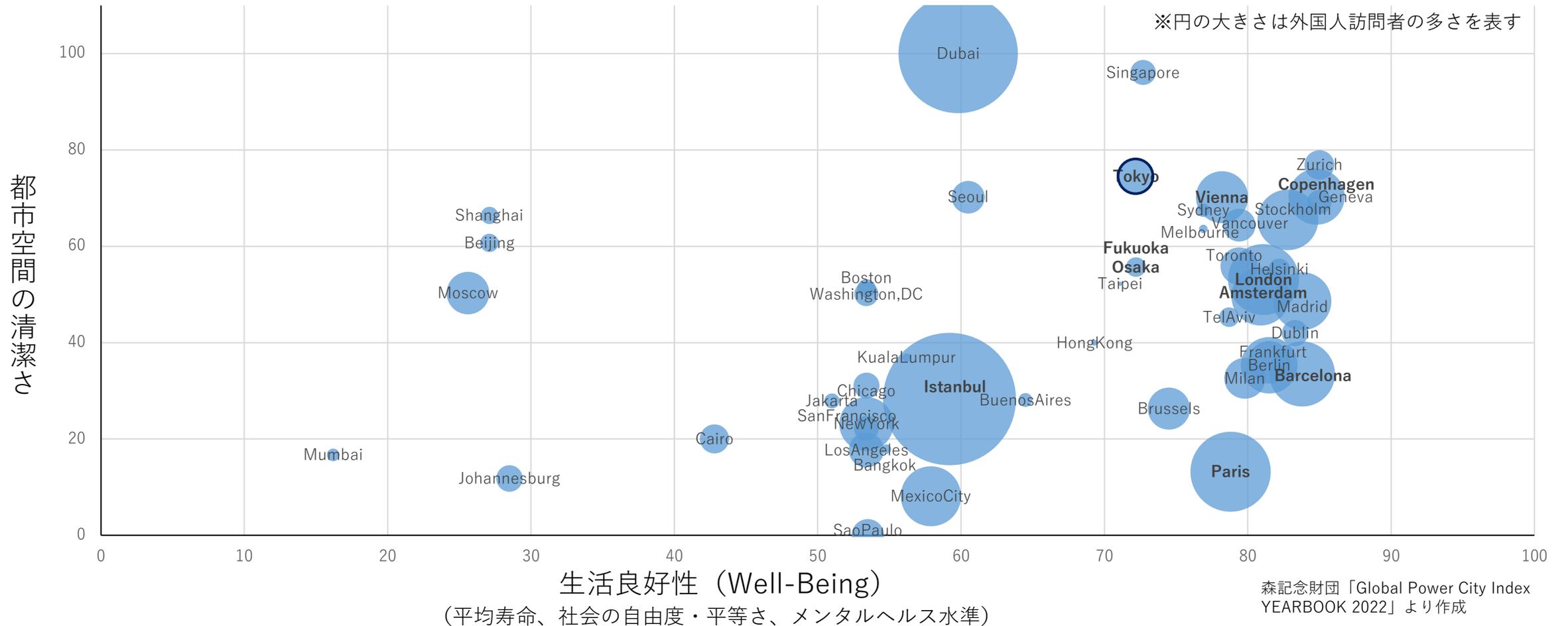


森記念財団「Global Power City Index YEARBOOK 2022」より作成

仮説5：都市の清潔度とのギャップ

日本の都市が清潔なために、ゴミが散らかっていると気になってしまう

→都市空間の清潔さと生活良好性（平均寿命、社会の自由度・平等さ、メンタルヘルス水準）で各都市をプロット
東京はかなり清潔さのスコアが高い。東京はウィーンやコペンハーゲンよりウェルビーイングスコアが低いため、観光客のゴミ問題に対する許容度が低い可能性もある



森記念財団「Global Power City Index YEARBOOK 2022」より作成

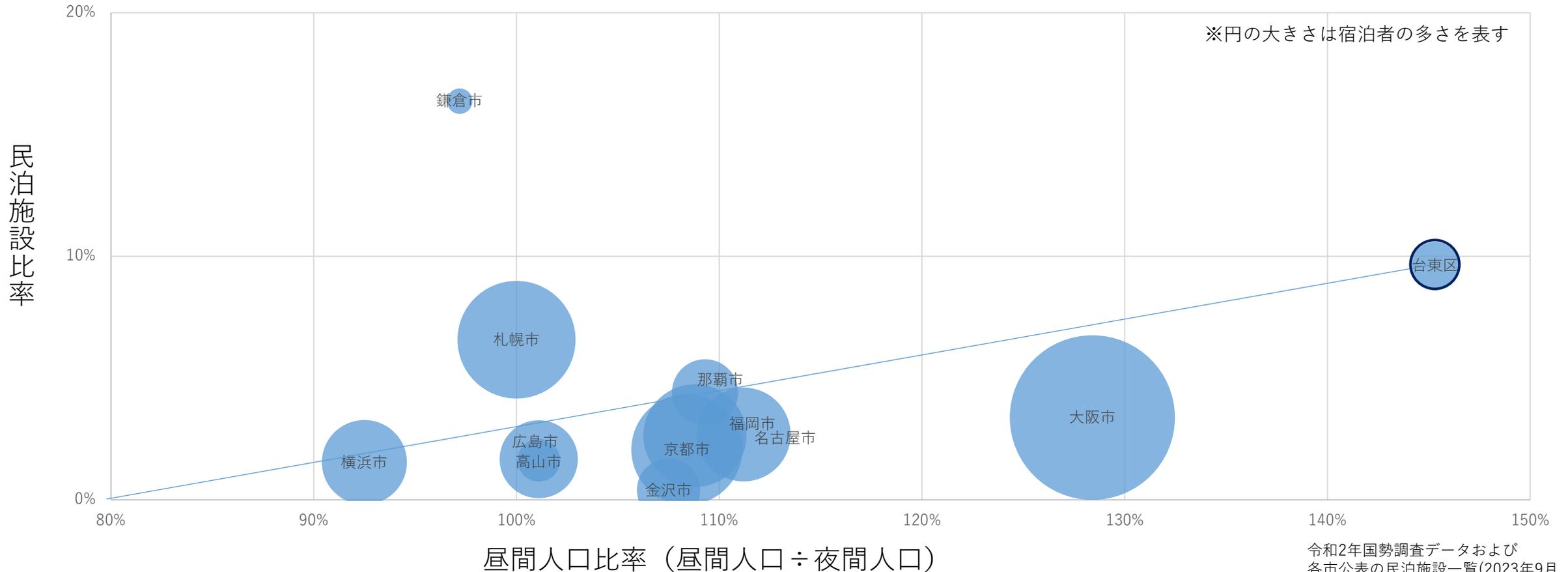
仮説6：居住エリアにおける民泊増加

昼間人口が少ない地域（＝ベッドタウン）に民泊施設が増加すると近隣で生活する住民の感情を刺激する

→各観光主要都市の宿泊施設客室数に占める民泊施設数（新法民泊）の割合と昼間人口比率を比較

民泊施設の比率が最も高い鎌倉市は昼間人口比率が低いベッドタウンであり、民泊施設が増加することで近隣住民がネガティブな感情を抱く可能性がある

昼間人口比率が高い台東区や大阪市は、日常的に日中の人流が多く、観光客が与える影響が相対的に低くなる可能性がある



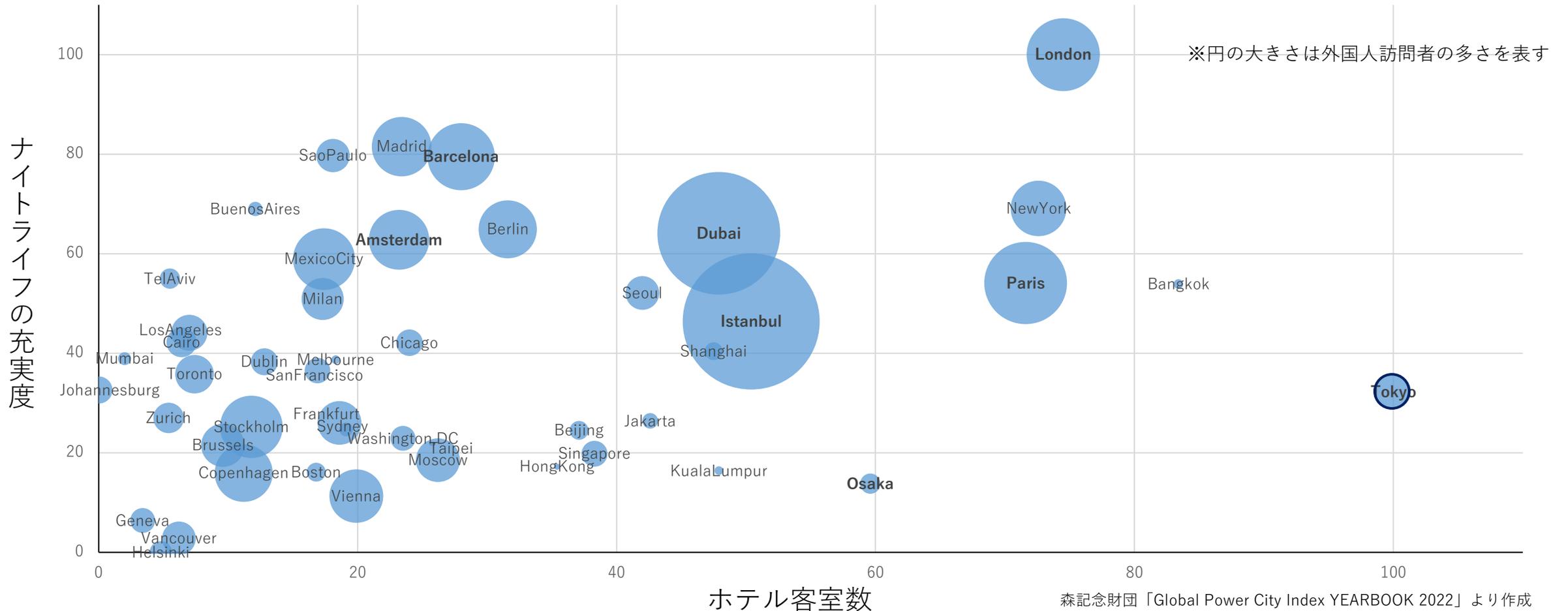
令和2年国勢調査データおよび
各市公表の民泊施設一覧(2023年9月
～10月に閲覧)より作成

仮説7：ナイトライフの楽しみ方

夜間も楽しめる観光地では、ホテルのキャパシティが少ないと治安の悪化等、住民の感情を刺激する

→ナイトライフの充実度とホテル客室数を比較すると、バルセロナやアムステルダムはナイトスポットが充実しているのに対しホテル客室が少ない。マドリードやベルリン、メキシコシティ、サンパウロ等も同様の状況

東京や大阪はホテル客室数が多く、ナイトライフの充実度は比較的低いため、夜間も楽しめる観光地という性質からの治安悪化や住民のネガティブな感情にはつながりにくいと考えられる



ホテル客室数

森記念財団「Global Power City Index YEARBOOK 2022」より作成

仮説 8 : 居住歴による受入許容度の変化

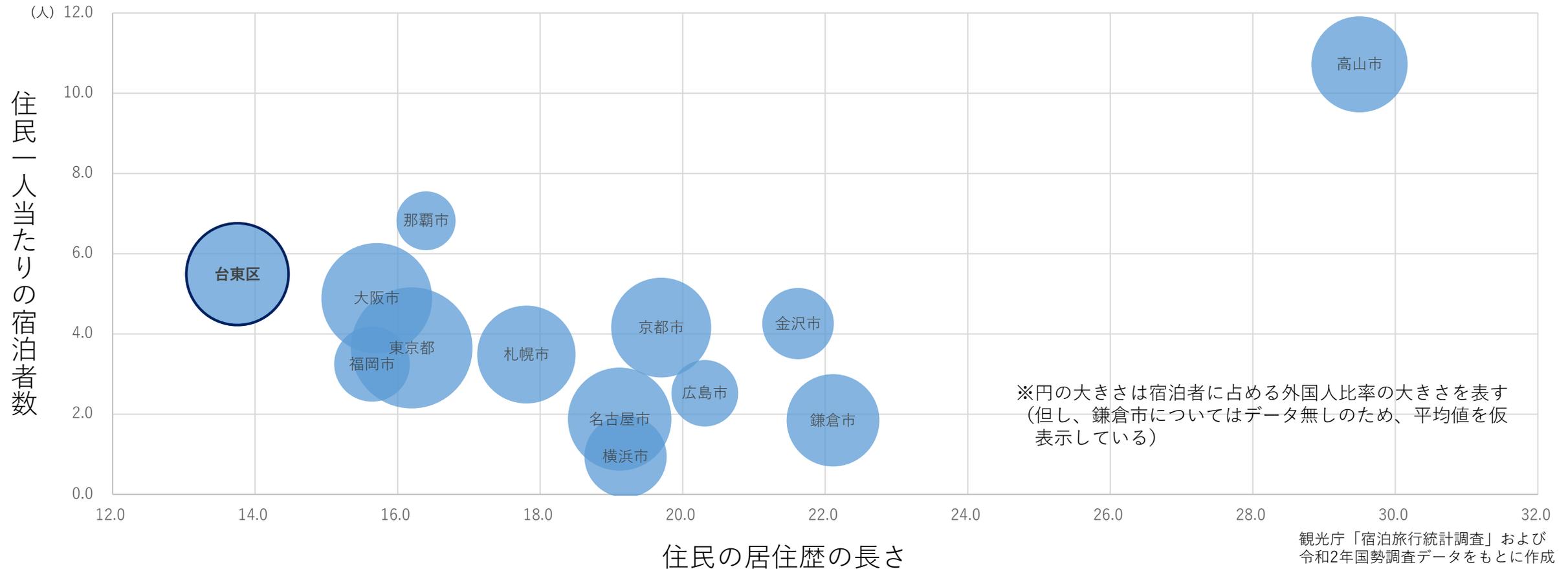
居住年数が長いほど、昔ながらの景観が失われ、住み慣れた町が変わってしまうことに抵抗を感じる

→縦軸に住民一人当たりの宿泊者数、横軸に居住歴の長さ*を取り比較

オーバーツーリズムが話題になる観光地は、比較的居住歴の長い都市が多くなっている

一方で住民一人当たりの宿泊者数に大きな相関はない

*「居住歴の長さ」は国勢調査における居住歴（5年単位）をポイント化し算出しているため、平均居住年数とは異なる

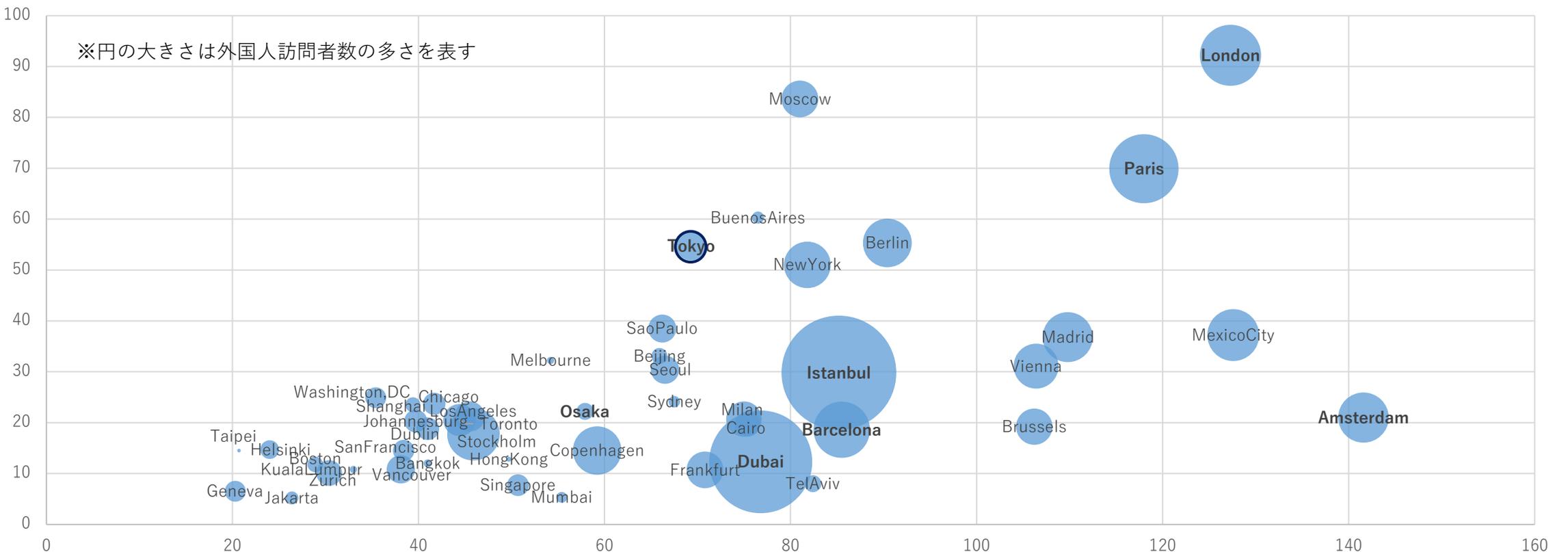


仮説 9：都市における観光依存度

観光以外の文化的資源・施設の数が少ないと特定の観光スポットへの依存度が高くなり、住民感情が悪化する

→ロンドンやパリ等はいわゆる世界遺産や歴史保護地区等の観光資源だけでなく劇場や美術館等の文化施設が豊富にあるため、観光客が文化施設にも分散される可能性があり、住民の意識が観光資源やそのエリアでの混雑ばかりに向かないのでは？
一方バルセロナやアムステルダムは、観光資源の豊富さに対して文化施設が少なく、観光客による文化資源への来訪が集中

(劇場・コンサートホール、美術館・博物館、スタジアム)
文化施設の多さ



観光資源の豊富さ
(観光資源の充実度、世界遺産への近接性)

森記念財団「Global Power City Index YEARBOOK 2022」より作成

検証結果のまとめ

仮説を検証した結果は以下の通り。非常に多くの観点から観光客の増加による影響が顕在化する可能性があるため、自地域の現状をモニタリングすることに加え、住民が具体的に何にネガティブ感情を抱いているか、自治体の観光セクションまたはDMOが地域に入り込み、声を拾い続けることが重要。

	仮説	関連度	考察
1	観光客の増加度合い 観光客が急激に増加することで短期間で町の景観変化が進むなどして、住民のネガティブ感情が増大する	☆☆☆	宿泊・日帰りの10年間の増減率を見ても、国内におけるオーバーツーリズム事例との相関は見られない。台東区は、今回比較に使用した観光庁の宿泊旅行統計調査上の数値では、増加率は中位程度であった。
2	インバウンドのインパクト 外国人観光客が増えることで文化やモラル・マナーの違いを受け入れられない住民が出てくる	☆☆☆	オーバーツーリズムが問題となっている地域は、外国人宿泊者の10年間の増加が大きい場合が多い。台東区は、今回比較に使用した観光庁の宿泊旅行統計調査上の数値では、外国人宿泊者は増えているものの、全体の宿泊者が大きく伸びていなかった。
3	日帰り観光客による影響 日帰り観光客が多い観光地は日中の公共交通機関や街路が混雑し、住民の通勤時間にもバッティングする	☆☆☆	都市外からのアクセス性を上回る観光客が来訪すると、公共交通機関の混雑が発生する。台東区に到達するまでに混雑に遭遇する可能性が高い。
4	交通インフラの脆弱性 都市内の交通インフラが弱いと観光客が滞留し、地域住民の生活行動に影響を及ぼす	☆☆☆	都市内の観光スポットが多いのに対して公共交通機関が充実していないと、オーバーツーリズムとなる可能性がある。台東区は観光資源の数が多く、移動手段も豊富にあると言える。
5	都市の清潔度とのギャップ 日本の都市が清潔なために、ゴミが散らかっていると気になってしまう	☆☆☆	バルセロナやアムステルダムは日本よりも都市空間の清潔度合いが低いため、観光客によるゴミ問題はあまり気にならない可能性がある。清潔度が高くても生活良好性が高ければ住民が受け入れる可能性も？
6	居住エリアにおける民泊増加 昼間人口が少ない地域（＝ベッドタウン）に民泊施設が増加すると近隣で生活する住民の感情を刺激する	☆☆☆	昼間人口比率が低い鎌倉市のような地域で民泊施設が増えると住民とのトラブルが問題になる可能性がある。一方、台東区のような昼間人口比率が高い地域はホテルが建ちやすく、民泊自体は多いが比率は相対的に低くなるため、関連性は見られない。
7	ナイトライフの楽しみ方 夜間も楽しめる観光地では、ホテルのキャパシティが少ないと治安の悪化等、住民の感情を刺激する	☆☆☆	ナイトライフが充実しているもののホテル等観光客を受け入れる施設が少ないと、観光客が夜中まで飲酒やパーティーをする可能性がある。また、そもそも若者のグループ旅行等が増加する可能性もある。
8	居住歴による受入許容度の変化 居住年数が長いほど、昔ながらの景観が失われ、住み慣れた町が変わってしまうことに抵抗を感じる	☆☆☆	その地域への居住歴が長いほど、観光に対して良い印象を持たない可能性が高い。その際に来訪の多さはあまり関係がない。台東区は全国的にも居住歴が短い。
9	都市における観光依存度 観光以外の文化的資源・施設の数が少ないと特定の観光スポットへの依存度が高くなり、住民感情が悪化する	☆☆☆	観光資源が多い割に劇場・美術館等その他の文化施設が少ない地域ではオーバーツーリズムが問題に。東京や大阪は観光資源の数に対しては文化施設が多い。

※上記考察はじゃらんリサーチセンターによる

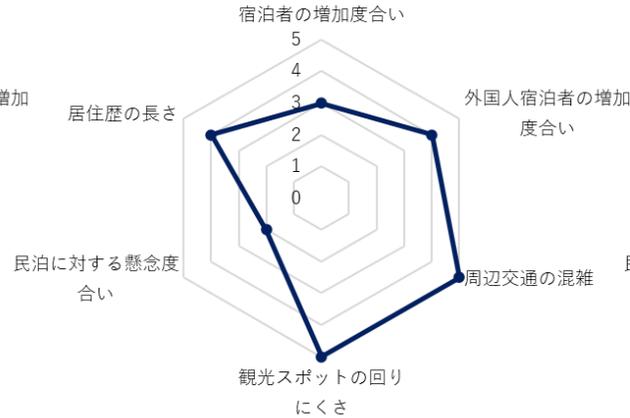
参考) オーバーツーリズム・レーダーチャート (国内)

オーバーツーリズムと関連が見られる各指標について、5段階に分け都市ごとにチャート化した9仮説の検証で参考にした指標の内、関連がありそうな項目を国内/海外それぞれピックアップして作成
 例えば台東区では、周辺交通の混雑や外国人の増加がトラブル等を招いていないか、観察する必要がある

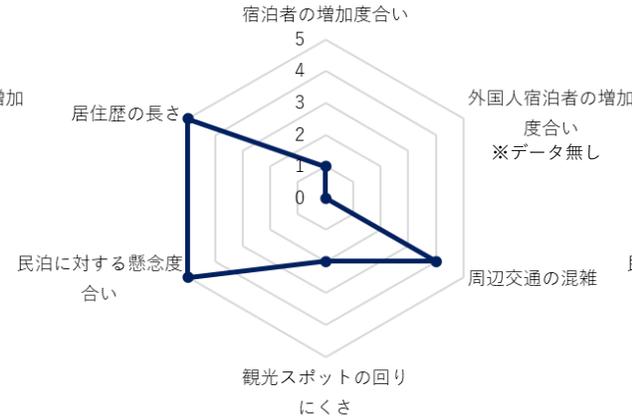
台東区



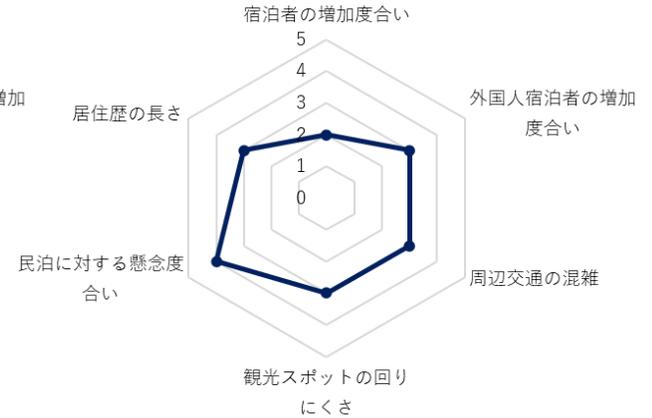
京都市



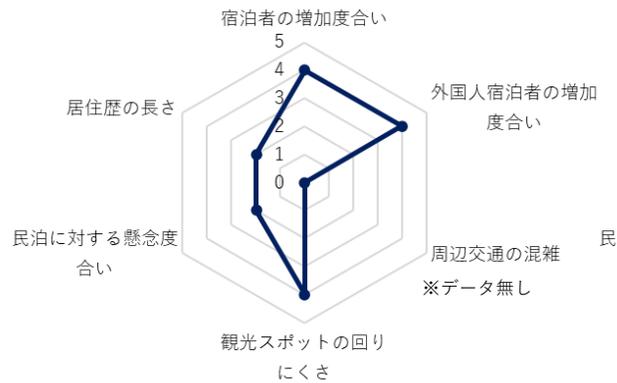
鎌倉市



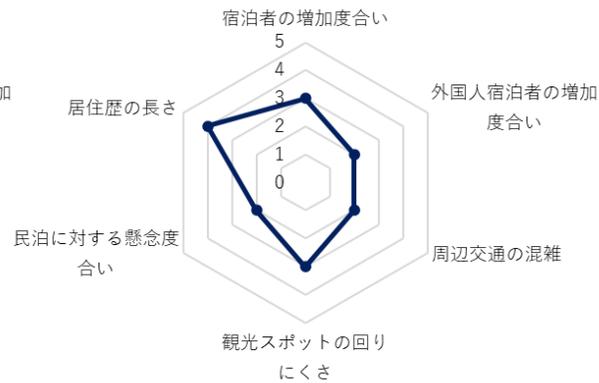
札幌市



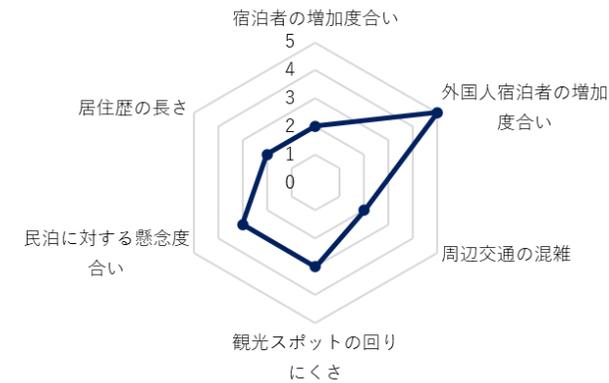
大阪市



名古屋市



那覇市



福岡市



参考) オーバーツーリズム・レーダーチャート (海外)

海外都市と比較した際のチャートは以下の通り (※指標は国内と異なる)

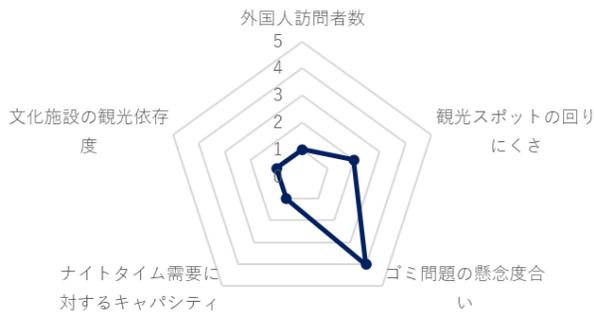
東京は全体的にスコアが低いものの、ゴミ問題に対する懸念は大きい

イスタンブールとドバイのスコアが全体的に高いが、オーバーツーリズムが顕在化しているといった報告はあまり見受けられない (ただし、イスタンブールはコロナ禍以前にそのリスクが指摘されていた)

→この2都市でなぜ大きな問題にならないかを考えることが、オーバーツーリズムの未然防止においては重要

※イスタンブールはアジアとヨーロッパの境目にあり、昔から交流・交易の中心であったこと、ドバイは約9割が移住人口となっていること等が影響か？

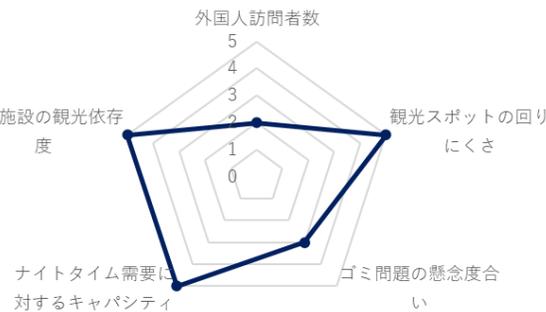
東京



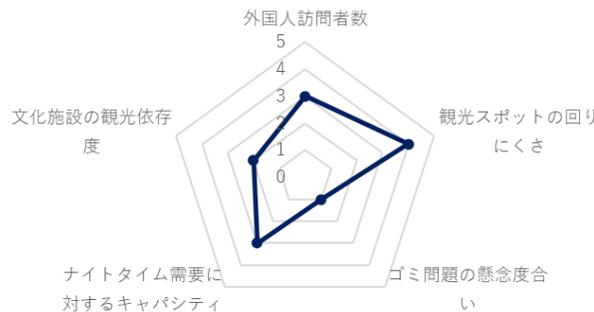
バルセロナ



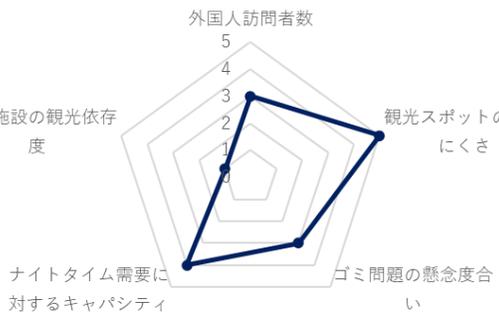
アムステルダム



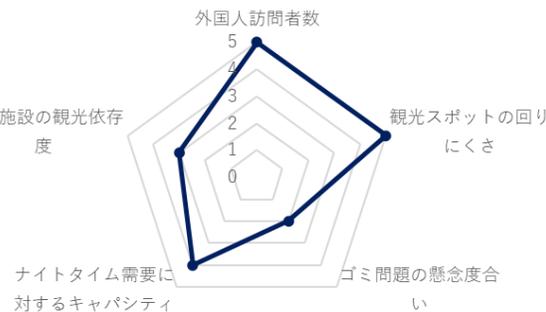
パリ



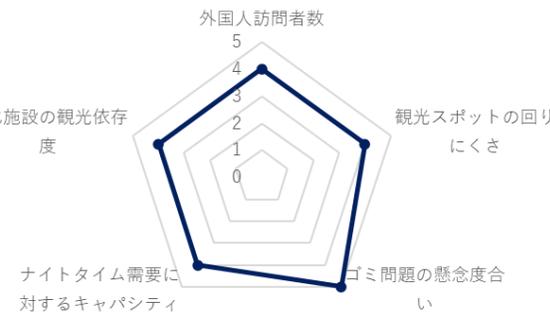
ロンドン



イスタンブール



ドバイ



7. 人流及び生活導線と住民感情の検証（定性分析①）

令和5年度「台東区民の意識調査」について

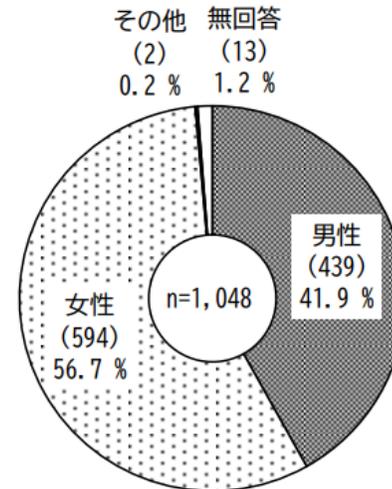
- 台東区では区民の意見や要望を把握し、区政に反映させるため、「台東区民の意識調査」を隔年で実施している
- 「定住性」、「区政への関心と要望」、「災害対策」、「環境」、「食品ロスの削減」等、20のテーマについて質問項目を設定しており、観光に関する質問も3問設定している

【調査の概要】

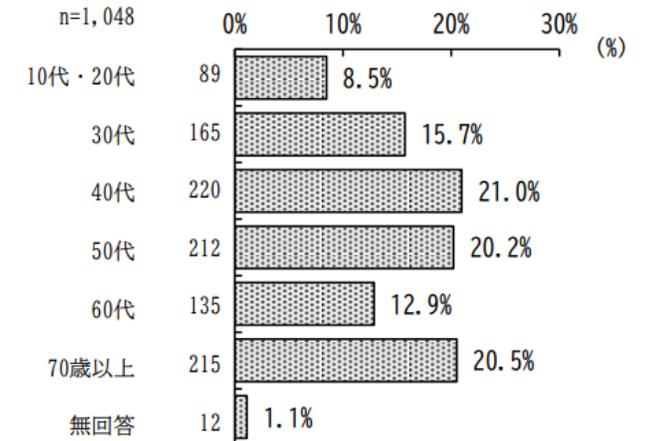
- **調査対象**
台東区在住の満 18 歳以上の個人
- **標本数**
2,000 人
- **抽出方法**
無作為抽出法
- **調査方法**
郵送配布一郵送回収またはインターネット回答
- **有効回収標本数（率）**
1,048 標本（52.4%）
- **調査期間**
2023年年 5 月 11 日（木）～ 5 月 31 日（水）

標 本 構 成

性 別

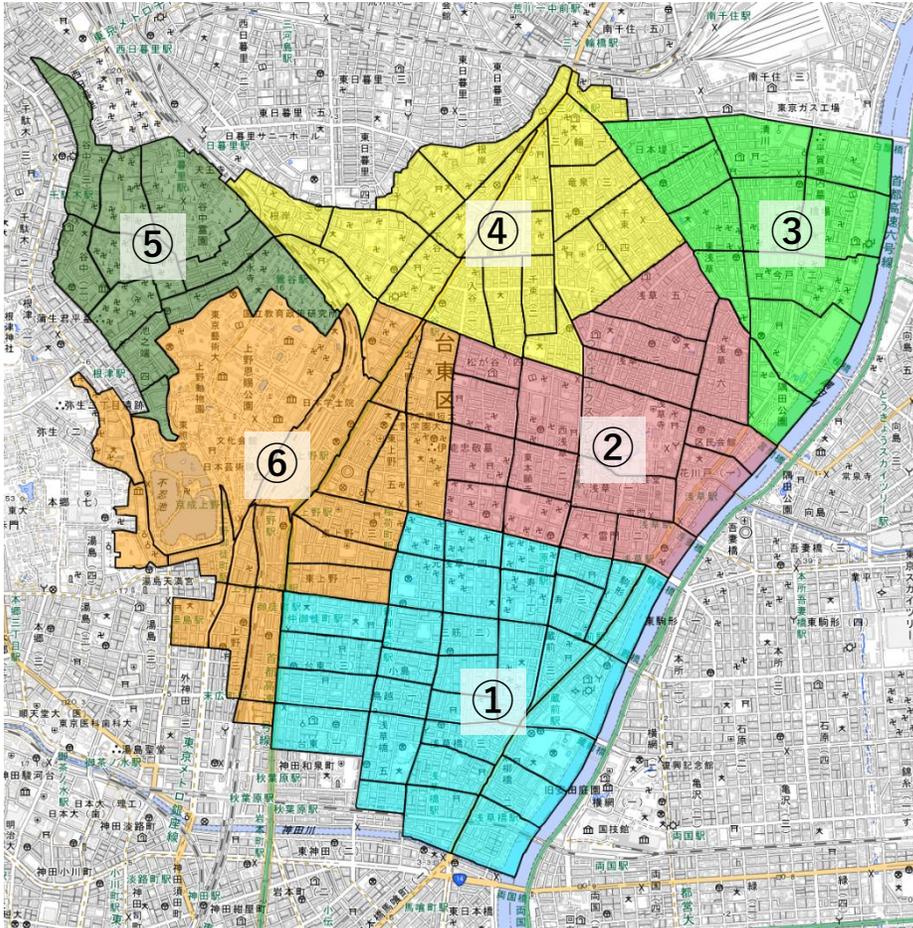


年 代

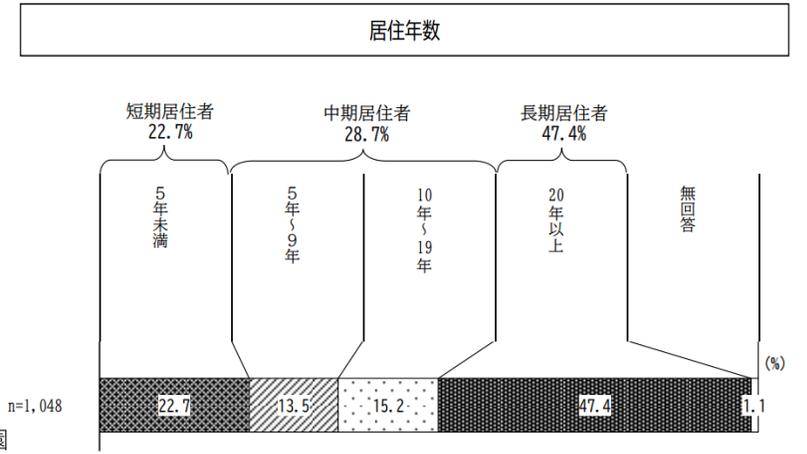


居住地域と居住年数

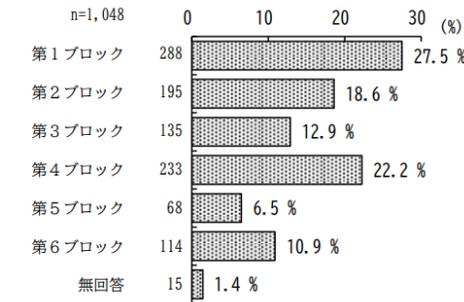
- 台東区では、回答者の居住地域を以下①～⑥の地域に分類し回答を集計している
- また、台東区への居住年数も調査しており、短期（5年未満）、中期（5年以上20年未満）、長期（20年以上）に分類している



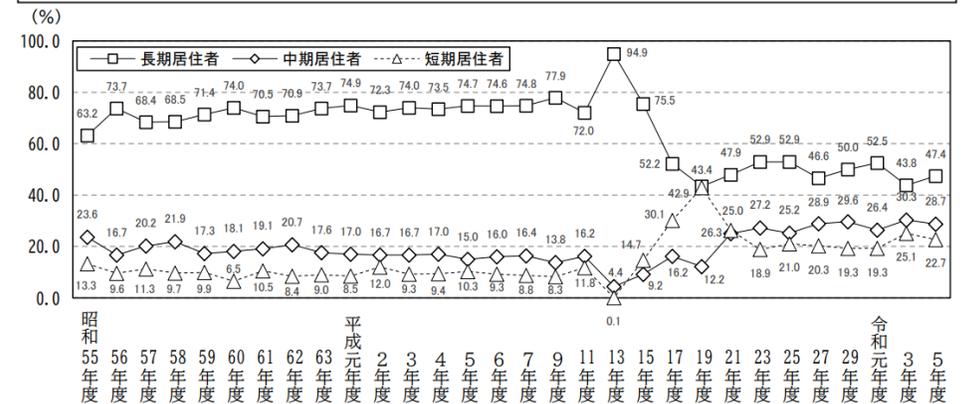
- ①第1ブロック=南部エリア
…浅草橋/蔵前/駒形/柳橋/台東/小島/三筋/鳥越/元浅草
- ②第2ブロック=浅草エリア
…浅草(1-6)/雷門/西浅草/花川戸/松が谷
- ③第3ブロック=北部エリア
…今戸/浅草(7)/東浅草/清川/日本堤/橋場
- ④第4ブロック=西部エリア
…千束/竜泉/三ノ輪/入谷/下谷(2-3)/根岸
- ⑤第5ブロック=谷中エリア
…上野桜木/谷中/池之端(3-4)
- ⑥第6ブロック=上野エリア
…上野/秋葉原/東上野/北上野/下谷(1)/池之端(1-2)/上野公園



居住地区



居住年数一推移

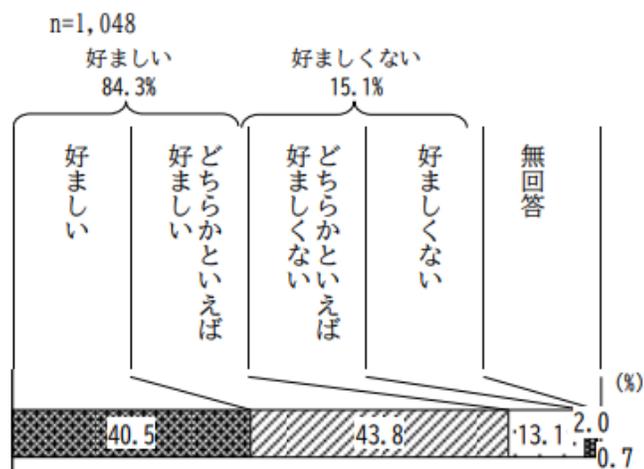


観光振興に対する住民の受け止め

- 観光振興に関する設問は以下の3つ
- 全ての設問において、8割強以上の住民が観光を好意的に受け止めていると解釈できる
(=以下の結果から、台東区はオーバーツーリズムを顕在課題として認識していない)
- 但し、観光に否定的な意見を持った住民も一定数存在するため、この住民たちがなぜ否定的に捉えているのか、本レポートにおいては居住地や居住歴を細かく分析する

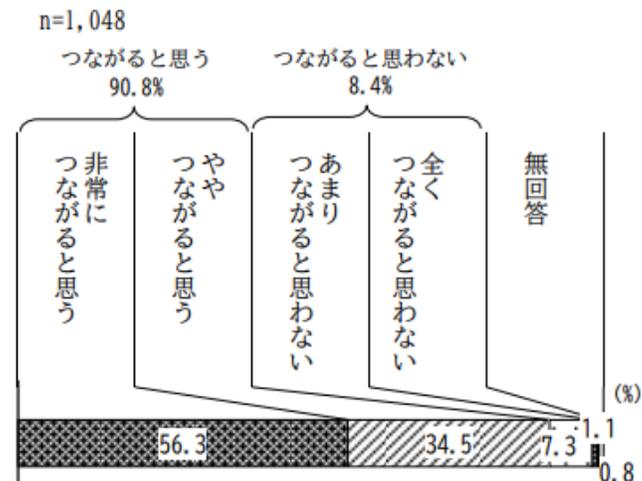
観光客の増加についての考え

『好ましい』が8割半ば



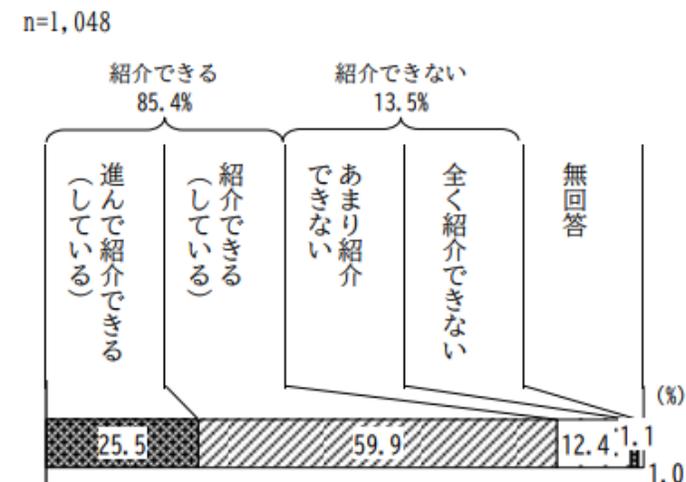
観光基盤の整備と区民生活のつながり

『つながると思う』がほぼ9割



台東区を魅力ある観光地として紹介できるか

『紹介できる』が8割半ば



参考) 京都市のアンケート比較

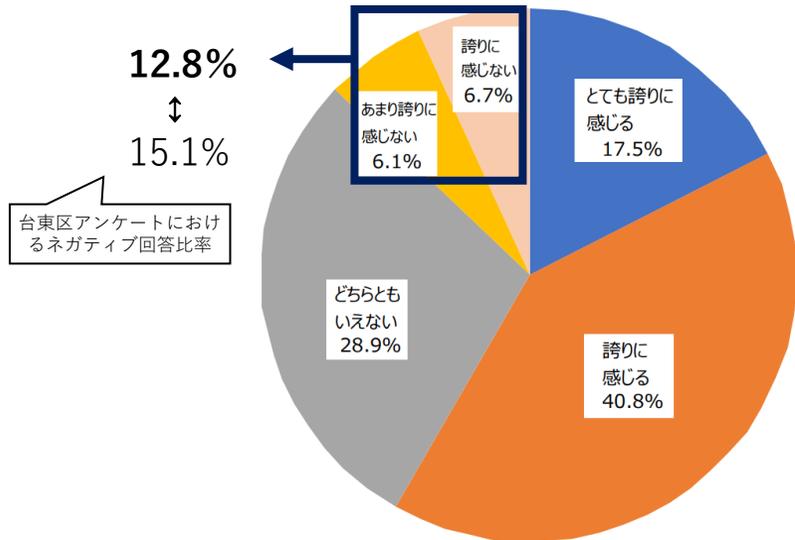
- 京都市が2019年度に実施した市政総合アンケート「京都観光について」から、台東区民の意識調査と類似の項目を抽出
- 質問文、回答の選択肢が異なるため単純な比較はできないものの、観光振興に対して否定的な選択肢のみを比較すると、必ずしも京都がネガティブな意見が多いとは言えない

→観光振興とそれに伴う街の変化に対して否定的な意見を持つ住民は一定数存在する
(両者のアンケートからは約1割程度と想定)

否定的な意見を持つ住民が何に対してネガティブ感情を抱いているのか、それはなぜなのか？を深掘りしていくことが重要

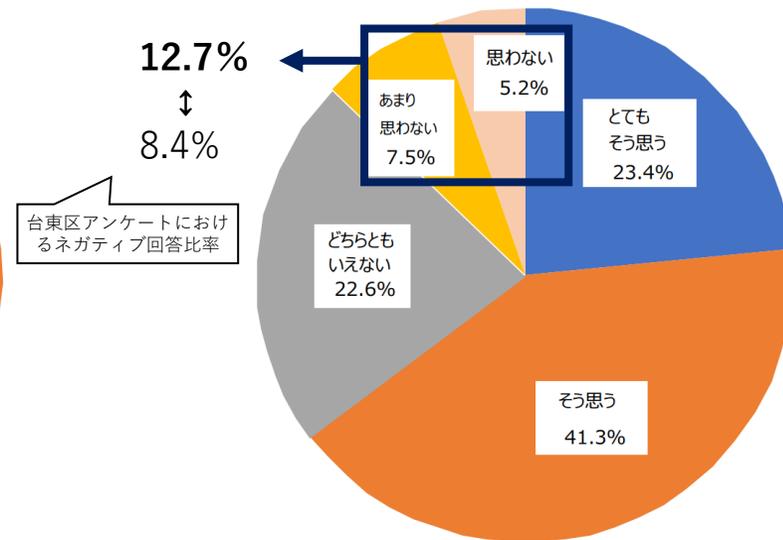
問13 京都市が観光に関して評価されることを誇りに感じるか

「とても誇りに感じる」「誇りに感じる」と回答された方の合計は全体の6割近く



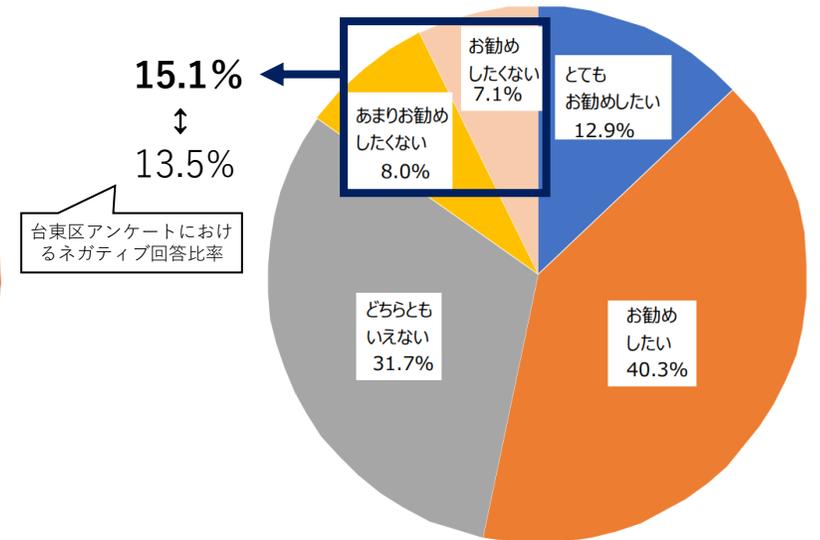
問10 京都市の発展に、観光が重要な役割を果たしていると思うか

「とてもそう思う」「そう思う」と回答された方の合計は全体の6割以上



問11 あなたの親族、友人、知人等に京都観光をお勧めしたいか

「とてもお勧めしたい」「お勧めしたい」と回答された方の合計は全体の5割以上



参考) 京都市のアンケート比較

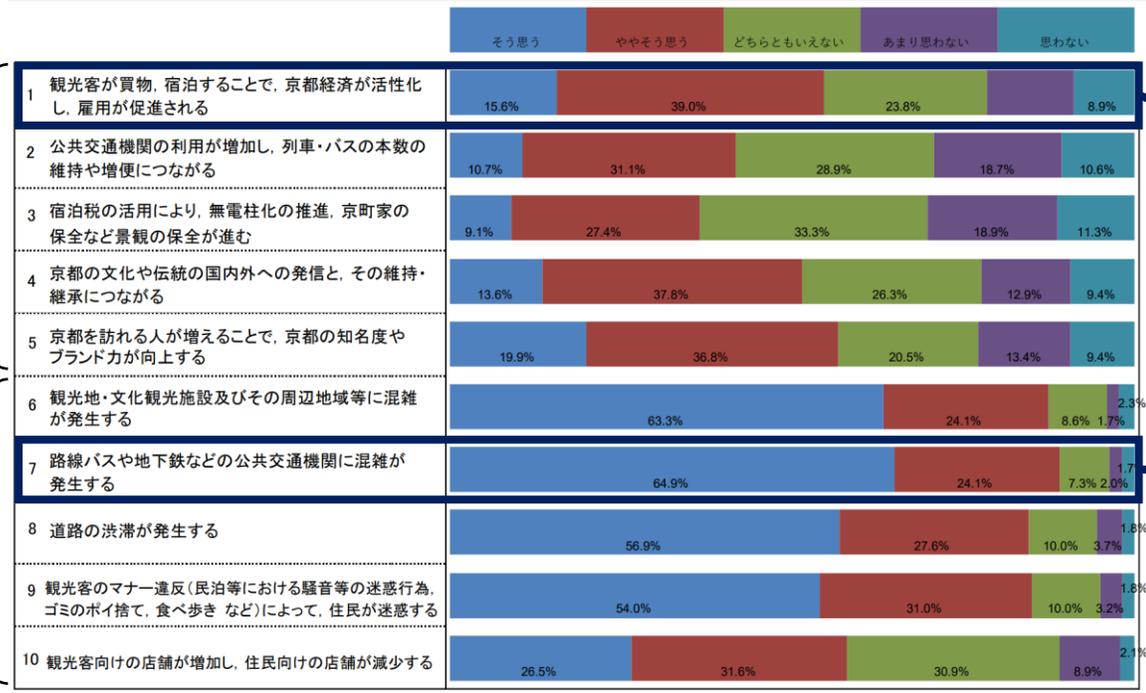
- 京都市のアンケートでは、観光がもたらすポジティブ・ネガティブ両側面の影響に対する住民の感じ方についても調査している
- ポジティブ側面では、雇用・経済や伝統文化の維持継承、知名度・ブランド力に対する共感が高く、半数以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答している一方、自分自身に対して影響があるかを聞いた質問においては実感値が低くなる傾向にあった
- ネガティブ側面では、観光地の混雑、交通、観光客のマナーに対する共感が高く、8割以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、実際に混雑を経験している住民も7割超となっている

→観光のポジティブ側面は理解していても実感がない、もしくはネガティブ側面の実感が大きく上回ると住民感情を刺激する

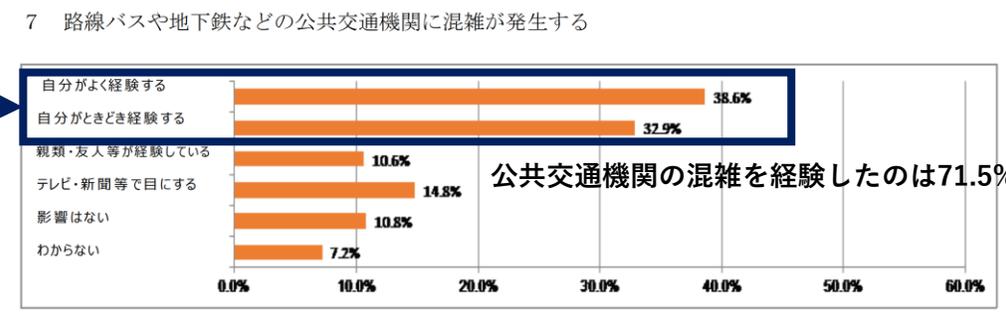
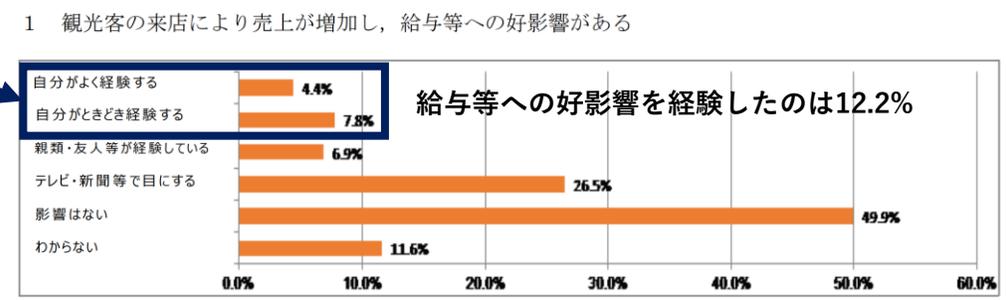
問7 観光客や京都観光が、「京都市」にもたらす影響について
 そう思う/ややそう思う/どちらともいえない/あまり思わない/思わない

ポジティブ側面

ネガティブ側面



問6 観光客や京都観光が、「あなた」にもたらす影響について
 自分がよく経験する/自分がときどき経験する/親類・友人等が経験している/テレビ・新聞等で目にする/影響はない/わからない(各項目複数回答)

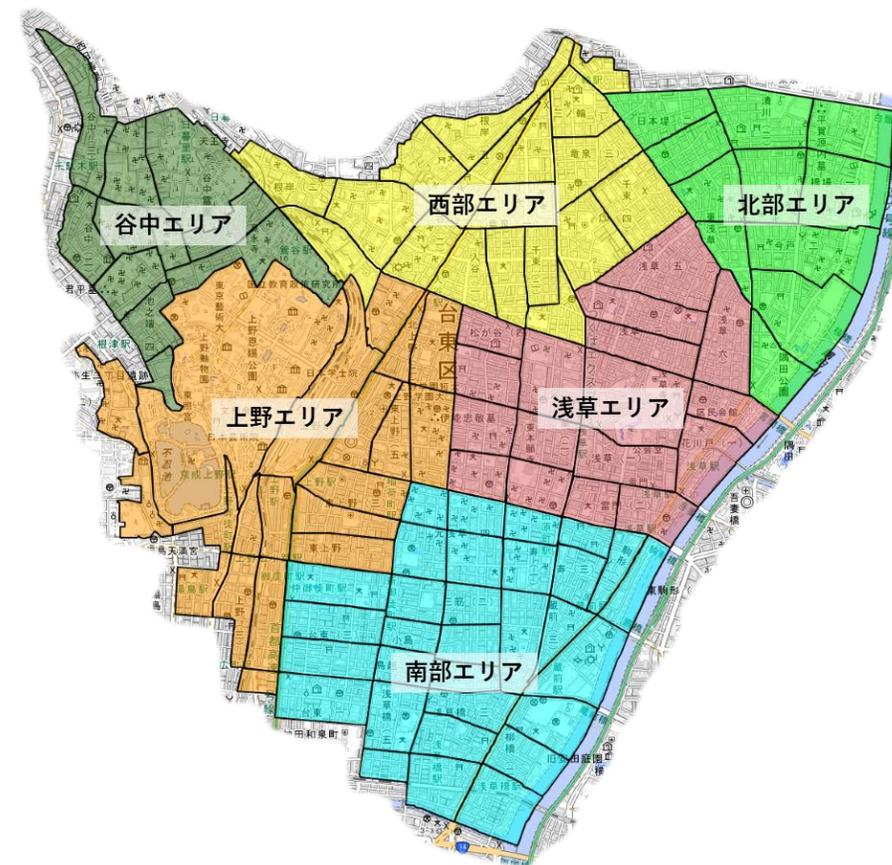


観光振興に対する住民の受け止め

- 地域ごとに観光客増加に対する考えを集計すると、「好ましくない」「どちらかというと好ましくない」と回答した住民の比率が最も高かったのは北部エリア(24.4%)で、次いで浅草エリア(17.4%)となった
- 北部エリアについては長期居住者の比率が高く、観光客の増加やそれに伴う街の景観変化等を快く思わない住民が一定数存在する可能性がある

居住地域		観光客増加についての考え		居住期間 長期居住比率
		「好ましい」、「どちらかというと好ましい」	「好ましくない」、「どちらかというと好ましくない」	
①	南部エリア	85.8%	13.9%	39.2%
②	浅草エリア	82.1%	17.4%	47.2%
③	北部エリア	74.8%	24.4%	57.0%
④	西部エリア	86.7%	12.9%	57.5%
⑤	谷中エリア	94.1%	5.9%	52.9%
⑥	上野エリア	86.0%	13.2%	33.3%

※無回答を除いて表示しているため、100%とならない



台東区ヒートマップ分析

- 台東区における人流データより、ヒートマップを作成。2022年10月以降の1年間について、区外居住者のデータを表示している
- 都内有数のターミナル駅である上野駅は人流量が非常に多く、一極集中した分布になるため、除外して作成した
- 日暮里駅周辺、鶯谷駅周辺、東武／東京メトロ浅草駅周辺、浅草六区周辺、浅草橋駅周辺に人流が多くなっており、特に浅草は広範囲に亘って混雑が広がっているため、浅草エリアの住民の観光許容度が低くなっている可能性がある

●台東区の人流ヒートマップ

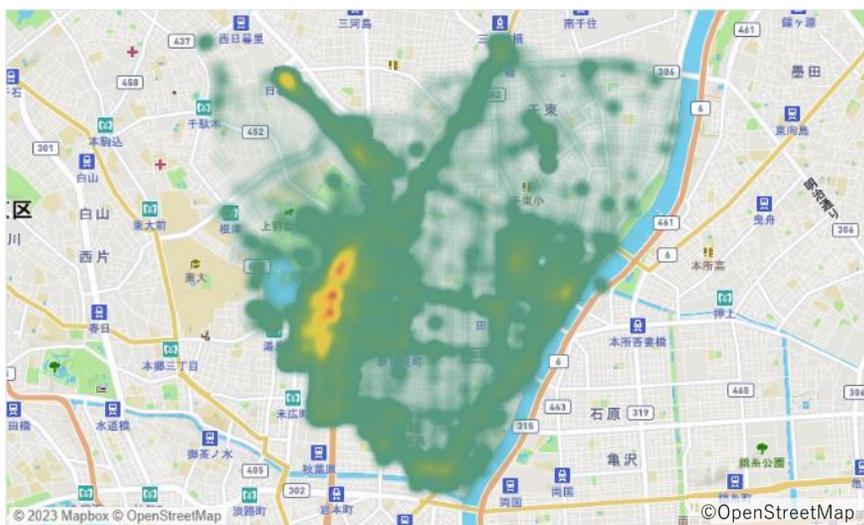
時期：2022/10～2023/9

時間帯：すべて

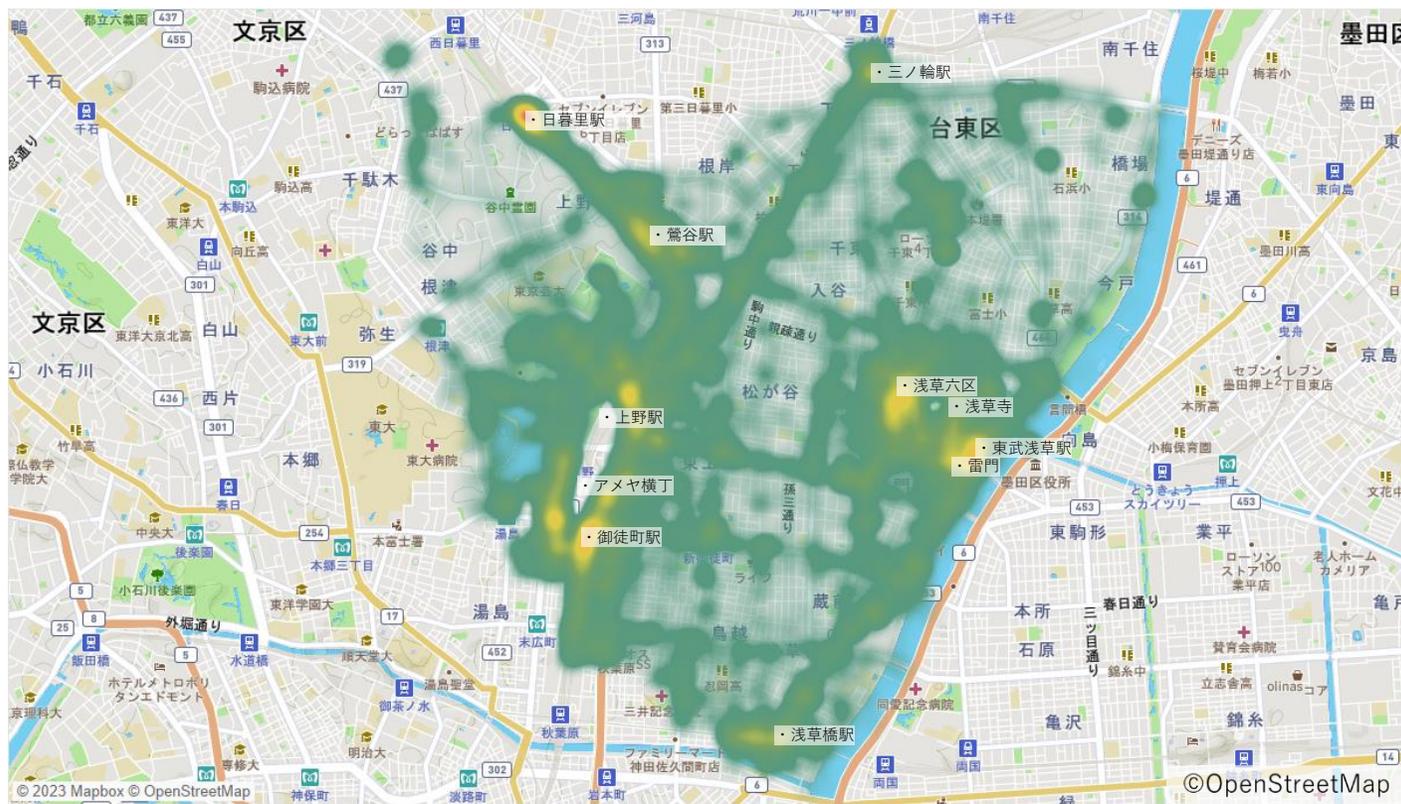
居住地：区外居住者

平日／休日：すべて

※上野駅周辺を含む区内全域



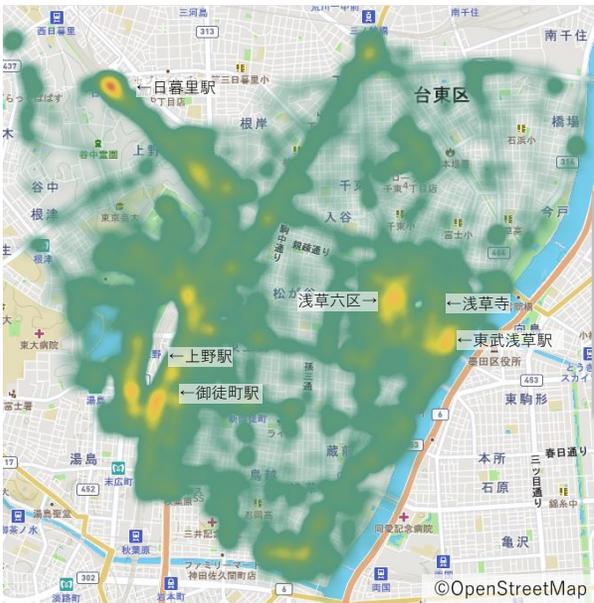
※上野駅周辺を除く区内全域



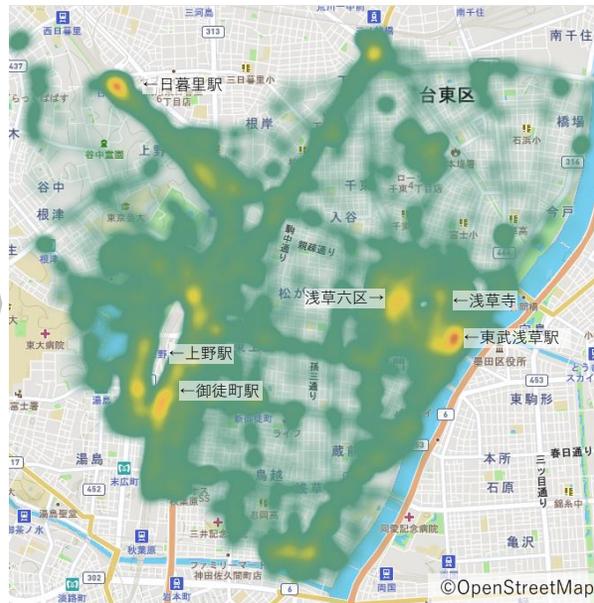
台東区ヒートマップ分析 - 季節による人流の変化 -

- 区外居住者の土日祝日における人流について、季節ごとにヒートマップを表示
- 2023年の1月-3月に浅草エリアの東部浅草駅周辺が混雑しており、浅草寺における新年の初詣や豆まき等のイベントによる来訪増が考えられる
- 2023年4月以降は比較的混雑が穏やかになっており、特に7-9月は酷暑の影響もあったからか、集計期間の中では一番混雑が少なかった

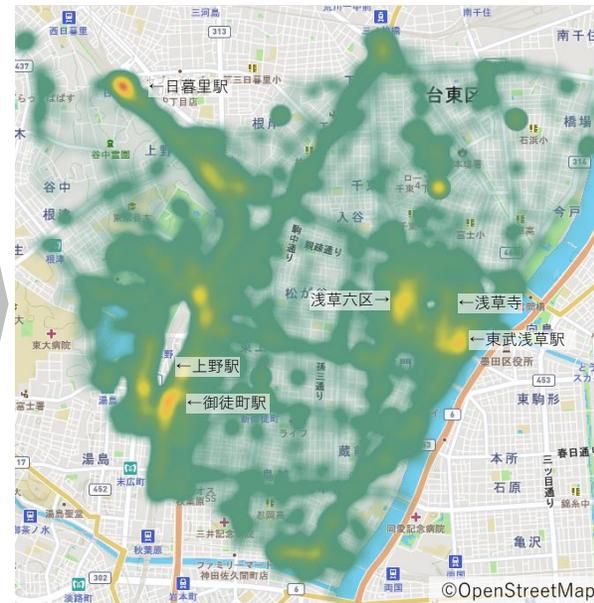
2022年10-12月



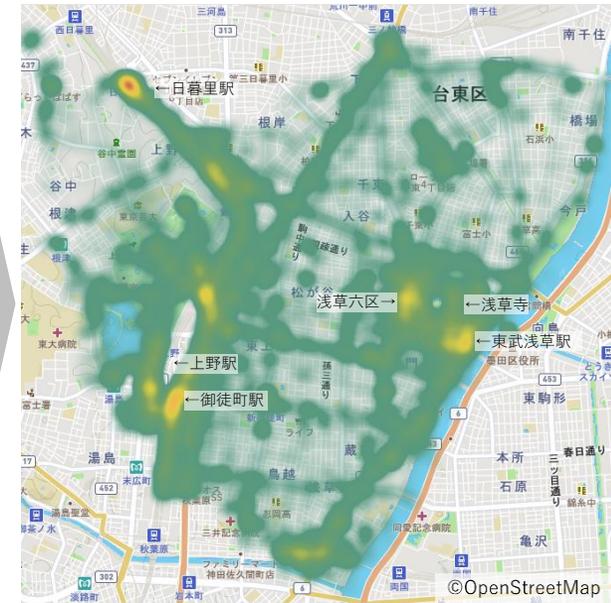
2023年1-3月



2023年4-6月



2023年7-9月



台東区ヒートマップ分析 - 時間による人流の変化 -

- 浅草エリア周辺について、区外居住者の時間帯ごとの人流データを、平日・土日祝日それぞれで作成した
- 平日に一番混雑するのは地下鉄田原町駅周辺で、ほぼ終日に亘り混雑が続く一方で、夜時間帯(18-23時)になると東武浅草駅周辺や浅草六区周辺にも混雑が見られる
- 土日祝日は、朝時間帯(6-9時)から東武浅草駅周辺に混雑が見られるほか、西側に点在するホテルに混雑が見られる
日中の時間帯は浅草寺周辺が混雑しているものの、浅草六区周辺まで人流が広がっており、極端な人流の集中は見られず、適度に分散していると考えられる

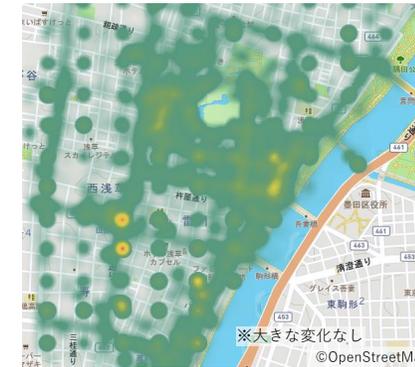
6-9時

10-13時

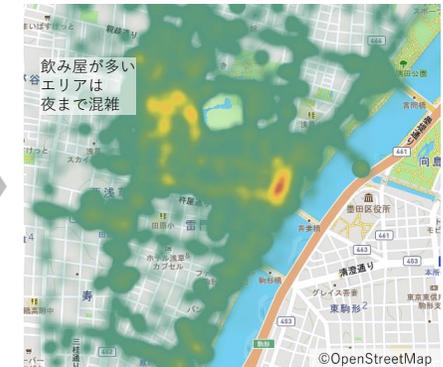
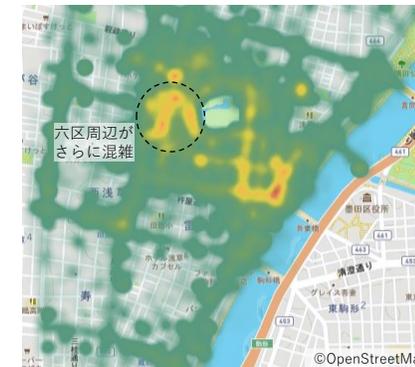
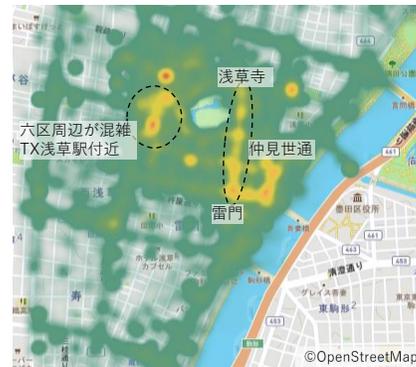
14-17時

18-23時

平日



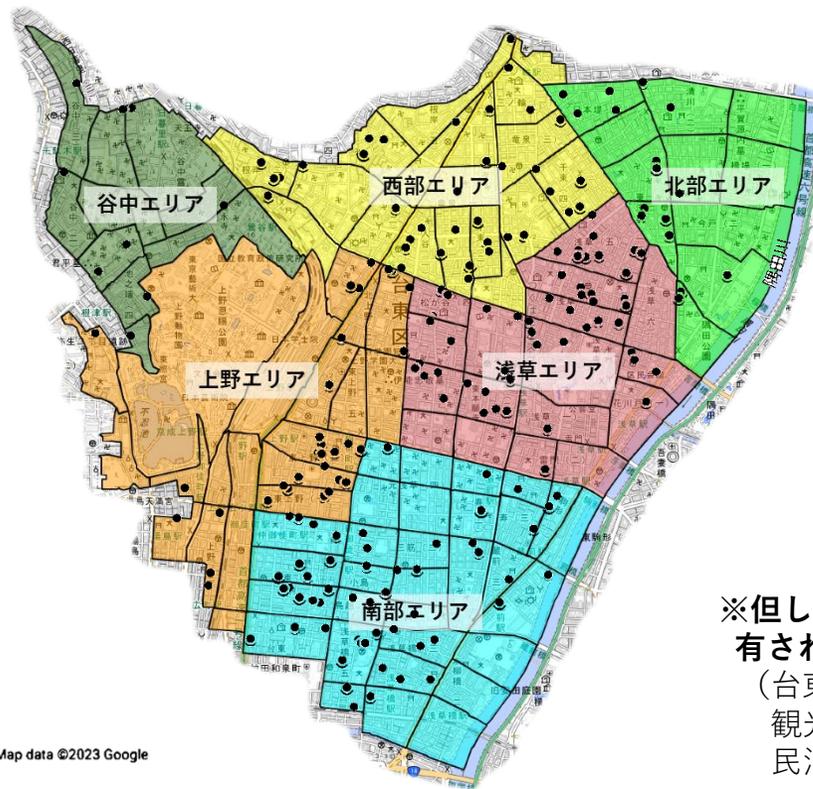
土日祝日



台東区ヒートマップ分析 - 民泊施設との比較 -

- 台東区の民泊施設を地図上にプロットした。西部エリア、浅草エリア、南部エリアに多く存在することが分かる
- 特に西部エリア、南部エリアは民泊施設が多いが、観光客の増加を「好ましくない」と感じる比率は低く、また北部エリアは「好ましくない」比率は高いが民泊施設は多くないため、「民泊施設が増えると住民感情を悪化させる」ということは言えない
- 深夜時間帯のヒートマップを見ても、民泊も点在するような居住エリアには混雑が発生していない

- 台東区の民泊一覧 - (令和5年12月1日時点)



	観光客の増加「好ましくない」比率	民泊施設数
南部エリア	13.9%	183
浅草エリア	17.4%	115
北部エリア	24.4%	33
西部エリア	12.9%	105
谷中エリア	5.9%	7
上野エリア	13.2%	67

民泊施設の数と住民感情に相関は見られない

※但し、行政の管轄部署の違いから、住民からの声が共有されていない可能性があるため、情報の連携が重要
(台東区の場合)
観光客のマナーに対する苦情→観光課
民泊の増加による苦情→保健所等

- 深夜時間帯の人流ヒートマップ -

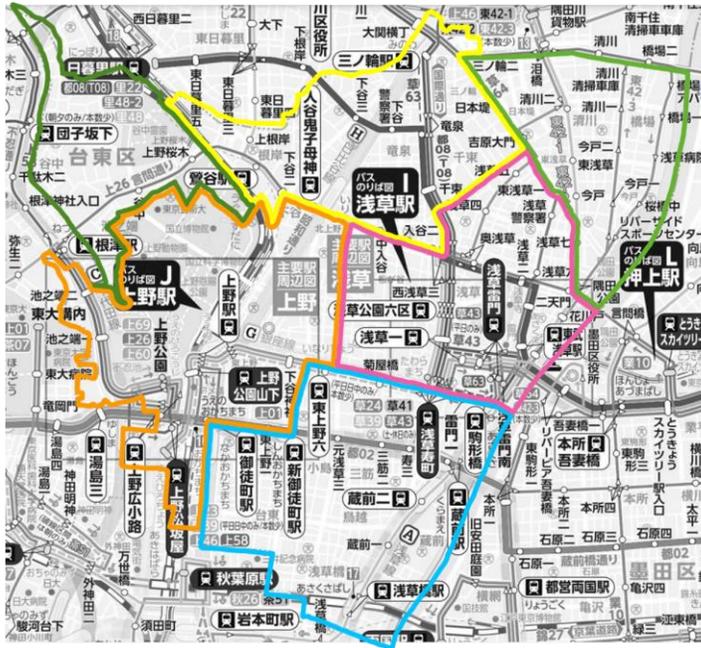


Map data ©2023 Google

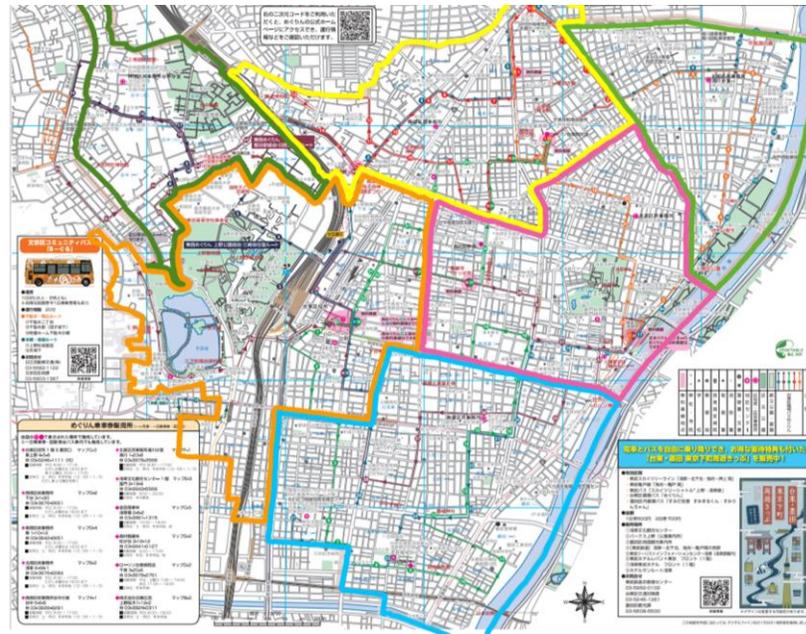
台東区ヒートマップ分析 - バスルートとの比較 -

- 台東区内を運行する2種類23路線のバス路線図を表示
- 北部エリア(右上の緑線)は他地域に比べバス停・路線が少なく、またエリア内に電車へ乗り換え可能なバス停は無く、電車に乗るためには南千住駅、三ノ輪駅、浅草駅を利用することになる
- 区外居住者の平日通勤時間帯のヒートマップをみると、三ノ輪駅、浅草駅では混雑が発生しており、観光客と住民の生活導線がバッティングしている可能性がある
※南千住駅は荒川区のためヒートマップ表示対象範囲外

- 都営バス路線図 -



- 台東区循環バス「めぐりん」路線図 -



- 平日通勤時間帯のヒートマップ -



第7章まとめ

- 台東区では隔年で区民アンケート調査を行い、**住民の観光に対する意識**を聴収した結果、台東区においては**オーバーツーリズムに達していない**と推測している
→但し、少数意見であったとしても**住民が観光に対してネガティブに感じるのはなぜか**、検証を行う必要がある
- 京都市も同様にアンケート調査を行っており、観光そのものに対する否定的な意見は台東区の結果と大きく変わらないが、観光の及ぼす影響については、ネガティブな側面に対して**ポジティブ側面の実感が無い**、もしくは**ネガティブ側面を実感する機会が大幅に上回る**と、住民からのクレーム等につながる可能性がある
- 台東区の中でも、細かく見ると**観光に否定的な意見を持つ住民が多いエリア**もあり、なぜ地域によって差が生じるのか、本レポートで分析したような**地理的条件**や**周辺環境**、あるいは**歴史的背景**等も踏まえながら、複合的に考察していく必要がある
- 台東区、特に浅草周辺のヒートマップを見ると、駅の立地条件も相まって**観光客が広域に分散**していたが、街の入口から出口までの**導線上に無いエリアへの分散**や**時間帯の分散**、**曜日の分散**はまだ課題が残る
- 台東区北部地域の分析から、①住民の居住歴が長く、②公共交通機関の選択肢が少なく、③旅行者と住民の生活導線が重なる地域では住民感情の悪化する可能性が高いという示唆を得た
- このことから、これまで議論されてきた観光客の訪問地・訪問時間の分散やルール・マナー啓発といった観光客のマネジメント視点に加え、**地域住民の暮らしやすさ**の視点から検証することが必要であり、都市計画や土木・交通、保健所等と連携しながら**面的に都市をデザインしていく**ことが求められる

台東区による所見（第7章）

本章の分析を踏まえた上での台東区による所見は以下の通り。今後の施策検討時に、今回得られた気づきを参考にしていきたい

- 台東区民の意識調査からは、長期居住比率が高いと観光客の増加に対してネガティブであるとは言い切れない結果であるが、北部エリアについては他地区と比べてネガティブな意見が多いため、更なる掘り下げを行いたい
- 住民と会話をしていると、不快と感じる実体験が伴うと観光客に対するネガティブな意見を聞くことが多いため、他都市のアンケートのネガティブな側面と実体験の相関は納得ができた
- 居住者が少なく、小売店や飲食店等が集中する、浅草寺の仲見世通りや浅草六区に観光客が集中したとしても住民感情の悪化にはつながらないと感じた
- 平日に最も混雑するのは田原町である等、ヒートマップ分析を通して初めて見えてくる発見があった。各種施策の実施はどうしても区内全域を対象としたものとなりがちだが、客観的なデータを元に施策の選択と集中を検討すべき段階であるようにも感じられる
- 三ノ輪駅や田原町駅を利用する方の満足度調査を鉄道会社と連携して実施すれば、具体的な施策の内容を検討できる可能性がある

8. 旅行者の混雑やマナーに対する意識調査（定性分析②）

外国人インタビュー調査概要

調査目的

混雑に対する観光客の感覚や行動の変化およびその理由を聴収することで、混雑が観光客に与えるネガティブな影響について明らかにする。

調査方法・対象者

インバウンド観光客を対象とした街頭インタビュー調査（回収サンプル数：73サンプル）

調査期間・場所

2023年12月14日(木) 10時～16時、浅草文化観光センター、浅草寺境内の2カ所

回答者プロフィール

居住国	韓国	4	フィリピン	1	スペイン	1	メキシコ	3
	中国	4	インド	2	スウェーデン	1	アルゼンチン	1
	台湾	4	イエメン	1	オランダ	1	チリ	1
	タイ	1	イギリス	2	ポーランド	2	プエルトリコ	1
	シンガポール	6	フランス	2	オーストリア	1	オーストラリア	10
	マレーシア	2	ドイツ	3	アメリカ	8	ニュージーランド	1
	インドネシア	1	イタリア	3	カナダ	5	グアム	1
							合計	73

性別	男性	40
	女性	33
	合計	73
年代	10代	3
	20代	24
	30代	16
	40代	17
	50代	8
	60代	4
	70代以上	1
	合計	73

同行人数	1人	18
	2人	25
	3～4人	18
	5人以上	12
	合計	73
同行者	自分ひとり	18
	家族	27
	友人	13
	パートナー	9
	職場・学校等の団体旅行	6
	合計	73

質問項目一覧

No.	項目	回答形式	質問内容	
Q1	基本項目	居住地	FA あなたの住まいはどこですか（国名、都市名）	
Q2		性別・年齢	SA あなたの性別・年齢を選択してください	
Q3		宿泊地	FA 東京都（または近郊）での宿泊場所はどちらですか。ホテルの所在地を教えてください。	
Q4		同行者	MA あなたも含めて、「何人での」「どなたと一緒に」旅行ですか。 ※子供や乳幼児も含む	
Q5		訪問回数	SA 浅草に来るのは何回目ですか。	
Q6	混雑	混雑具合	SA 浅草に来て、どれくらい混雑していると感じましたか。 SA、FA ↳（混雑していると回答した場合）混雑が浅草を満喫することを阻害していると感じますか。回答の理由と併せてお答えください。	
Q7		混雑情報の事前収集	SA、FA	浅草訪問前に「混雑状況」について調べましたか。調べた場合は、何を使って調べたかもお答えください。 ↳（いいえの場合）事前に混雑状況を知っていれば、別の時間帯を検討しましたか。 ↳（はいの場合）いつごろ浅草を訪問しようと思いませんか。 ↳（いいえの場合）それはなぜですか。
			SA	
			SA	
SA、FA				
Q8	情報収集	情報の入手先（スポット）	SA、FA 浅草の訪問場所について、旅行前に最も参照したメディアは何ですか。	
Q9		情報の入手先（食事）	SA、FA 浅草での食事場所について、事前の情報収集に最も活用する（した）メディアは何ですか。	
Q10	当日の行動	順番待ち列	SA、FA 浅草には有名な食事処が多くありますが、行列を長く待つ場合があります。並んででもそこで食事をしてみたいと思いませんか。回答の理由と合わせてお答えください。	
Q11		周辺の周遊	SA、FA 浅草寺や雷門付近以外に、合羽橋道具街や蔵前等の徒歩で行ける周辺スポットを訪問します（しました）か。訪問しない場合、その理由もお答えください。	
Q12	マナー	マナー情報の収集	SA 浅草訪問前に、マナーに関する情報を収集しましたか。	
Q13		マナー認知	SA 浅草のある東京都台東区がポスターやポケットティッシュ配布によりマナー啓発をしているのをご存じですか。	
Q14	その他	他観光地との比較	FA 今まであなたが訪れた中で、浅草と比べて、人が多くて観光がしづらかったり、満足度が下がったりした観光地はありますか。もし、ある場合、日本国内、日本以外の国・地域のそれぞれについて、その場所と、具体的な問題点を教えてください。	

Q6：混雑具合について

浅草に来て、どれくらい混雑
していると感じましたか

「とても混雑している」
「やや混雑している」

58.9%

「普通」

35.6%

「空いている」
「やや空いている」

5.5%

混雑が浅草を満喫することを
阻害していると感じますか

「阻害しない」

79.1%

- ✓ 許容範囲、予想できる、他のところも同じ(29.4%)
- ✓ 混雑していても平気(20.6%)
- ✓ 活気がある、いい雰囲気(14.7%)
- ✓ 人が多くて面白い(11.8%)
- ✓ 安全(8.8%)

「阻害する」

18.6%

- ✓ 人が多すぎて本来の楽しみ方ができない(37.5%)
- ✓ 歩きづらい(25.0%)

無回答

2.3%

Q7：混雑情報の事前収集について

浅草訪問前に「混雑状況」について調べましたか

「調べていない」

64.4%

「調べた」

32.9%

無回答
2.7%

- ✓ SNS(16.7%)
- ✓ Google(16.7%)
- ✓ Webサイト、インターネット(16.7%)
- ✓ その他(20.8%)

事前に混雑状況を知っていれば、別の時間帯を検討しましたか

「検討しない」

74.5%

「検討する」

21.3%

無回答
4.3%

- ✓ 混雑は気にしない(37.1%)
- ✓ スケジュール調整ができない(8.6%)
- ✓ 無回答(48.6%)

いつごろ浅草をお訪問しようと思いますか。

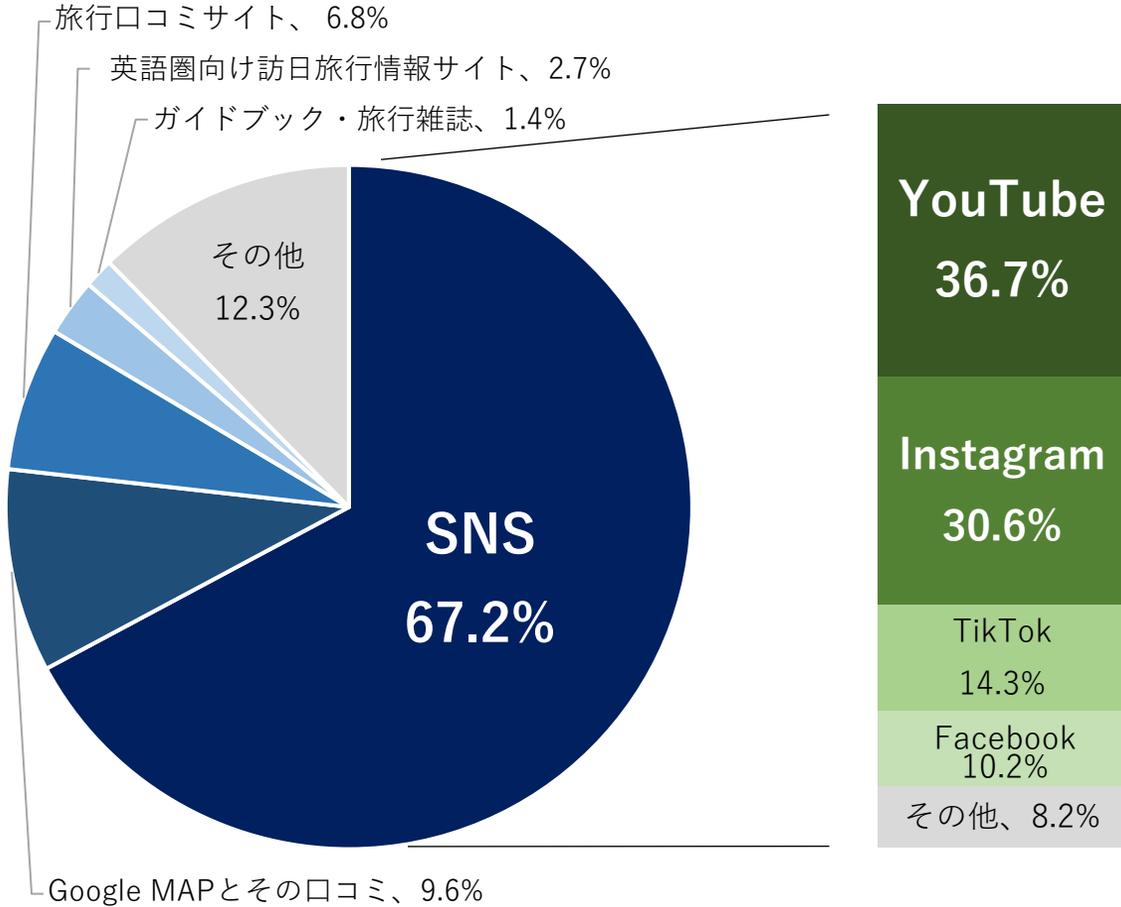
早朝
50.0%

夕方
40.0%

夜間
10.0%

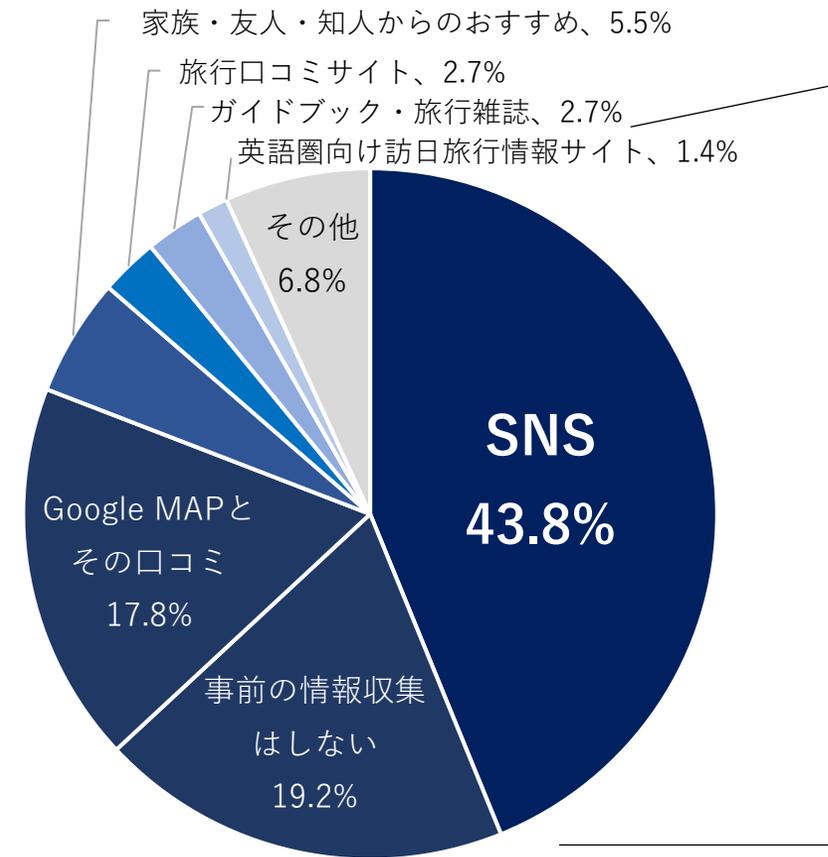
Q8~9：情報の入手先について

浅草の訪問場所について、旅行前に最も参照したメディアは何ですか



YouTube	36.7%
Instagram	30.6%
TikTok	14.3%
Facebook	10.2%
その他	8.2%

浅草での食事場所について、事前の情報収集に最も活用する（した）メディアは何ですか



YouTube	37.5%
Instagram	31.3%
TikTok	21.9%
Facebook	6.3%
その他	3.1%

Q10~11：当日の行動について

有名な食事処で行列に並んででもそこで食事をしてみたいと思いますか

「並んででも食事したい」

60.3%

- ✓ ごはんがおいしいから (63.6%)
- ✓ 待つが限度はある (20.5%)
- ✓ 並ぶことが体験 (6.8%)
- ✓ その他 (特別な機会だから、等) (20.8%)

「並ぶなら食事したくない」

39.7%

- ✓ 待ちたくない (51.7%)
- ✓ 他の店へ行く (24.1%)
- ✓ 混雑店は利用したくない (6.9%)
- ✓ その他 (食べるものを気にしない、等) (17.2%)

合羽橋道具街等、徒歩で行ける周辺スポットを訪問します (しました) か

「する」

69.9%

「しない」

30.1%

- ✓ 他の場所に行きたい (18.2%)
- ✓ 興味が無い (18.2%)
- ✓ 時間がない (18.2%)
- ✓ 包丁等を持って歩きたくない (13.6%)
- ✓ 知らない、調べてない (9.1%)

Q12~13：マナーについて

浅草訪問前に、マナーに関する情報を収集しましたか

ポスターやティッシュ配布によりマナー啓発をしているのをご存じですか

-ポスター・ティッシュの例-



「情報収集をしていない」
63.0%

「知らない」
89.0%

「情報収集した」
37.0%

「知っている」
11.0%



第8章まとめ

- 浅草は混雑していると感じる人は多かった一方で、浅草を満喫することを阻害すると感じた人は少なかったことから、浅草の混雑状態が**旅行者の体験の質を下げるほどの状態ではない**と言える
- 「観光地は混雑していて当たり前」「活気があって良い」等、**混雑をポジティブに捉える意見**も多かった
- 事前の情報収集においては、各訪問スポットの混雑度までは調べない場合も多かった。特にインバウンドの場合は日本での滞在が長く、訪問箇所も多いため、一つひとつ調べることは難しく、またツアー旅行の場合は日程の変更が難しい場合が多い
- 情報の入手先は、**YouTubeやInstagram等SNSが主流**で、ガイドブックや公式HP等は少なかった
- 当日の行動については、列に並びたい人が並びたくない人を上回り、「ごはんがおいしいから」「並ぶことが体験」という意見をはじめ、**せっかく来たのだから待つことを厭わない**、という意見が総じて多かった
- **3人に1人以上**が事前に現地のマナー情報を調べている。しかし、現地の自治体が発信する**マナー啓発情報の認知度は低かった**

台東区による所見（第8章）

本章の分析を踏まえた上での台東区による所見は以下の通り。今後の施策検討時に、今回得られた気づきを参考にしていきたい

- ポスターの掲示やパンフレットの配布等、旅ナカでのマナー啓発を観光関連事業者にも協力いただいているが、アンケート結果から旅マエの情報発信の重要性を再認識したため、ホームページやSNSでの情報発信の更なる強化を図りたい
- 台東区北部では、住民の通勤時の交通機関利用と観光客の利用が重なることが、住民のネガティブ感情につながっているのではないかという仮説は、確かに一つの要因として考えられる。今後、住民を対象としたアンケート等を通して掘り下げてみたい
- 街の混雑が浅草を満喫することを阻害しないという回答が大多数ではあるが、18.6%は阻害すると感じている。持続可能な観光地であり続けるためには、その方々も満足して帰ってもらえるよう取り組みを進めていくことが必要であると再認識した
- 早朝観光についての情報発信に注力していく必要性が理解できた
- 浅草エリアを訪れる予定の方へオンライン広告でマナー啓発情報を発信する等の手法も効果的かもしれない

9. 結論／オーバーツーリズムを未然に防ぐために

①本研究結果を踏まえた台東区に対する提言

• 第5章：観光客の増加がもたらす課題の分類・整理より

台東区は「観光ハブ都市」としての性格上、観光客の滞在が長くなると考えられるため、民泊や繁華街等、近隣住民と旅行者の間に夜間のトラブルが発生しやすい傾向がある。そのため、保健所や所管警察と連携をしながらマナーやルールの啓発をすることが望ましい

• 第6章：住民感情のトリガー検証（定量分析）より

台東区は①外国人の増加、②周辺交通の混雑に関して数値が高い結果となった。どちらも住民感情との関連性はそこまで大きくないと考えられるものの、これらに起因するトラブルの増加に注意する必要がある

• 第7章：人流及び生活導線と住民感情の検証（定性分析①）より

観光に対してネガティブに捉えている住民が北部エリアに多いことが分かった。人流やバスルートと比較すると旅行者と住民の導線が重複している可能性が考えられるため、追加のヒアリング調査等で、より具体的に何に対してネガティブ感情を抱いているかを明らかにしていくことが望ましい

• 第8章：旅行者の混雑やマナーに対する意識調査（定性分析②）より

旅行者は混雑状態を認識しているがネガティブに捉えているわけではないことが分かった。まずは住民の過ごしやすい環境の構築が優先される。一方マナーについては、1/3以上が「事前に調べた」と回答したものの、台東区が発信しているマナー情報の認知率は1割程度であったため、旅マエ・旅ナカの情報を旅行者が見る環境を整えていくことが今後の大きな課題となる

②観光庁公表の対策例に対するフィードバック

研究結果を踏まえ、観光庁が公表したオーバーツーリズムの対策内容の優先度は以下の通りと考える

出典：
オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議 第二回（令和5年9月29日）資料より
https://www.mlit.go.jp/kankocho/overtourism_yobou_yokusei.html

- 優先度高
- 優先度中
- 優先度低

施策の類型及び具体例

観光地の実情に応じて地域の関係者が行う取組を促進

マナー違反行為の防止

1 旅行者に対するマナー啓発

- ・啓発設備の設置
(ピクトグラムによる周知、看板・デジタルサイネージ等の整備)

- ・違反行為（文化財の破損、立入禁止区域への侵入、ごみのポイ捨て・放置等）への対処
- 条例に基づく罰則等による対処

混雑の抑制・緩和

2 受入環境の整備・増強

- ・交通等の対応力増強
- 車両の長大化・施設の改良・拡張
- 運転手の確保・デジタル技術の活用
- ・観光客集中地域での道路・歩道整備、無電柱化、ごみ箱設置促進
- 道路・歩行空間の容量拡大
- スマートごみ箱の設置促進
- ・観光・交通事業者の担い手確保対策
- ・複数交通モードを組み合わせた円滑な移動手段の提供
- ・手ぶら観光の促進
- ・観光客向け乗合タクシーなど新たな輸送サービスの検討
- ・受入環境充実のための入域料の導入

3 需要の適切な管理

- ・バス・鉄道の運賃・料金の柔軟な設定による地域住民と観光客の需要のすみ分け等
- ・イベント開催時等の多客期・多客エリアの混雑抑制
- ・混雑度やサービスレベルに応じた料金設定
- ・特定エリアへの入域等の管理・規制
- 入域制限の導入
- 同伴ガイドの義務化
- ・車両の乗入規制等の交通規制の実施

4 需要の分散・平準化

- ・地方誘客促進、分散化
- 11モデル地域における高付加価値なインバウンド観光地づくり等の促進
- ・空いている交通モードや場所・時間帯・時期への誘導
- 観光客が集中する交通モードからの分散
- 混雑状況の可視化、リアルタイム配信
- デジタル技術を活用した空いている観光ルート
の提案
- デジタルクーポン等のインセンティブ付与による空いている場所・時間帯への誘導
- 夜間・早朝・平日等、空いている時間帯・時期の商品造成

地域住民と協働した観光振興

5 住民との協働や理解醸成の推進

- ・地域関係者による協議の場における計画策定、取組実施
- ・地域住民向け説明資料や学生向け教材の作成、周知

- ・観光関係主体・事業者が地域住民と協働する取組

観光客の行動に基づき、自然と目に入るような形での周知が重要
→公共交通機関と連携した発信
→順番待ちの列や食事を待っている間に見せる
→スマホアプリとサイネージを連携させたサービスの提供

住民専用の交通手段の検討も重要

むしろメインエリアに観光客を集中させて、住民の移動経路を確保する考え方もあるので注意が必要

住民の「抜け道」としての交通手段を損なうことの無いよう、配慮が必要

入域料がどのように使われ、地域活性化にどう繋がっているかを示すことが重要

理解を求める前に、住民が日々のどのシーンで何に困っているか、詳細に把握する必要あり

地域のアイデンティティや守りたいことは何か？観光計画だけでなく全体計画への反映と整合性が重要

需要のコントロールは個人客向けには難しいが旅行会社を通じた団体旅行は可能性あり。客層や団体比率を見て判断する必要がある

旅行者が事前にこの情報を収集するのは難しい。当日、現地に着いてからの行動をどのように変更させられるかを中心に考える

特に気を付けるべきことは…
混雑による住民の生活エリア（住宅地、通勤・通学経路、スーパーや商店、公共施設等住民の交流の場等）への観光客の侵入
分散しようとして上記エリアに観光客が広がり、住民の生活に影響を与えることは懸念したい

自然型やアイランド型等、資源の保護が必要な場合は早急の実施したい

③各ステークホルダーが出来ること

今回の検証・考察を通じて分かったことをもとに、オーバーツーリズムを未然に防ぐために、各ステークホルダーが出来ることを以下の通り整理した



自治体

観光関連セクターは、旅行者や観光関連事業者との接点が多く、住民の生活環境に関する情報や生の声が届きにくい可能性がある。そのため、自治体内の他部署とも連携して**住民の声を取り入れられる仕組み作り**や、なおかつ観光が地域にとって重要であることを説明することが重要。それには**住民の生活に関するデータの検証・分析**と、**実際のコミュニケーション**両方の側面からのアプローチが必要である。また、住民の声を観光施策に活かすために、住民が気軽に意見を投稿できるプラットフォームや意見箱を設置することも有効である。



DMO
観光協会

新たな観光ルートを考えたりプロモーションを行う際に、**住民への配慮**を。例えば住民の通勤・通学路や地域住民のにぎわい空間は避けるようなルートを考えられないか、プロモーションの中にマナー啓発の内容を入れる必要はないかといった視点。また、観光は地域や住民の理解の上に成り立っていることを認識し、観光に関するイベントに住民感謝デーを作るといった、**観光・観光客とのポジティブな接点やつながりを創っていくことも大事である。**



観光関連
事業者

自治体が発信する情報をきちんと内容を把握し、旅行者に最も近い観光関連事業者からも**重ねて情報発信することが重要である**。例えば、宿泊施設では旅行者がゆっくり情報を見られるため、部屋にリーフレットを置く、マナー啓発の動画を流す等、丁寧なアプローチが可能。飲食店では、特に外国人旅行者は食事における現地マナーを気にすることも多いため、そのような旅行者が求めているシーンに合わせてマナーに関する情報を発信していく。

さいごに

オーバーツーリズムという言葉だけが注目されることにより、しばしば「観光客（観光産業）」VS「地域住民」の構図とみられてしまいがちですが、今回の研究を通して、観光に起因して地域住民に起こりうる問題は、**観光セクターだけで解決できるような問題ではない**ことが明確になりました。

問題を未然に防ぐ（＝住民と共に観光客を受け入れていく）ためには、普段から住民の声が自治体やDMO、観光協会に入っ
て来やすい環境を作ることが必要不可欠です。また、住民の声が観光セクターに届きやすい環境には、地域が住民の理解なし
には観光を推進できないことを前提に、観光によって地域にどれだけの恩恵がもたらされるのかが普段から丁寧に説明され、**信頼関係が構築**されていることが重要です。

今回の現地調査で、少なくとも浅草エリアにおいては、多くの観光客が満足していることが分かりました。今後、**より焦点
を当てるべきは住民対応**です。自地域の状況がオーバーツーリズムかどうかはさほど重要ではなく、まずは自分たちの地域で
何が起きているのか、それを「誰と」「どのように」解決していくのか、多角的な視点で整理しながら考えていくことが、**問
題の未然防止だけでなく、今後の観光産業の更なる発展に繋がる**と考えます。

観光客に対して規制をかけたり、数を減らすような対策も場合によっては必要になることがあるかもしれませんが、しかし、
住民、観光客がお互いを尊重し合い、満足度の高い旅行を実現することで、双方にとってその場所やそこで過ごした時間への
愛着が生まれ、地域活性へ繋がっていくでしょう。

そのためには、観光客のマインドや行動を変えるだけでなく、**私たち地域が、観光に対する考え方を変えていく**ことも非常
に重要です。今回の研究が、より多くの地域の皆様の取り組みの一助となれば幸いです。

今後とも皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年2月27日(火)

公益財団法人 東京観光財団 / 株式会社リクルート 『じゃらんリサーチセンター』 / 台東区

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
12	オーバーツーリズムの海外事例；その他近年対策を行っている都市	ヴェネツィア・来訪者数・2009	ヴェネツィア市 - Yearbook of Tourismdata 2021 https://www.comune.venezia.it
		ヴェネツィア・来訪者数・2019	
		アテネ・人口	ギリシャ観光企業協会(INSETE) - ΣΤΑΤΙΣΤΙΚΑ ΣΤΟΙΧΕΙΑ ΕΙΣΕΡΧΟΜΕΝΟΥ ΤΟΥΡΙΣΜΟΥ https://www.statistics.gr/el/home
		アテネ・面積	Wikipediaを閲覧 https://el.wikipedia.org/wiki/%CE%91%CE%B8%CE%AE%CE%BD%CE%B1
		アテネ・非居住者到着数・2010	ギリシャ観光企業協会(INSETE) - ΣΤΑΤΙΣΤΙΚΑ ΣΤΟΙΧΕΙΑ ΕΙΣΕΡΧΟΜΕΝΟΥ ΤΟΥΡΙΣΜΟΥ https://insete.gr/statistika-eiserxomenou-tourismou/
		アテネ・非居住者到着数・2019	
		ハルシュタット・人口	オーストリア統計局 - Ein Blick auf die Gemeinde https://www.statistik.at/atlas/blick/?gemnr=40709
		ハルシュタット・面積	Wikipediaを閲覧 https://de.wikipedia.org/wiki/Hallstatt
		ハルシュタット・観光バス台数・2010	FOCUS Online - Touristen überrennen Alpen-Dorf in Österreich - jetzt wehren sich die Einwohner掲載データより引用 https://www.focus.de/reisen/oesterreich/focus-online-in-oesterreich-touristen-ueberrennen-alpen-dorf-jetzt-wehren-sich-die-einwohner-gegen-die-massen_id_11012088.html
		ハルシュタット・観光バス台数・2018	
		デンバサル・人口	インドネシア統計局 - Population Characteristics by Regency/City in Bali Result of 2020 Population Census https://bali.bps.go.id/
		デンバサル・面積	
		デンバサル・外国人訪問者数・2010	インドネシア統計局 - Number of Foreign Visitors to Bali by Region, 2008-2022 https://bali.bps.go.id/
		デンバサル・外国人訪問者数・2019	
		ハワイ・人口	Wikipediaを閲覧 https://en.wikipedia.org/wiki/Oahu
		ハワイ・面積	
		ハワイ・宿泊者数・2010	ハワイ州 - Annual Visitor Research Report 2019 https://dbedt.hawaii.gov/
		ハワイ・宿泊者数・2019	
		フランス全土・人口	Central Intelligence Agency(CIA) - The World Factbook https://www.cia.gov/the-world-factbook/
		フランス全土・面積	
フランス全土・国際宿泊観光客数・2010	世界観光機関(UN Tourism) - Global and regional tourism performance https://www.unwto.org/		
フランス全土・国際宿泊観光客数・2019			
13	オーバーツーリズムの国内事例；京都（京都府）	人口	京都市 - 京都市統計ポータル https://www2.city.kyoto.lg.jp/
		面積	京都市 - 京都市情報館 https://www.city.kyoto.lg.jp/
		宿泊者数・2009	観光庁 - 宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakoutoukei.html
		宿泊者数・2019	
		内、外国人・2009	
		内、外国人・2019	
		白地図	白地図専門店よりDL、加工して掲載 https://www.freemap.jp/
		画像・清水の舞台	京都フリー写真素材集：京都の神社・寺院・観光地・世界遺産の無料写真より引用 https://photo53.com/kiyomizudera4.php

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
14	オーバーツーリズムの国内事例；鎌倉（神奈川県）	人口	鎌倉市 - 鎌倉の人口と世帯数（地域・町丁・字別） https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/
		面積	鎌倉市 - 数字で見る鎌倉市 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/
		宿泊者数・2009	観光庁 - 宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html
		宿泊者数・2019	
		日帰り・2009	
		日帰り・2019	
		白地図	白地図専門店よりDL、加工して掲載 https://www.freemap.jp/
		画像・小町通り	photoAC - 写真素材：鎌倉駅前の小町通り入り口の風景 https://www.photo-ac.com/main/detail/22927169#goog_rewarded
画像・鎌倉市の踏切	ぱたくそ - アニメのワンシーンで登場しそうな鎌倉高校前駅の踏切と江ノ電の無料写真素材 - ID.16796 https://www.pakutaso.com/20161147335post-9716.html		
16	オーバーツーリズムの由来	Skift社の記事	Skift - Exploring the Coming Perils of Overtourism https://skift.com/2016/08/23/exploring-the-coming-perils-of-overtourism/
		UN Tourism報告書	UN Tourism - 'Overtourism'? Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions https://www.e-unwto.org/doi/pdf/10.18111/9789284420070
17	オーバーツーリズムの定義	広義と狭義のオーバーツーリズム	関西外語大学研究論集第112号(2020年9月)『ヴェネツィアにおけるオーバーツーリズムとその概念に関する一考察 - 日本・京都への示唆 - 』（谷本由紀子・谷本義高）
		定義①	
		定義②	国土交通省 - 平成 30 年版『観光白書』P111
		定義③	UN Tourism - 'Overtourism'? Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions https://www.e-unwto.org/doi/pdf/10.18111/9789284420070
		定義④	The Responsible Tourism Partnership - OverTourism: What is it and how do we address it? https://responsibletourismpartnership.org/overtourism/
18	オーバーツーリズム状態を判定する定量指標について	①Holiduによる調査	Holidu GmbH - The European Cities Most Overloaded with Tourists https://www.holidu.co.uk/magazine/european-cities-overtourism-index
		②Money Transfers.com	MoneyTransfers.com - The Most & Least "Over-Touristed" Destinations Around The World The Most & Least "Over-Touristed" Destinations Around The World (moneytransfers.com)
19	オーバーツーリズムの対応策；Skift社の記事より（2017年）	記事	Skift - Proposing Solutions to Overtourism in Popular Destinations: A Skift Framework https://skift.com/2017/10/23/proposing-solutions-to-overtourism-in-popular-destinations-a-skift-framework/
20	オーバーツーリズムの対応策；UN Tourism 2018報告書より	UN Tourism報告書	UN Tourism - 'Overtourism'? Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions https://www.e-unwto.org/doi/pdf/10.18111/9789284420070
22	オーバーツーリズムの対応策；オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議資料	施策の類型及び具体例	観光庁 - オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議 第二回（令和5年9月29日）資料 https://www.mlit.go.jp/kankocho/overtourism_yobou_yokusei.html
23	オーバーツーリズムをめぐる現在の議論	論文	Michael O'Regan, Glasgow Caledonian University - The metaphoric rise of overtourism and why we should stop using the phrase https://blog.geographydirections.com/2023/03/13/the-metaphoric-rise-of-overtourism-and-why-we-should-stop-using-the-phrase/
		Skift社の記事	Skift - It Is Time to Ditch the Phrase 'Overtourism' https://skift.com/2023/04/08/it-is-time-to-ditch-the-phrase-overtourism/

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典/引用元
30	(3)地域特性	滞在の長さ・外国人延べ宿泊者人数	観光庁 - 「宿泊旅行統計調査」 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html
		滞在の長さ・実宿泊者人数	
		都市外アクセス	森記念財団 - 『日本の都市特性評価 DATABOOK 2023』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc/index.shtml
		行楽・観光目的の訪問の多さ	
32	参考) 海外都市のタイプ分類	平均宿泊日数・バルセロナ	Statista - Average length of stay in Barcelona 2022, by accommodation type https://www.statista.com/statistics/776053/average-stay-of-tourists-by-type-of-accommodation-barcelona-spain/#:~:text=Average%20length%20of%20stay%20in%20Barcelona%202022%2C%20by%20accommodation%20type&text=In%202022%2C%20tourists%20who%20visited,at%20less%20than%20three%20nights.
		平均宿泊日数・アムステルダム	ECORYS - TOURISM IN AMSTERDAM Today and tomorrow https://news.airbnb.com/wp-content/uploads/sites/4/2020/02/03122018_Tourism-in-Amsterdam_.pdf
		平均宿泊日数・ヴェネツィア	ヴェネツィア市 - Yearbook of Tourism data 2019 https://www.comune.venezia.it/sites/comune.venezia.it/files/immagini/Turismo/Adt19%20ing%20ver%204%201%202021%281%29.pdf
		平均宿泊日数・ウィーン	ウィーン市 - WienTourismus DESTINATIONS-MARKETING & -MANAGEMENT-ORGANISATION FÜR WIEN https://b2b.wien.info/resource/blob/426752/10e91159d5d6406b71dad4887387d678/fact-de-juli-2023-data.pdf
		平均宿泊日数・ブリュッセル	Statista - Average length of stay at accommodations in Belgium in 2017 and 2018, by city https://www.statista.com/statistics/1102909/length-of-stay-at-accommodations-in-belgium-by-city/
		平均宿泊日数・パリ	Insee - Average length of stay in hotels - Paris https://www.insee.fr/en/statistiques/serie/010606860
		平均宿泊日数・ベルリン	ベルリン州 - Senate Department for Economic Affairs, Energy and Public Enterprises - Tourism https://www.berlin.de/sen/wirtschaft/en/economics-and-technology/branches/tourism/
		平均宿泊日数・フランクフルト	Tourismus+Congress GmbH Frankfurt am Main - Gäste- und Übernachtungszahlen Frankfurt am Main 2022 https://www.frankfurt-tourismus.de/messe/en/content/download/24257/417194/version/3/file/Facts+Figures+Frankfurt.pdf
		平均宿泊日数・ミラノ	PoliS - Studi e Documenti 2023 https://polis.lombardia.it/wps/wcm/connect/07290172-0662-4353-b520-53025eb24688/WP+10-2022+-+Flussi+turistici+in+Lombardia_anno2021_cavedo_ed202204.pdf?MOD=AJPERES&CACHEID=ROOTWORKSPACE-07290172-0662-4353-b520-53025eb24688-o2EOLoC#:~:text=confermato%20se%20non%20addirittura%20incrementato,registrati%20nel%20corso%20del%202021.
		平均宿泊日数・マドリード	MADRID DESTINO CULTURA TURISMO Y NEGOCIO - Madrid Tourism Report 19 https://www.madrid-destino.com/sites/default/files/2020-04/MadridDestino19_interactivo_eng3.pdf
		平均宿泊日数・ストックホルム	Visit Stockholm AB - Stockholm and our visitors https://professionals.visitstockholm.com/sv/varskap-stockholm/stockholm-and-our-visitors/#:~:text=In%202019%2C%20the%20average%20overnight,stay%20slightly%20longer%20than%20Swedes.
		平均宿泊日数・ロンドン	GoWithGuide - London Tourism Statistics 2023 - All You Need to Know https://gowithguide.com/blog/london-tourism-statistics-2023-all-you-need-to-know-5213#:~:text=For%20tourists%2C%20the%20average%20length,days%20or%20more%20is%20recommended.
		平均宿泊日数・イスタンブール	イスタンブール文化観光局 - TURİZM İSTATİSTİKLERİ RAPORU (EKİM 2020) https://istanbul.ktb.gov.tr/Eklenti/78488,ekim-2020-istanbul-turizm-istatistikleridoc.doc?0
		平均宿泊日数・ドバイ	alarabiya.net - فنادق: 3 عوامل وراء ارتفاع متوسط إقامة السياح في دبي https://www.alarabiya.net/
		平均宿泊日数・北京	CEIC - Beijing: Visitor: Average Length of Stay https://www.ceicdata.com/en/china/tourism-beijing/beijing-visitor-average-length-of-stay
		平均宿泊日数・上海	CEIC - Shanghai: Visitor: Average Length of Stay: Foreigner https://www.ceicdata.com/en/china/tourism-shanghai/shanghai-visitor-average-length-of-stay-foreigner
平均宿泊日数・香港	HONG KONG TOURISM BOARD - Annual Report 2019/20 https://www.discoverhongkong.com/eng/about-hktb/annual-report/annual-report-20192020/tourism-performance.html		
平均宿泊日数・ジャカルタ	CEIC - Indonesia Average Length of Stay: Jakarta: Average https://www.ceicdata.com/en/indonesia/average-length-of-stay/average-length-of-stay-jakarta-average		

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
32	参考) 海外都市のタイプ分類	平均宿泊日数・シンガポール	シンガポール政府 - Singapore's tourism sector recovers strongly in 2022, visitor numbers expected to double in 2023 https://www.stb.gov.sg/content/stb/en/media-centre/media-releases/Singapore-tourism-sector-recovers-strongly-in-2022-visitor-numbers-expected-to-double-in-2023.html#:~:text=2022%20Tourism%20Performance,-Visitor%20arrivals%20were&text=Visitors%20are%20also%20spending%20more,approximately%204.81%20days%5B%3D.
		平均宿泊日数・台北	中華民国(台湾)観光局 - Taiwan's Inbound Travel Market Visitors to Taiwan https://admin.taiwan.net.tw/upload/contentFile/auser/b/annual_2018_hm/en/01_2_Taiwan-Tourism-Market.html
		平均宿泊日数・東京	トラベルボイス - International visitors stay longer in Kyoto City than in Tokyo city (1.98 vs 1.49 nights) https://www.travelvoice.jp/english/the-average-overnights-an-international-visitor-in-kyoto-city-is-1-98-longer-than-1-49-in-tokyo
		平均宿泊日数・シカゴ	イリノイ州 - Chicago and Illinois Leisure Visitor Profile https://www.enjoyillinois.com/assets/PDF-Docs/Illinois-Chicago-Visitor-Profile-2022.pdf
		平均宿泊日数・ニューヨーク	Sea the City - NYC Tourism Facts & Statistics https://www.seathecity.com/nyc-tourism-facts-statistics/
		平均宿泊日数・サンフランシスコ	roundaboutsancisco.com - San Francisco Tourism http://roundaboutsancisco.com/basics/statistics.html
		平均宿泊日数・ワシントンDC	DestinationDC - WASHINGTON DC's 2010 VISITOR STATISTICS https://washington.org/sites/default/files/2021-02/2010_Visitor_Statistics.pdf
		都市外アクセス・国際線直行便就航都市数	森記念財団 - 『Global Power City Index YEARBOOK 2022』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml
		都市外アクセス・空港アクセス時間の長さ	
		都市外アクセス・世界遺産への近接性	
外国人訪問者数の多さ			
35	(4) ネガティブ感情の主体者	一日あたり来訪者数・東京ディズニーリゾート	社会実情データ図録 - 遊園地・テーマパーク入場者数ランキング(2019年度) https://honkawa2.sakura.ne.jp/
		一日あたり来訪者数・ナガシマリゾート	
		一日あたり来訪者数・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン - 3年連続で年間入場者数 過去最高記録を更新! https://www.usj.co.jp/company/news/2017/hoeuqg000002dck-att/170317.pdf
		一日あたり来訪者数・アクロポリス	TheGuardian - Acropolis now: crisis as soaring visitor numbers overwhelm Greek treasure https://www.theguardian.com/
		一日あたり来訪者数・刈谷ハイウェイオアシス	社会実情データ図録 - 遊園地・テーマパーク入場者数ランキング(2019年度)
		一日あたり来訪者数・おかげ横丁	https://honkawa2.sakura.ne.jp/
		一日あたり来訪者数・清水寺	公益財団法人 大学コンソーシアム京都・清水寺と立命館大学 清水地域の防災への取り組みを考え、その成果を清水寺と地域に還元する https://www.consortium.or.jp/
		面積・東京ディズニーリゾート	株式会社オリエンタルランド・東京ディズニーリゾートについて・施設概要 https://www.olc.co.jp/ja/tdr/profile.html
		面積・ナガシマリゾート	eeePLAN - 東海エリアにある「日本の屋外型テーマパーク敷地面積ランキング」入りしているテーマパーク! https://eee-plan.com/
		面積・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	Wikipediaを閲覧 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A6%E3%83%8B%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B5%E3%83%AB%E3%83%BB%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%82%B8%E3%82%AA%E3%83%BB%E3%82%B8%E3%83%A3%E3%83%91%E3%83%B3
		面積・アクロポリス	世界遺産データベース - アテネのアクロポリス https://www.hasegawadai2.com/
		面積・刈谷ハイウェイオアシス	日系クロステック - 刈谷ハイウェイオアシス 地元利用者も意識して「街並み」感を演出 https://xtech.nikkei.com/kn/atcl/blddb/00612/
		面積・おかげ横丁	Wikipediaを閲覧 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%8A%E3%81%8B%E3%81%92%E6%A8%AA%E4%B8%81
		面積・清水寺	Wikipediaを閲覧 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%85%E6%B0%B4%E5%AF%BA

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
39	台東区について	人口	台東区 - 世帯・人口 https://www.city.taito.lg.jp/kusei/shokai/tokei/setai/index.html
		面積	台東区 - 台東区的面積 https://www.city.taito.lg.jp/kusei/shokai/abouttaito/tisei/ititomenseki.html#:~:text=%E5%8F%B0%E6%9D%B1%E5%8C%BA%E3%81%AE%E9%9D%A2%E7%A9%8D,%EF%BC%85%E3%82%92%E5%8D%A0%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82
		宿泊者数 - 2008	台東区 - 「台東区観光統計・マーケティング調査報告書」 https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/anzentaisaku/keikaku/tyousatoukei/marketing/index.html
		宿泊者数 - 2018	
		内、外国人 - 2008	
		内、外国人 - 2018	
		日帰り - 2008	
		日帰り - 2018	
		白地図	白地図専門店よりDL、加工して掲載 https://www.freemap.jp/
		画像 - 雷門	※写真提供：台東区 TAITOおでかけナビ - 写真ギャラリー https://t-navi.city.taito.lg.jp/course/area/ueno_okachimachi.html
		画像 - 浅草寺	
		画像 - アメ横	
画像 - 西郷隆盛像			
40	仮説1：観光客の増加度合い	宿泊者数(2009) - 全都市	観光庁 - 「宿泊旅行統計調査」 https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html
		宿泊者数(2019) - 全都市	
		日帰り観光客数(2009) - 東京都	東京都産業労働局 - 「東京都観光客数等実態調査」 https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/toukei/tourism/
		日帰り観光客数(2019) - 東京都	
		日帰り観光客数(2009) - 台東区	台東区 - 「台東区観光統計・マーケティング調査報告書」 https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/anzentaisaku/keikaku/tyousatoukei/marketing/index.html
		日帰り観光客数(2019) - 台東区	
		日帰り観光客数(2009) - 名古屋市	名古屋市 - 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」 https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-3-0-0-0-0-0-0-0.html
		日帰り観光客数(2019) - 名古屋市	
		日帰り観光客数(2009) - 広島市	広島市 - 「広島市観光概況」 https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/116/
		日帰り観光客数(2019) - 広島市	
		日帰り観光客数(2009) - 金沢市	石川県 - 「統計からみた石川県の観光」 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankou/siryo.html
		日帰り観光客数(2019) - 金沢市	
		日帰り観光客数(2009) - 京都市	京都市産業観光局 - 「京都市観光調査年報」 https://www.kyokanko.or.jp/survey_list/
		日帰り観光客数(2019) - 京都市	京都市産業観光局 - 「京都市観光総合調査」 https://www.kyokanko.or.jp/survey_list/
		日帰り観光客数(2009) - 福岡市	福岡市 - 「福岡市観光統計」 https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/kankoutoukei.html
		日帰り観光客数(2019) - 福岡市	福岡市 - 『福岡市の観光・MICE』 https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/kankoutoukei.html
		日帰り観光客数(2009) - 札幌市	札幌市 - 観光統計データ https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html
		日帰り観光客数(2019) - 札幌市	
		日帰り観光客数(2009) - 那覇市	那覇市 - 「那覇市の観光統計—観光客の声—」 https://www.city.naha.okinawa.jp/kankou/kankou/kankoutoukei.html
		日帰り観光客数(2019) - 那覇市	那覇市 - 「那覇市の観光統計〈観光入込統計調査〉」 https://www.city.naha.okinawa.jp/kankou/kankou/kankoutoukei.html

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
40	仮説1：観光客の増加度合い	日帰り観光客数(2009)・横浜市	神奈川県 - 「入込観光客調査」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b6m/cnt/f80022/p27746.html
		日帰り観光客数(2019)・横浜市	
		日帰り観光客数(2009)・高山市	高山市 - 「観光統計」 https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1000062/1004915/1006941/index.html
		日帰り観光客数(2019)・高山市	
		日帰り観光客数(2009)・鎌倉市	神奈川県 - 「入込観光客調査」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b6m/cnt/f80022/p27746.html
		日帰り観光客数(2019)・鎌倉市	
41	仮説2：インバウンドのインパクト	宿泊者数(2009)・全都市	観光庁 - 「宿泊旅行統計調査」 https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html
		宿泊者数(2019)・全都市	
		外国人宿泊者数(2009)・全都市	
		外国人宿泊者数(2019)・全都市	
42	仮説3：日帰り観光客による影響	都市外からのアクセス	森記念財団 - 『日本の都市特性評価 DATABOOK 2023』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc/index.shtml
		日帰り観光客数(2019)・東京都	東京都産業労働局 - 東京都観光客数等実態調査 https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/toukei/tourism/
		日帰り観光客数(2019)・台東区	台東区 - 「台東区観光統計・マーケティング調査報告書」 https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/anzentaisaku/keikaku/tyousatoukei/marketing/index.html
		日帰り観光客数(2019)・名古屋市	名古屋市 - 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」 https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-3-0-0-0-0-0-0-0.html
		日帰り観光客数(2019)・広島市	広島市 - 「広島市観光概況」 https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/116/
		日帰り観光客数(2019)・金沢市	石川県 - 「統計からみた石川県の観光」 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankou/siryo.html
		日帰り観光客数(2019)・京都市	京都市産業観光局 - 「京都市観光総合調査」 https://www.kyokanko.or.jp/survey_list/
		日帰り観光客数(2019)・福岡市	福岡市 - 『福岡市の観光・MICE』 https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/kankoutoukei.html
		日帰り観光客数(2019)・札幌市	札幌市 - 観光統計データ https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html
		日帰り観光客数(2019)・那覇市	那覇市 - 「那覇市の観光統計〈観光入込統計調査〉」 https://www.city.naha.okinawa.jp/kankou/kankou/kankoutoukei.html
		日帰り観光客数(2019)・横浜市	神奈川県 - 「入込観光客調査」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b6m/cnt/f80022/p27746.html
		日帰り観光客数(2019)・高山市	高山市 - 「観光統計」 https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1000062/1004915/1006941/index.html
		日帰り観光客数(2019)・鎌倉市	神奈川県 - 「入込観光客調査」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b6m/cnt/f80022/p27746.html
		日帰り観光客数(2019)・浦安市	千葉県 - 「千葉県観光入込調査報告書」 https://www.pref.chiba.lg.jp/kankou/toukeidata/kankoukyaku/index.html
		日帰り観光客数(2019)・川崎市	神奈川県 - 「入込観光客調査」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b6m/cnt/f80022/p27746.html
		日帰り観光客数(2019)・神戸市	神戸市 - 観光入込客数 https://www.city.kobe.lg.jp/a64051/shise/toke/sightseeing.html
		日帰り観光客数(2019)・千葉市	千葉県 - 「千葉県観光入込調査報告書」 https://www.pref.chiba.lg.jp/kankou/toukeidata/kankoukyaku/index.html

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
		日帰り観光客数(2019) - 新潟市	新潟県 - 令和3年新潟県観光入込客統計調査結果 https://www.pref.niigata.lg.jp/life/6/24/
		日帰り観光客数(2019) - 函館市	北海道 - 「北海道観光入込客数調査報告書」 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html
		日帰り観光客数(2019) - 松本市	松本市 - 松本市観光地延利用者数（観光入込客数） https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/76/70854.html
		日帰り観光客数(2019) - 熊本市	熊本市 - 「熊本市観光統計」 https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=10234
		日帰り観光客数(2019) - 浜松市	統計センターしずおか - 「静岡県観光交流の動向」 https://toukei.pref.shizuoka.jp/chosa/21-010/index.html
		日帰り観光客数(2019) - 長崎市	長崎市 - 「長崎市観光統計」 https://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/8200010/p030983.html
		日帰り観光客数(2019) - 宇都宮市	宇都宮市 - 宇都宮市観光動態調査 https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/citypromotion/kanko/pamphlet/1007262.html
43	仮説4：交通インフラの脆弱性	都市内交通	
		観光地の数・評価	森記念財団 - 『日本の都市特性評価 DATABOOK 2023』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc/index.shtml
		行楽・観光目的の訪問の多さ	
44	仮説4：交通インフラの脆弱性 - 海外都市比較 -	都市内交通	
		観光地の充実度	森記念財団 - 『GPCI-2022 YEARBOOK』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml
		世界遺産への近接性	
		外国人訪問者の多さ	
45	仮説5：都市の清潔度との ギャップ	生活良好性(Well-Being)	
		都市空間の清潔さ	森記念財団 - 『GPCI-2022 YEARBOOK』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml
		外国人訪問者の多さ	
46	仮説6：居住エリアにおける民泊増加	宿泊者数(2019) - 全都市	観光庁 - 「宿泊旅行統計調査」 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html
		民泊施設数 - 台東区	台東区 - 住宅宿泊事業者の届出情報の公表について https://www.city.taito.lg.jp/kenchiku/jutaku/eisei/jutakulaw/minpaku20180615.html
		民泊施設数 - 大阪市	大阪市 - 住宅宿泊事業について https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000422269.html
		民泊施設数 - 名古屋市	名古屋市 - 住宅宿泊事業（民泊）届出 https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/24-2-12-30-1-0-0-0-0.html
		民泊施設数 - 広島市	広島市 - 住宅宿泊事業の手続きについて https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/seikatsueisei/1030.html
		民泊施設数 - 金沢市	金沢市 - 金沢市内で住宅宿泊事業(民泊)を始める皆さんへ https://www4.city.kanazawa.lg.jp/kenko_fukushi/hoken_yakujeisei/kankyojeisei/5/9923.html
		民泊施設数 - 京都市	京都市情報館 - 住宅宿泊事業 https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/40-12-0-0-0-0-0-0-0.html
		民泊施設数 - 福岡市	福岡県 - 住宅宿泊事業の届出情報 https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/juutakusyukuhakujigyouhou.html
		民泊施設数 - 札幌市	札幌市 - 札幌市内の民泊施設一覧 https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/minpaku/ichiran.html
		民泊施設数 - 那覇市	那覇市 - 民泊（住宅宿泊事業法）について https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/0003/juutakusyukuhaku/minpakusoudan.html

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
		民泊施設数・横浜市	横浜市・市内住宅宿泊事業届出住宅一覧 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kaiteki/20180222105955.html#A0AA6
		民泊施設数・高山市	岐阜県・岐阜県民泊ポータル https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17639.html
		民泊施設数・鎌倉市	神奈川県・住宅宿泊事業法のページ https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/cnt/f762/p1195197.html
		宿泊施設客室数・全都市	観光庁・「宿泊旅行統計調査」 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html
		昼間人口・全都市	総務省統計局・平成27年度国勢調査 https://www.e-stat.go.jp/
47	仮説7：ナイトライフの楽しみ方	ホテル客室数 ナイトライフの充実度 外国人訪問者の多さ	森記念財団・『GPCI-2022 YEARBOOK』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml
48	仮説8：居住歴による受入許容度の変化	住民の居住歴の長さ 宿泊者数 人口 外国人宿泊者数	総務省統計局・平成27年度国勢調査 https://www.e-stat.go.jp/ 観光庁・「宿泊旅行統計調査」 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html 総務省・住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 https://www.e-stat.go.jp/ 森記念財団・『GPCI-2022 YEARBOOK』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml
49	仮説9：都市における観光依存度	観光資源の充実度 世界遺産への近接性 文化施設の多さ	森記念財団・『GPCI-2022 YEARBOOK』 https://mori-m-foundation.or.jp/ius/gpci/index.shtml
54	令和5年度「台東区民の意識調査」について	調査の概要	台東区・「台東区民の意識調査」 https://www.city.taito.lg.jp/kusei/sanka/kuminishikichosa/kuminishikichosa/index.html
55	居住地域と居住年数	地図 図表	国土地理院・地理院地図 / GSI Mapsを使用し作成 https://maps.gsi.go.jp/ 台東区・「台東区民の意識調査」 https://www.city.taito.lg.jp/kusei/sanka/kuminishikichosa/kuminishikichosa/index.html
56	観光振興に対する住民の受け止め	設問	台東区・「台東区民の意識調査」 https://www.city.taito.lg.jp/kusei/sanka/kuminishikichosa/kuminishikichosa/index.html
57	参考) 京都市のアンケート比較	設問	京都市情報館・市政総合アンケート調査結果「京都観光について」 https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000267935.html
58	参考) 京都市のアンケート比較	設問	京都市情報館・市政総合アンケート調査結果「京都観光について」 https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000267935.html
59	観光振興に対する住民の受け止め	表 地図	台東区・「台東区民の意識調査」 https://www.city.taito.lg.jp/kusei/sanka/kuminishikichosa/kuminishikichosa/index.html 国土地理院・地理院地図 / GSI Mapsを使用し作成 https://maps.gsi.go.jp/
60	台東区ヒートマップ分析	ヒートマップ	ヒートマップは株式会社プログウォッチャー作成 ※株式会社プログウォッチャーが提携するアプリ（140種類以上）をダウンロードし、位置情報の取得を許可した3000万MAU（月間アクティブユーザー数）のスマートデバイスから取得された位置情報等のデータを、特定の個人が識別されない形式に加工して活用しています。 （※数字は2024年2月時点）

ページ	スライドタイトル	該当箇所	出典／引用元
61	台東区ヒートマップ分析 - 季節による人流の変化 -	ヒートマップ	ヒートマップは株式会社プログウォッチャー作成 ※株式会社プログウォッチャーが提携するアプリ（140種類以上）をダウンロードし、位置情報の取得を許可した3000万MAU（月間アクティブユーザー数）のスマートデバイスから取得された位置情報等のデータを、特定の個人が識別されない形式に加工して活用しています。 （※数字は2024年2月時点）
62	台東区ヒートマップ分析 - 時間による人流の変化 -	ヒートマップ	ヒートマップは株式会社プログウォッチャー作成 ※株式会社プログウォッチャーが提携するアプリ（140種類以上）をダウンロードし、位置情報の取得を許可した3000万MAU（月間アクティブユーザー数）のスマートデバイスから取得された位置情報等のデータを、特定の個人が識別されない形式に加工して活用しています。 （※数字は2024年2月時点）
63	台東区ヒートマップ分析 - 民泊施設との比較 -	地図	国土地理院・地理院地図 / GSI MapsおよびGoogle Mapsを使用し作成
		民泊施設数	台東区・住宅宿泊事業者の届出情報の公表について https://www.city.taito.lg.jp/kenchiku/jutaku/eisei/jutakulaw/minpaku20180615.html
		ヒートマップ	ヒートマップは株式会社プログウォッチャー作成 ※株式会社プログウォッチャーが提携するアプリ（140種類以上）をダウンロードし、位置情報の取得を許可した3000万MAU（月間アクティブユーザー数）のスマートデバイスから取得された位置情報等のデータを、特定の個人が識別されない形式に加工して活用しています。 （※数字は2024年2月時点）
64	台東区ヒートマップ分析 - バスルートとの比較 -	都営バス路線図	東京都交通局・路線図（みんくるガイド） https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/bus/map/
		「めぐりん」路線図	台東区・台東区循環バス「めぐりん」 https://www.city.taito.lg.jp/kenchiku/kotsu/megurin/index.html
		ヒートマップ	ヒートマップは株式会社プログウォッチャー作成 ※株式会社プログウォッチャーが提携するアプリ（140種類以上）をダウンロードし、位置情報の取得を許可した3000万MAU（月間アクティブユーザー数）のスマートデバイスから取得された位置情報等のデータを、特定の個人が識別されない形式に加工して活用しています。 （※数字は2024年2月時点）
74	Q12~13：マナーについて	ポスター・ティッシュの例	台東区・観光マナー啓発キャンペーン https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/anshikanko/20200401.html
79	②観光庁公表の対策例に対するフィードバック	施策の類型及び具体例	観光庁・オーバーツーリズムの未然防止・抑制に関する関係省庁対策会議 https://www.mlit.go.jp/kankocho/overtourism_yobou_yokusei.html